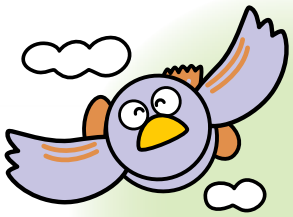
埼玉県
臨床研修病院ガイドブック

2016

彩の国
埼玉県



Welcome to SAITAMA

埼玉県の地勢

埼玉県は関東地方の中西部に位置し、東京都をはじめとする 1 都 6 県に隣接しています。全域が都心から約 100km の圏域に含まれ、新幹線をはじめ多数の路線を有する鉄道網や東西南北を結ぶ高速道路網といった充実した交通網を持っています。また、圏央道の埼玉県内区間が全線開通し、よりアクセスしやすい環境が整備されました。（平成 27 年 10 月 31 日）

県土の広さは、東西約 103km、南北約 52km、面積はおよそ 3,800㎢で、約 3 分の 2 を平野が占めています。

荒川・利根川の二大河川があり、県土に占める河川面積の割合は全国 1 位と水辺空間に恵まれています。また、風水害が少なく、全国的に見ても快晴日数が多いなど、暮らしやすい気候となっています。

高度医療を提供する、魅力ある医療機関

埼玉県内には、現在 343 の病院があります。（平成 27 年 4 月 1 日現在）

このガイドブックで紹介する臨床研修病院をはじめ、各地域ごとに、救命救急センター、周産期母子医療センター、地域医療支援病院、災害拠点病院など高度医療を提供する中核的な医療機関が整備されています。

首都東京までわずかな距離にあり、交通網も発達し、多様な産業が集積する一方で、豊かな水と緑に恵まれた「彩の国さいたま」は、チャンスに満ちた都市の魅力とゆとりある自然の魅力を併せ持っています。

国の行政機能や商業・文化機能などが集積したさいたま新都心をはじめ、ますます発展を遂げる埼玉県は、医学の研鑽の場としても、生活の場としても、とても魅力あふれる県です。

INDEX 埼玉県臨床研修病院紹介（保健医療圏別）

基幹型臨床研修病院

南部保健医療圏
- ① 川口市立医療センター …… 1
- ② 済生会川口総合病院 …… 3
- ③ 埼玉協同病院 …… 5
- ④ 戸田中央総合病院 …… 7

南西部保健医療圏
- ⑤ 朝霞台中央総合病院 …… 9
- ⑥ 国立病院機構 埼玉病院 …… 11
- ⑦ 新座志木中央総合病院 …… 13

東部保健医療圏
- ⑧ 春日部市立病院 …… 15
- ⑨ 秀和総合病院 …… 17
- ⑩ 春日部中央総合病院 …… 19
- ⑪ 越谷市立病院 …… 21
- ⑫ 草加市立病院 …… 23
- ⑬ みさと健和病院 …… 25
- ⑭ 三郷中央総合病院 …… 27

さいたま保健医療圏
- ⑮ 埼玉メディカルセンター …… 29
- ⑯ さいたま市立病院 …… 31
- ⑰ さいたま赤十字病院 …… 33
- ⑱ 彩の国東大宮メディカルセンター …… 35

県央保健医療圏
- ⑲ 上尾中央総合病院 …… 37

川越比企保健医療圏
- ⑳ 小川赤十字病院 …… 39
- ㉑ 関越病院 …… 41

西部保健医療圏
- ㉒ 国立病院機構 西埼玉中央病院 …… 43
- ㉓ 埼玉石心会病院 …… 45

利根保健医療圏
- ㉔ 行田総合病院 …… 47
- ㉕ 羽生総合病院 …… 49
- ㉖ 済生会栗橋病院 …… 51

北部保健医療圏
- ㉗ 熊谷総合病院 …… 53
- ㉘ 深谷赤十字病院 …… 55

大学病院

東部保健医療圏
- ㉙ 獨協医科大学越谷病院 …… 57

さいたま保健医療圏
- ㉚ 自治医科大学附属さいたま医療センター …… 59

県央保健医療圏
- ㉛ 北里大学メディカルセンター …… 61

川越比企医療圏
- ㉜ 埼玉医科大学病院 …… 63
- ㉝ 埼玉医科大学総合医療センター …… 65

西部保健医療圏
- ㉞ 埼玉医科大学国際医療センター …… 67

その他の臨床研修病院

西部保健医療圏
- ● 防衛医科大学校病院

埼玉県総合医局機構～ KOBATON.med ～ …… 69

※このガイドブックは、主として医学生の方に埼玉県内の臨床研修病院（防衛医科大学校病院を除く。）を紹介するため、各病院から提供のあった情報を基に作成したものです。

※このガイドブックの「病院の概要」にある指導医とは、厚生労働省「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づく講習会を修了した者です。

MAP

病院名	〒	所在地
① 川口市立医療センター	333-0833	川口市西新井宿 180
② 済生会川口総合病院	332-8558	川口市西川口 5-11-5
③ 埼玉協同病院	333-0831	川口市木曽呂 1317
④ 戸田中央総合病院	335-0023	戸田市本町 1-19-3
⑤ 朝霞台中央総合病院	351-8551	朝霞市西弁財 1-8-10
⑥ 国立病院機構 埼玉病院	351-0102	和光市諏訪 2-1
⑦ 新座志木中央総合病院	352-0001	新座市東北 1-7-2
⑧ 春日部市立病院	344-8588	春日部市中央 7-2-1
⑨ 秀和総合病院	344-0035	春日部市谷原新田 1200
⑩ 春日部中央総合病院	344-0063	春日部市緑町 5-9-4
⑪ 越谷市立病院	343-8577	越谷市東越谷 10-47-1
⑫ 草加市立病院	340-8560	草加市草加 2-21-1
⑬ みさと健和病院	341-8555	三郷市鷹野 4-494-1
⑭ 三郷中央総合病院	341-8526	三郷市中央 4-5-1
⑮ 埼玉メディカルセンター	330-0074	さいたま市浦和区北浦和 4-9-3
⑯ さいたま市立病院	336-8522	さいたま市緑区三室 2460
⑰ さいたま赤十字病院	338-8553	さいたま市中央区上落合 8-3-33
⑱ 彩の国東大宮メディカルセンター	331-8577	さいたま市北区土呂町 1522
⑲ 上尾中央総合病院	362-8588	上尾市柏座 1-10-10
⑳ 小川赤十字病院	355-0397	比企郡小川町大字小川 1525
㉑ 関越病院	350-2213	鶴ヶ島市脚折 145-1
㉒ 国立病院機構 西埼玉中央病院	359-1151	所沢市若狭 2-1671
㉓ 埼玉石心会病院	350-1323	狭山市鵜ノ木 1-33
㉔ 行田総合病院	361-0056	行田市持田 376
㉕ 羽生総合病院	348-8505	羽生市上岩瀬 551
㉖ 済生会栗橋病院	349-1105	久喜市小右衛門 714-6
㉗ 熊谷総合病院	360-8567	熊谷市中西 4-5-1
㉘ 深谷赤十字病院	366-0052	深谷市上柴町西 5-8-1
㉙ 獨協医科大学越谷病院	343-8555	越谷市南越谷 2-1-50
㉚ 自治医科大学附属さいたま医療センター	330-8503	さいたま市大宮区天沼町 1-847
㉛ 北里大学メディカルセンター	364-8501	北本市荒井 6-100
㉜ 埼玉医科大学病院	350-0495	入間郡毛呂山町毛呂本郷 38
㉝ 埼玉医科大学総合医療センター	350-8550	川越市鴨田 1981
㉞ 埼玉医科大学国際医療センター	350-1298	日高市山根 1397-1
● 防衛医科大学校病院	359-8513	所沢市並木 3-2

埼玉県内の臨床研修病院 MAP

1 川口市立医療センター

病院の概要

●**病床数**　539床
●**医師数(研修医を除く)**　129名(うち指導医数　51名)
●**研修医数**　1年目　12名　2年目　9名
●**研修医の主な出身大学**　日本大学・福島県立医科大学・新潟大学・日本医科大学・山梨大学・札幌医科大学・秋田大学・千葉大学
●**診療科**　内科　消化器内科　血液内科　神経内科　呼吸器内科　腎臓内科　糖尿病内分泌内科　循環器科　小児科　精神科　外科　消化器外科　乳腺外科　呼吸器外科　小児外科　脳神経外科　整形外科　形成外科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　皮膚科　泌尿器科　放射線科　麻酔科　歯科口腔外科　リハビリテーション科　病理診断科
●**1日平均外来患者数**　1109名　●**1日平均入院患者数**　457名
●**主な認定施設**　地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院(基幹災害医療センター)、病院機能評価認定病院、エイズ診療協力医療機関、災害派遣医療チーム埼玉(DMAT)指定病院

研修プログラムの特色

●総合コース(募集定員12人)
社会的に強く望まれているプライマリ・ケアの基本的能力の充実のために、救急部門の研修を1年目に行い、一般臨床医に必要な緊急時に必要な基本手技を一層充実させる目的で、選択必修科目である外科、産婦人科、小児科、精神科を必修と位置づけています。

●産婦人科コース(募集定員2人)
産婦人科の研修期間を、初期研修としては比較的長い4か月としています。また周産期医療の研修や麻酔科の研修も不可欠であるため、必修と位置づけています。これによって後期研修における産婦人科研修がより充実したものになると考えています。

●小児科コース(募集定員2人)
NICU を含む小児科の研修期間を、初期研修としては比較的長い4か月としています。また全人的ケアが特に要求される小児科においては選択期間を長く設定し、幅広い知識と技術のみならず、人格の涵養にも役立つものと考えています。

プログラム 例　総合コースプログラム(募集定員12人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科							救急部門		小児科		外科
2年目	産婦人科		外科	救急部門	精神科	地域医療	内科			選択		

その他　産婦人科コースプログラム（募集定員２人）小児科コースプログラム（募集定員２人）
各コースとも研修１年目に救急部門２か月、研修２年目に精神科１か月、地域医療１か月の研修を行います。

研修医の処遇

給　与▶1年次：33.92万円／月　2年次：35.3万円／月
諸手当▶通勤手当、宿日直手当
保　険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶8時30分～17時15分
当　直▶あり（4回／月）
休　暇▶2日／週、有給休暇（12日／年）
宿　舎▶あり（使用者負担2万円／月）

主な臨床研修協力病院・協力施設

【協力型臨床研修病院】
・医療法人秀峰会北辰病院
・医療法人髙仁会戸田病院
【研修協力施設】
・医療法人刀水会齋藤記念病院
・医療法人健寿会北條胃腸科外科
・医療法人時任会ときとうクリニック
・国保町立小鹿野中央病院
・川口市高齢者総合福祉センター「サンテピア」
・本町診療所　・安行診療所

当院のキーワード

当院の特徴

当センターは昭和22年に開設され、平成6年5月に川口駅前から現在の場所に移転し、その名称も川口市民病院から川口市立医療センターに変更されました。 同時に救命救急、周産期及び画像診断の各センターを設置し、専門医が中心となり各医療スタッフが一丸になって高度医療の充実に寄与しています。

28診療科539床を有し、地域の基幹病院としてプライマリ・ケアから高度専門医療まで広範な医療を展開しています。

日本医療評価機構の認定施設であり、さらにエイズ診療協力医療機関及び基幹災害医療センターにも県より指定されています。

研修責任者から

内科部長
渡邊　成

初期研修を受ける施設として「豊富な症例、安心して働き学べる環境、厳しい指導医」が条件でしょう。当院は1日の外来患者数約1,100名、入院患者数は約500名であり、全くの初診の一次患者から、救命救急センターでの治療を必要とする三次の患者まで幅広い症例を扱っています。また、地域周産期母子医療センター、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院（基幹災害医療センター）を擁していることからも、症例の豊富さは折り紙つきです。

指導医は数が豊富なだけでなく極めて教育熱心であり、研修医のバックアップにも上級医が必ずついています。自主的且つ積極的に貪欲に学びたい若き国手にとっては、単なる臨床的な知識や技術の獲得のみならず、人間形成にも役立つすばらしい2年間が過ごせると確信しています。

先輩研修医から

研修医２年目
中川　智絵

初期研修の期間は大学から離れて一般病院で研修しようと思い、選択期間が長いこと、救命救急センターやＮＩＣＵがあること、研修医数が少なくないことを条件に当院を選びました。

実際に研修してみたところ、数多くの症例や手技を経験でき、かけがえのない仲間や信頼できる指導医の先生方に恵まれ、科と科の垣根を越えた、のびのびとした人間関係を築くことができました。

また、急性期医療に興味があったので、多くの急性期医療の症例を診ることのできる当院で、非常に充実した研修を受けることができています。このような充実した研修を受けられる当院で是非一緒に学びましょう。

女性医師支援コーナー

- 院内保育所の設置（時間外保育も対応）
- 妊娠中、育児中の当直勤務免除
- 育児短時間勤務も可能

連絡先　川口市立医療センター

庶務課庶務係　人事担当

〒333-0833　川口市西新井宿180番地

TEL 048－287－2525（代表）　FAX 048－280－1566

E-mail 170.01005@city.kawaguchi.lg.jp

URL http://kawaguchi-mmc.org/

アクセス 埼玉高速鉄道線　新井宿駅から徒歩７分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学を随時受け付けしています。

下記必要項目を明記の上、左記アドレスにメールにてお申し込みください。

【必要項目】・氏名　・大学名　・連絡先　・見学希望日

・見学希望診療科（１～２科程度、必ず明記ください）

・緊急連絡先（携帯電話の番号等）

・レジナビフェアでのブース説明を受けたことの有無

・当院での病院見学経験の有無（初めてか、２回目以降かでお答えください。）

2 済生会 川口総合病院

病院の概要

●**病床数**　424床
●**医師数(研修医を除く)**　118名(うち指導医数　54名)
●**研修医数**　1年目　12名　2年目　12名
●**研修医の主な出身大学**　愛知医科大学・秋田大学・旭川医科大学・岩手医科大学・金沢大学・北里大学・岐阜大学・杏林大学・群馬大学・高知大学・埼玉医科大学・佐賀大学・産業医科大学・島根大学・順天堂大学・昭和大学・信州大学・聖マリアンナ医科大学・千葉大学・帝京大学・東海大学・東京医科大学・東京医科歯科大学・東京慈恵会医科大学・東京女子医科大学・東邦大学・東北大学・獨協医科大学・鳥取大学・新潟大学・日本大学・日本医科大学・浜松医科大学・福井大学・福島県立医科大学・北海道大学・三重大学・宮崎大学・山形大学・山梨大学・琉球大学(五十音順)
●**診療科**　内科　循環器内科　消化器内科　呼吸器内科　腎臓内科　糖尿病・内分泌内科　神経内科　腫瘍内科　放射線科　外科　整形外科　脳神経外科　泌尿器科　産婦人科　血管外科　呼吸器外科　眼科　耳鼻咽喉科　皮膚科　麻酔科　小児科　精神科　リハビリテーション科　病理診断科　臨床検査科
●**1日平均外来患者数**　1178名　●**1日平均入院患者数**　343名
●**主な認定施設**　地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院、日本医療機能評価機構認定病院、卒後臨床研修評価機構認定病院、ISO9001認定 など

研修プログラムの特色

厚生労働省より提示された必修項目を十分に研修できるよう配慮しています。
また、当院のプログラムを通じて、研修医のプライマリ・ケア診療、救急医療、地域医療の基本が習得できるようにするとともに、患者と医師との関係に重点を置き、全人的医療ができるように配慮しています。

プログラム 例　済生会川口総合病院臨床研修プログラム(募集定員12人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内 科						外 科		麻酔科		産婦人科	救 急
2年目	小児科		救 急	地域医療	選 択							

○必修科目9か月：内科6か月(消化器内科・循環器内科各2か月のほか、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科から2か月選択)、救急2か月(救急外来での2か月間の研修のほかに、日当直業務および各診療科ローテート時の救急当番での研修を加えて、合計3か月間の研修とします。)、地域医療1か月
○病院必修(7か月)：外科2か月、麻酔科2か月、小児科2か月、産婦人科1か月
○選択科目(8か月)：上記「病院の概要」の診療科目のほか、地域保健から選択。ただし、精神科を選択した場合は、協力病院である順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院での研修となります。

研修医の処遇

給　与▶1年次：36万円／月　2年次：40万円／月、賞与（1年次：10万円／年　2年次：20万円／年）
諸手当▶当直手当、住宅手当、通勤手当
保　険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険
勤務時間▶8時45分～17時
当　直▶あり（4回／月）
休　暇▶夏期休暇6日、年末年始休暇、有給休暇（1年次：12日　2年次：13日）
宿　舎▶あり（世帯用も用意）
その他▶健康診断2回／年、ワクチン接種

主な臨床研修協力病院・協力施設

・川口市消防局
・地域の診療所
・訪問看護ステーションきゅうぽら
・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
・岩手県済生会岩泉病院
・埼玉県川口保健所
・済生会川口健診センター
・済生会特別養護老人ホーム彩光苑

当院のキーワード

当院の特徴

基本方針としては、地域と一体となって患者のみならず住民の皆さんにとって「ここちよいサービス」に努めることを主体に、高度先進医療や救急医療を実践し、質の高い安全、且つ安心できる医療を提供し、患者さんにはクリニカルインジケーター等を用い積極的に医療情報を開示するとともに、インフォームドコンセント/インフォームドチョイスを原則に、与える医療から患者参加型、若しくは患者選択型による医療を行っています。

そして平成25年12月末に着工した新館建築・本館改修工事は、平成27年6月1日に東館がオープンし、間もなく本館改修工事を完了予定です。急性期病院として411床から424床に増床となり、ＩＣＵ・救急・周産期部門の充実と、がん診療に一層力を入れていきたいと思っています。

研修責任者から

病院長代理・外科主任部長
佐藤　雅彦

当院は、荒川を境に東京都と接する埼玉県川口市に位置する地域中核型の急性期病院です。

平成25年12月末に着工した新館建築・本館改修工事は、平成27年6月1日に新館である東館がオープンし、既に健診部門・透析部門が拡充されました。本館は間もなく工事完了予定です。病床数は現在の411床から424床に増床となり、ＩＣＵ・救急・周産期部門の充実が図られることとなります。

医師数は、初期研修医を含め、常勤医師135余名です。多くの指導医は、厚生労働省の指針による講習会を受講している為、十分な指導体制が確保されています。

当院での患者中心の医療を経験することにより、優れた技術、看護師をはじめメディカルスタッフとのチーム医療、患者との信頼関係、プロ意識等を体験し、臨床研修の2年間でプライマリ・ケアを中心に最低必要な態度、知識、技術を体得するよう努力してください。

できる限りの協力をします。

先輩研修医から

研修医１年目
藤堂龍一郎

私はまだ当院の初期研修１年目なので、分からないことばかり、というのが本音です。しかし、今まで出会った上級医の先生方はとても優しく熱心に指導してくださいますし、コメディカル・事務の方々もいつも丁寧に、親切に対応してくださいます。初期研修医２年目の先輩方もとても明るく優しい方ばかりで、分からない時や困った時は、気軽に相談に乗っていただいています。

初期研修先の病院を決めることは大きな決断だと思いますし、私も大変悩みましたが、今では当院で研修ができて本当に良かったと感じています。学生の皆さん、是非当院での初期研修を検討してみてください。まだ見学に来られたことのない方も是非一度足を運んでみてください。きっとこの病院の良さが伝わると思います。

女性医師支援コーナー

・産前産後休暇
・育児休業

連絡先　済生会川口総合病院

臨床研修室　久木田　篤史

〒332-8558　川口市西川口5-11-5
TEL 048－253－1551（代表）　FAX 048－256－5703
E-mail kensyu@saiseikai.gr.jp
URL http://www.saiseikai/gr.jp
アクセス ＪＲ京浜東北線西川口駅から徒歩10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時受付
（申込みは、当院HPより）

3 医療生協 さいたま生活協同組合 埼玉協同病院

病院の概要

- **病床数**　401床
- **医師数（研修医を除く）**　62名（うち指導医数　45名）
- **研修医数**　1年目　2名　2年目　3名
- **研修医の主な出身大学**　東北大学・順天堂大学・大分大学・近畿大学
- **診療科**　内科　循環器科　呼吸器科　消化器科　小児科　整形外科　外科　脳神経外科　産婦人科　皮膚科　放射線科　麻酔科　精神科　神経内科　眼科　リハビリテーション科　耳鼻咽喉科　泌尿器科
- **1日平均外来患者数**　1025名
- **1日平均入院患者数**　320.6名
- **主な認定施設**　日本内科学会認定制度教育病院
  日本小児科学会専門医研修施設
  日本外科学会専門医制度修練施設
  日本整形外科学会研修認定施設
  日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
  日本プライマリ・ケア連合学会認定施設

研修プログラムの特色

初期研修は、まず総合内科で4か月間一貫した指導を受け、その後内科、救急（内科ＥＲ、整形外科救急を含む）、外科、小児科、産婦人科、地域医療の研修を行います。

指導体制は、屋根瓦方式をとっており、指導医の下、2～6年目の医師が日常的な相談にのり研修を行っています。さらに、看護師、医療相談員（ＳＷ）などのメディカルスタッフと一緒にカンファレンスをすることで患者さんに寄り添った医療を行う姿勢を身に付けます。

プログラム　例　埼玉協同病院初期総合臨床研修プログラム（募集定員７人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合内科				内 科		救 急			外 科		産婦人科
2年目	内 科		地域医療		小児科		選 択					

※必修項目：内科（6か月）、救急（3か月）、地域医療（1か月）
病院が定める必修項目（上記項目に加えて）：内科（2か月）、外科（2か月）、小児科（2か月）、産婦人科（1か月）
選択：内科、救急、地域医療、麻酔科、外科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、皮膚科

研修医の処遇

給　与▶1年次：35.7万円／月　2年次：39.7万円／月　賞与年2回（2015年度実績3.8か月）
諸手当▶住宅手当、家族手当、当日直手当、年末年始勤務手当
保　険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険（病院において加入）
勤務時間▶平日8時30分～17時、土曜8時30分～13時
当　直▶あり（4～5回／月）
休　暇▶4週6休、夏期休暇、年末年始休暇、特別休暇（結婚、忌引きetc.）
有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶なし（住宅手当【月額5万円まで支給】）
その他▶常勤採用　学会・研修会参加補助　院内保育所

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 熊谷生協病院
- 秩父生協病院
- みさと協立病院
- 浦和民主診療所
- 大井協同診療所
- さいわい診療所
- かすかべ生協診療所

当院のキーワード

当院の特徴

埼玉県の南部地域において、地域医療に力を注いでいます。地域の方たちとの保健予防活動、救急医療(2014年救急車搬入台数3,277台)、慢性疾患医療、リハビリ、在宅医療まで一貫した総合的医療を患者さんの立場に立って実践しています。診療圏は川口市、戸田市、蕨市、さいたま市を中心としており、中核病院として急性期医療を担っています。当院では、内科を中心に救急、小児科、麻酔科、外科、整形外科、産婦人科、選択6か月のローテーション研修を行い、総合的な力量を身に付けます。地域に密着した診療所(法人内)での地域医療も含め、プライマリ・ケアをしっかり学べます。また、疾病だけでなく、患者の生活背景や労働環境の問題にも目を向けた医療を行う医師養成を目指しています。

初期研修では、まず総合内科病棟から研修を開始し、基本的な診療スタイルを最初の4か月で身に付けます。バラエティに富んだ症例を経験し、症候から病気を捉えることができるようになります。また、高齢者は複数の疾患を持っていることが多く、総合的に診ることが必要です。主体的に治療を行うことで、基本的臨床能力を身に付けます。

当院の医局は、一つの部屋に全ての診療科が集まった総合医局です。そのため、診療科間の敷居が低く、研修医も各診療科へのコンサルテーションがしやすく、出身大学も様々で、医局全体で研修医を育てる雰囲気に満ちています。

研修責任者から

研修管理委員長(院長)
増田　剛

医師人生にとって初めの2年間をどのように過ごすかはとても大切です。知識や技能の習得はもちろんですが、医師として相応しい基本的な態度や姿勢を学び身に付けることが重要だと私たちは考えています。単に病気を診るのではなく人間を診るということ、社会的背景にしっかり対応すること、常に学習を怠らず謙虚に学び続けることなど、医師人生の土台をこの2年間で創っていただきます。当院は開院以来、全職種と地域住民の協力で地域で役に立つ臨床医を育ててまいりました。2011年に教育研修センター(SKYMET)を立ち上げ、生涯研修を見据えた全職種のための教育研修部門として、講演会や研修会を運営しています。初期研修から後期研修、その後の資格獲得やスキルアップなど、個々の医師のライフサイクルに合わせた援助ができると考えています。熱いハートを持った指導医集団と良きパートナーを育てることに心血を注げるメディカルスタッフ、そしてその活動を地域から支える住民組織が皆さんのお越しを心待ちにしております。

先輩研修医から

後期研修1年目(3年目)
佐藤　雄一

総合内科はチーム制を取っています。各チームには後期研修医が数名在籍しており、初期研修医の先生の指導に当たります。感染症・脳血管障害・代謝性疾患・心疾患など症例は多岐に渡り、非常に勉強になります。

初期研修医向けのレクチャーは1～2回／週あります。教育研修センター(SKYMET)主催で、他の施設から著名な先生方をお招きしての貴重な講演会が聴講できます。研修医を育てるということに熱心な病院です。レクチャーやカンファレンス、講演会から非常に多くのものを学ぶことができます。

一方で市中病院らしく手技も豊富に経験でき、バランスの良い研修ができたと思います。上級医の先生方やスタッフの皆さんが患者さんに対して真摯に向き合っており、退院後の生活にまで気を配る姿勢を身に付けることができました。

女性医師支援コーナー

当院では常勤医師の約30%が女性医師であり、その多くの医師が出産・育児をしながら活躍しています。

また内科、産婦人科、小児科、皮膚科の各部長は女性医師が担当しております。

短時間勤務制度(当直免除)や院内保育所の利用に加え、昨年からは病児保育の対応も行い、『誰もが安心して働ける職場作り』を目指して取り組んでいます。

連絡先　埼玉協同病院

教育研修センター　市川大輔

〒333-0831　川口市木曽呂1317

TEL 048－296－5822(直通)　FAX 048－296－8247

E-mail skymet@mcp-saitama.or.jp

URL http://www.skymet.jp/

アクセス JR武蔵野線東浦和駅から徒歩15分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法

●当院ホームページから見学申込みフォームにてお申し込みください。

毎月研修説明会を予定しておりますので、是非御参加ください(事前申込み)。

4 医療法人社団東光会 戸田中央医科グループ 戸田中央総合病院

病院の概要

●**病床数**　492床
●**医師数(研修医を除く)**　97名(うち指導医数　25名)
●**研修医数**　1年目　8名　2年目　7名
●**研修医の主な出身大学**　東京医科大学・東京女子医科大学・日本医科大学・群馬大学・島根大学・千葉大学・北海道大学・聖マリアンナ医科大学　など
●**診療科**　内科(糖尿病　内分泌)　消化器内科　循環器内科　神経内科　呼吸器内科　腎臓内科　泌尿器科　移植外科　救急科　小児科　外科　消化器外科　呼吸器外科　乳腺外科　整形外科　脳神経外科　眼科　心臓血管外科　形成外科　皮膚科　耳鼻咽喉科　麻酔科　放射線科　緩和医療科　病理診断科　在宅医療部　メンタルヘルス科
●**1日平均外来患者数**　1258.7名　●**1日平均入院患者数**　432.9名
●**主な認定施設**　地域がん診療連携拠点病院、日本内科学会認定医制度教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設　日本小児科学会専門医研修施設、日本整形外科学会専門医研修施設、日本麻酔科学会認定病院　など

研修プログラムの特色

病院理念と特徴に沿った指導体制を基本に、厚生労働省が指定している必修科目として内科系6か月、救急3か月、地域医療1か月、選択必修(小児、精神、産科、麻酔)3か月に加え、外科系3か月を必修とする基本プログラムにより、初期臨床研修到達目標の達成を図っています。また、選択期間を8か月とすることで、後期研修への移行が円滑に進むようなプログラムとなっています。

募集する研修医数を8名とすることで、指導医と研修医が直接的な臨床現場での教育を行っています。

プログラム 例　戸田中央総合病院初期臨床研修プログラム(募集定員８人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科系　6か月						外科系　3か月			救急科　3か月		
2年目	地域医療	選択必修　3か月			自由選択　8か月							

＊内科系６か月(一般内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、＋消化器内科又は循環器内科)　外科系３か月(外科、整形外科)　救急科３か月　地域医療１か月
＊選択必修３か月(産婦人科・精神科・小児科・麻酔科より２科以上選択)
＊自由選択８か月(一般内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、小児科、外科、泌尿器科、心臓血管外科、整形外科、緩和医療科、救急科、麻酔科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、産婦人科、精神科)

研修医の処遇

給　与▶1年次：36万円／月　2年次：40万円／月
諸手当▶当直手当　など　※その他当院規程による
保　険▶組合健康保険、その他各種保険
勤務時間▶9時～17時30分
当　直▶あり義務当直（2回／月）・救急車当直（手挙げ制）
休　暇▶土曜午後、日曜・祝日、年末年始、夏季休暇
有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

・戸田中央産院(戸田市)
　※産婦人科領域
・戸田病院(戸田市)
　※精神科領域
・永尾醫院(戸田市)
　※地域医療領域

当院のキーワード

戸田中央総合病院の初期研修とは・・・

救急ベッド、ICU、CCUを有し24時間体制で救急疾患に対応するだけでなく、地域がん診療連携拠点病院として、がん診療にも積極的に取り組んでおり緩和ケア病棟も有しています。救急件数も約13．5件／日、約413件／月で大変忙しい病院ですが、Common　Diseaseも非常に多く初期研修には大変適した病院です。また、当院では研修医も「一人の医師」として接します。そのため、「研修医だから･･･」という制限を設けず、やる気と知識さえあれば、責任者許可の元、治療計画や手術、検査なども実践できます。さらに、腎移植をはじめ県内初のダ・ヴィンチ導入など最先端医療を積極的に取り入れているところも魅力の一つです。

その他、月1回開催する「研修医近況報告会」ではその月に開催された臨床研修委員会で出た各研修医評価のフィードバック、研修医からの意見の収集とその結果報告や研修医が希望した内容の勉強会等を行い研修医との意見交換の場、勉強の場を設けています。

当院は1学年8名で全国より研修医が集まってきますが、初日から十年来の友達だったかのように打ち解け、また、指導医や上級医も研修医に気さくに接し、とてもフレンドリーな職場となっています。

研修責任者から

プログラム責任者(副院長)
田中　彰彦

鉄は熱いうちに打てといいます。臨床研修に望む医師は多くの希望と不安を抱きながら社会人としての一歩を踏み出されることでしょう。

私たち研修病院の使命は、そうした皆さんの情熱を消すことなくきちんとした教育を行い後期研修への礎を築くことにあります。そのためには私たち自身が教育するための質の向上を絶えず模索していかなくてはならないと考えております。研修医と指導医ともに切磋琢磨できる環境を一緒に構築できる研修病院を作っていきましょう。

先輩研修医から

研修医２年目
星本　相理

地域密着型の病院であるためCommon Diseaseを多く見ることができると考え、戸田中央総合病院を選びました。症例数も多く、多くの診療科が揃っているということもあり多彩な疾患を経験することができます。プライマリ・ケアはもちろん、入院患者においては治療方針を主体的に考えることもあるため、やりがいはあると思います。

熱心に指導してくださる先生がとても多く、重要な場面では必ず指導医のサポートやアドバイスが入る恵まれた環境です。一般的に市中病院は手技が多いとの印象ですが、たしかに当院も手技をやる機会はかなり多く、一人一人の実力に応じてIVH挿入からオペレーターまで経験できます。

また、看護師をはじめ他の院内職員の方々にも気軽にアドバイスいただける雰囲気のため、チーム医療が行いやすいのも良いところだと思います。

女性医師支援コーナー

戸田中央総合病院では働く女性のために国内最大規模の200名受入れ可能な保育室を平成27年8月にリニューアルオープンしました。さらに、院内には病児保育施設もあり安心して働くことができる環境作りをしています。

また、院内では常勤医の約25%にあたる27名の女性医師が働いています。

連絡先　戸田中央総合病院

臨床研修担当　遠藤・尾田

〒335-0023　戸田市本町1-19-3

TEL 048－442－1111(代表)　FAX 048－433－4076

E-mail rinsyou-kensyu@chuobyoin.or.jp

URL http://www.chuobyoin.or.jp/

アクセス JR埼京線戸田公園駅から徒歩4分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

☆病院見学随時募集中☆

戸田中央総合病院では、病院見学を随時募集しています。

御希望の方は氏名・大学名(学年)・見学希望日(第三希望まで)・見学希望科(第三希望まで)を左記メールアドレスまでお送りください。

※詳細は当院ホームページを御参照ください。

5 医療法人社団武蔵野会 戸田中央医科グループ(TMG) 朝霞台中央総合病院

病院の概要

●**病床数**　326床
●**医師数(研修医を除く)**　55名(うち指導医数　35名)
●**研修医数**　1年目　3名　2年目　3名
●**研修医の主な出身大学**　京都府立医科大学・名古屋市立大学・高知大学・岩手医科大学・香川大学・東京医科大学・北里大学・帝京大学
●**診療科**　内科　呼吸器内科　循環器内科　消火器内科　腎臓内科　外科　呼吸器外科　消化器外科　小児外科　肛門外科　小児科　脳神経外科　整形外科　皮膚科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　形成外科　麻酔科　リハビリテーション科　放射線科
●**1日平均外来患者数**　989名　●**1日平均入院患者数**　289名
●**主な認定施設**　埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会教育関連施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本整形外科学会認定施設、日本脳神経外科学会指定訓練施設、日本救急医学会専門医指定施設　など

研修プログラムの特色

当院は「高度な医療で愛し愛される病院　患者様を自分の家族と思う医療」を理念とし、いつでも誰でも最善の医療が受けられることを目指し、朝霞市・新座市・志木市・和光市を含む4市の中核病院として活動する急性期病院です。臨床研修医の皆さんが経験を積むには最良の環境です。また、プログラムでは、総合診療・救急医療・地域医療を基本とし、総合的臨床能力を有する医師の育成を目的としています。内科・救急部門・地域医療を必須とし、外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科から2科目を選択必修としています。最大12か月間は自由選択になりますので、将来専門としたい診療科を中心に関連の診療科で研修することができます。研修医の募集定員を4人と少人数制にすることで、指導医とマンツーマンでの研修を実現しています。初期救急医療からプライマリ・ケアを主とした研修をベースに問診・初期治療の実践から適切な判断能力を身に付けることができます。当院は二次救急医療機関として地域医療の一端を担っていますので、全科の研修時に二次救急医療を研修できることが特徴です。恵まれた環境の朝霞台中央総合病院で、ともに学び、喜びを共有しましょう。

プログラム　例　朝霞台中央総合病院臨床研修プログラム(募集定員4人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内 科						救急部門			選択必修		地域医療
2年目	自由選択											

※自由選択科目は、内科・救急・地域医療・外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科より自由に選んで研修。
※選択必修は、外科・麻酔科・産婦人科・精神科より２科目選択。

研修医の処遇

給　与▶1年次：36万円/月　2年次：40万円/月
諸手当▶通勤手当、時間外手当、当直手当
保　険▶組合健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶9時～17時30分
当　直▶希望制
休　暇▶土・日・祝日（週休2日制）、有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶あり（単身用）

主な臨床研修協力病院・協力施設

・戸田中央医科グループ
　戸田中央総合病院(小児科)
　戸田中央産院(産婦人科)
・東武中央病院(精神科)

当院のキーワード

当院の特徴

当院は年間4,596件の救急車を受け入れており、手術件数も年間3,653件と非常にアクティブに活動している病院です。特に、内科・外科・整形外科・脳神経外科の4科は県内トップレベルの診療実績があります。平成26年から研修医の勉強会も始めました。毎週火曜日に研修医が持ち回りで勉強会を主宰しています。詳しくはホームページで確認できます。(http://www.asakadai-hp.jp/profile/cat406/cat603/#c_top)　院内の行事も数多くあり、医師・看護師・コメディカル・事務の結びつきが強く、カンファレンスも活発です。院内サークル(バレーボール・スキー・スノーボード・フットサル・テニス・バスケットボール)があり、他部署の職員とも交流を深めていますので、業務終了後や休日も朝霞台生活を満喫することができます。

平成30年1月には、120床増床して新築移転を行い446床の新病院に生まれ変わります。現在ＳＣＵ・ＨＣＵは稼動していますが、新病院ではＩＣＵ・ＣＣＵもできる予定です。

3年間連続フルマッチの朝霞台中央総合病院で一緒に頑張りましょう！

研修責任者から

プログラム責任者
飯田　惣授

初期臨床研修とは、医師、そして責任ある一社会人としてのスタートである。その大切なスタートをスムーズにきってほしい。医師としての資格を取得し、一番熱い思いのあるときに、初期研修の2年間を無駄なく有効に使ってほしい。そのためには、情熱を持った研修医に、できる限りその希望にかなう研修が行えるようプログラムの作成を考えている。「医療の主体は、医師ではなく、患者さんである。」また、「医師免許とは、医師個人が取得した特権ではなく、患者さんのために精一杯働くという契約の中で行う医療行為を許可された免許である。」このことを、研修の中で自覚してほしい。また、先端の医療は、患者さんを中心に置いて医師、看護師、技術職、事務職等、多岐にわたる役職が関わり協力する中で結果を求められる。このチーム医療の中で医師は、常にチームのリーダーとしての自覚と責任を持たねばならない。この研修の中でリーダーとしての素養を身に付けてほしい。医師の技能向上において、知識以上に重要なのは実際の経験である。この2年間は、患者さんと接する中で、より多くの臨床経験を積んで将来の大きな飛躍につながる医師としての基礎を築く2年間としてほしい。

先輩研修医から

後期研修医
西村　美緒

朝霞台中央総合病院は、病院の1歩中に入れば、外来にはいつも患者さんが数多くいて、スタッフも元気がよく、地域密着型で活気のある病院であることがわかります。診療各科、看護・コメディカルとの垣根も低く、困ったときは気軽にコンサルトしやすいのでチーム医療としてスムーズに連携が取れ、非常に働きやすい環境です。

研修については、指導医の先生方からマンツーマンで指導を受けられ、手技もどんどん積極的に行うことができます。私はあまり器用ではありませんが、先生方が辛抱強く丁寧に教えてくださったおかげで成長することができました。また、自分の方向性が定まる2年次のローテーションは選択期間が12か月と長く、自分の希望を伝えれば臨機応変に選択科・期間のプログラムを組むことができます。初期研修の病院選びは、選択肢が多い分難しく、つい有名な病院を選びがちですが、こういった病院もあるんだな、と知るだけでも考え方が柔軟になります。各科ローテーション中も他科で興味のある症例がある場合はいつでも参加することができ、いい意味で融通が利きます。臨床研修の2年間というのは、医学的知識はもちろんですが、医師としての基本的な行動や考え方、コミュニケーション能力などを養成する時期ではないでしょうか。そういった人間力を養う場として朝霞台中央総合病院は最適ではないかと日々感じながら、楽しく充実した研修医生活を送りました。

女性医師支援コーナー

当院では、女性医師の比率が30%と高く、非常に多くの女性医師が活躍しています。当直業務は、体力面を考慮して希望制を採用しています。当直業務を希望する場合は、内科・外科・整形外科・脳神経外科での当直業務が可能です。また女性医師専用の休憩室も整備していますので、昼休みなどは休憩室を利用することができます。

24時間利用可能な保育室も完備していますので、長期にわたって勤務することが可能です。後期研修医になれば子育て支援の観点から、時短勤務で働くことも可能です。

朝霞台中央総合病院は、女性臨床研修医を大歓迎します。是非、病院見学に来てください。

連絡先　医療法人社団武蔵野会　朝霞台中央総合病院
総務課

〒351-8551　朝霞市西弁財1-8-10
TEL 048－466－2055(代表)　FAX 048－466－2059
E-mail asaka_info@tmg.or.jp
URL http://www.asakadai-hp.jp
アクセス 東武東上線　朝霞台駅から徒歩3分／ＪＲ武蔵野線　北朝霞駅から徒歩3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院就職説明会
(毎週金曜日：予約制)
※見学希望の方は、メール・電話でお問い合わせください。見学時に研修医室やシミュレーターを見ることができます。
●病院イベントであるキャンドルサービス(12月)・納涼会(8月)も参加可能です。

6 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院

病院の概要

●**病床数**　350床
●**医師数(研修医を除く)**　111名(うち指導医数　44名)
●**研修医数**　1年目　10名　2年目　7名
●**研修医の主な出身大学**　慶應義塾大学・埼玉医科大学・信州大学・杏林大学・藤田保健衛生大学・東京医科大学・帝京大学・大分大学・群馬大学・順天堂大学・北里大学・三重大学・川崎医科大学・山口大学・滋賀医科大学・富山大学・東邦大学・日本大学　など
●**診療科**　内科　緩和ケア内科　消化器内科　神経内科　循環器内科　呼吸器内科　小児科　外科　乳腺外科　形成外科　整形外科　リハビリテーション科　脳神経外科　心臓血管外科　皮膚科　泌尿器科　呼吸器外科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　麻酔科　精神科
●**1日平均外来患者数**　1018.4名　●**1日平均入院患者数**　323.6名
●**主な認定施設**　日本内科学会専門医教育病院
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本循環器学会教育認定施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本小児科学会専門医研修関連施設
日本周産期・新生児医学会専門医制度指定施設　など

研修プログラムの特色

• 基本コース
　1年目に8か月間各科1、2名程度で内科系研修を行います。救急外来では年間100例程度搬送されてくるCPAの初期対応からCommom Diseaseまで幅広く初期対応を学びます。外科、麻酔科、産婦人科、小児科が必修です。2年目は将来のことを考え、選択科目で研修ができます。選択期間が9か月と長いことも特徴です。初期研修が終わったら、1人で内科当直しても怖くない、と言えるくらいのレベルを身に付けられます。
• 小児科・産婦人科コース
　小児科又は産婦人科希望者を対象としています。4月から主科で研修を開始することで、その後、将来をイメージしながら他科での研修ができるようになっています。2年目には大学病院などの専門病院やクリニックで研修し、視野を広げられるようにしています。きめ細かい指導を特徴とし、大学病院の小児科・産婦人科コースにも負けない内容であると自負しています。既に産婦人科や小児科と決めている方にはお薦めです。

プログラム 例　基本コース（募集定員８人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科系								麻酔科		産婦人科	外 科
2年目	救 急	小児科	選択科目									地域医療

その他　小児科・産婦人科コース（募集定員４人）

必修科目として内科系8か月、麻酔科2か月、産婦人科・外科・小児科は最短1か月の研修を必修とします。
1年目は内科系8か月と麻酔科2か月で研修を行います。救急、産婦人科、外科、小児科は1年目又は2年目の前半で研修します。救急研修については、オリエンテーション後2年間の日当直(月4回として96～104回で3か月間に相当)及び2年目に1か月の日中の救急外来で研修します。2年目に1か月間の地域医療研修を診療所等で実施し、9か月間を研修医自身が希望する選択科目に充てます。また、各科別プログラムとは別に全科共通の臨床医として当然身に付けておくべき医療の基本を共通プログラムとして研修します。

研修医の処遇

給　与▶1年次：約38万円／月（日当直含む、税込）　2年次：約48万円／月（日当直含む、税込）
諸手当▶通勤手当
保　険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶8時30分～17時15分
当　直▶あり（4回／月）
休　暇▶2日／週、祝日、年末年始休暇、有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶あり（希望者多数の場合は入居できないことがあります）
その他▶健康診断（2回／年）、インフルエンザ予防接種無料

主な臨床研修協力病院・協力施設

・慶應義塾大学病院
・大泉病院
・勝海外科
・清水医院
・天野医院
・志木北口クリニック
・東武中央病院
・東長野病院
・秩父市立病院
・志木駅前クリニック　など

当院のキーワード

当院の特徴

- 当院は地域に根ざした中核病院として、国や埼玉県より地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、循環器病基幹医療施設、肝疾患診療連携拠点病院、災害医療拠点病院として指定を受けています。また平成27年10月より地域周産期母子医療センターに指定され、小児・周産期医療も推進しています。そして更なる機能向上のため、平成30年度に新新棟200床を開棟する予定です。現在、職員一丸となって質の高い医療を行っております。
- 研修医は年1回実施される国立病院医学会や埼玉県医学会への参加のほか、月1回実施される地元医師会との合同カンファレンスや抄読会、症例検討会、各種勉強会に出席することができるなど、研修環境も充実しています。また、研修期間中半年に1回、研修担当責任者が面談を実施して研修状況を確認し、きめ細かい指導を行っています。
- 立地は都心からのアクセスも良好ですので、将来に備えて都内での講習会の参加が容易です。

一度見学していただき、当院の雰囲気を感じて、自分の求める研修があるかを確認してください。やる気のある方大歓迎です。

研修責任者から

小児・周産期センター部長・
プログラム責任者
上牧　勇

埼玉病院は、地域で中核となる公的病院として、地域医療を実践しています。救急の現場では、指導医とともに研修医が多くを学んでいます。

また、当院には、埼玉県内でも有数の特徴ある診療科があり、選択研修の幅が広くなっています。

学術面では、院内学会、国立病院医学会での発表を通じて学会発表についても指導を受けます。指導医とともに全国で開催される学会に参加し、発表を経験することは貴重な経験となるでしょう。共通講義、抄読会、症例検討会、その他の勉強も豊富です。

このような環境で、積極的な姿勢を持ち、2年間の研修生活を仲間とともに過ごせば3年目以降の飛躍に役立つと信じています。

先輩研修医から

研修医１年目
有居　真美

埼玉病院で初期研修をして良かった。そう思える環境が埼玉病院には揃っています。

まず、研修医は少人数制であり、1人の研修医が上級医と接する時間は多く、実際に臨床で行われている医療を学び、実践することができます。手技に関しても積極的にやらせてもらえる機会が多く、指導を受けながら身に付けることができます。1学年10人前後ということもあり、研修医1年目と2年目の仲もとても良いです。

また、定期的に開かれている抄読会や勉強会も多く、興味があれば学会発表も研修医の早い時期から経験することができます。

何よりコメディカルの方をはじめ、病院全体が温かい雰囲気であり、たくさんの職種の方に指導をしていただきながら、成長していく日々を実感しております。医局も総合医局ですので、他科の先生方にも気軽に相談することができます。

環境面でも平成22年に新棟が建ち、平成30年には200床の増床を予定しておりますし、埼玉病院といってもすぐ東京都ですので都心からのアクセスも良好です。

是非一緒に働きましょう。お待ちしております。

女性医師支援コーナー

当院では、産前・産後休暇、生理休暇、育児休業制度があるほか、セクハラ・パワハラに対しては相談窓口を設けて対応しており、相談員に電話のほかメールでも相談ができる体制を整えています。

女子更衣室にはシャワー室が完備されており、いつでも使用することができます。

また、埼玉県の「多様な働き方実践企業」に認定されており、職員の多様な働き方に配慮しています。

連絡先　独立行政法人国立病院機構　埼玉病院

管理課　庶務係

〒351-0102　和光市諏訪2-1

TEL 048－462－1101（代表）　FAX 048－464－1138

E-mail 209sy01@hosp.go.jp

URL http://saitama-hospital.jp/

アクセス 東武東上線　成増駅より東武バス・西武バスともに約7分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時受け付けています。必要書類を郵送してください。詳しくはＨＰを御覧ください。
- 埼玉病院説明会は3月と8月に開催予定です。
- 病院合同説明会（レジナビ等）参加予定です。
- 埼玉病院facebookを御覧ください。

https://www.facebook.com/埼玉病院-644568159012220/timeline/

7 医療法人社団武蔵野会 戸田中央医科グループ(TMG) 新座志木中央総合病院

病院の概要

●**病床数**　327床
●**医師数(研修医を除く)**　49名(うち指導医数　11名)
●**研修医数**　1年目　1名　2年目　1名
●**研修医の主な出身大学**　筑波大学・鹿児島大学・帝京大学・新潟大学
●**診療科**　内科　消化器内科　循環器内科　神経内科　小児科　外科　消化器外科　呼吸器外科　肛門科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　形成外科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　麻酔科　リハビリテーション科
●**1日平均外来患者数**　928.9名　●**1日平均入院患者数**　286.8名
●**主な認定施設**　呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設(基幹施設)
日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本消化器病学会認定施設
日本循環器学会認定循環器研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本整形外科学会研修施設

研修プログラムの特色

内科系は、消化器・循環器・内分泌代謝・血液腫瘍・腎臓高血圧・呼吸器・神経等を含む広い領域での指導体制となっております。救急の専門医はおりませんが、内科各領域で救急症例を積極的に受け入れております。また、外科系(消化器・一般・呼吸器・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・眼科・皮膚科・婦人科等)も同様ですので、内科系・外科系を通じて多くの救急症例を経験できます。さらに麻酔科研修でも救急医療の基礎を成す呼吸循環管理や臨床薬理の充実した指導を受けられます。また、小児科・産婦人科・精神科等も個々の研修医の希望に応じて柔軟に対応いたします。

いずれにせよ、当院は研修医の受入枠を少なくしておりますので、研修医1人当たりの指導者数が多く、濃密な指導が保証されています。

さらに看護師・コメディカルスタッフ等、あらゆる職種のスタッフが一丸となり研修を支援する体制が築かれています。

プログラム 例　新座志木中央総合病院初期臨床研修プログラム(募集定員３人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内 科（消化器・内分泌・血液・呼吸器　ほか）						救 急（呼吸器外科・循環器内科）			地域医療	選択必修（※2）	
	新座志木中央総合病院									※1	※3	
2年目	選択科目（自由選択）											
	内科・循環器内科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・麻酔科・皮膚科・精神科・小児科・産婦人科・地域医療											

※1　地域医療：せおクリニック　／　医療法人五麟会まちだ訪問クリニック　／　朝霞台中央総合病院ドック健診センター
※2　選択必修：外科・麻酔科・小児科・精神科・産婦人科の中から2つ以上を選択(1科目1か月)
※3　小児科：戸田中央総合病院　／　産婦人科：戸田中央産院　／　精神科：東武中央病院

研修医の処遇

給　与▶1年次：36万円／月　2年次：40万円／月
諸手当▶通勤手当
保　険▶組合健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶9時～18時
当　直▶要相談（1～4回／月）
休　暇▶変則週休２日制、有給休暇（10日／年）
宿　舎▶あり（住宅手当は病院規定による）

主な臨床研修協力病院・協力施設

・戸田中央総合病院
・戸田中央産院
・東武中央病院
・せおクリニック
・まちだ訪問クリニック
・朝霞台中央総合病院ドック健診センター

当院のキーワード

当院の特色

埼玉県南西部70万人の医療圏における急性期中核病院として327床で運営しております。

思いやりのある質の高い医療、地域医療機関との密接な関係、行き届いた管理体制による効率的な医療等を行動の規範として皆様から「愛し愛される病院」を目指し、24時間救急体制で全力を尽くしております。

平成30年には、埼玉県第6次医療計画による基準病床数75床の増床認可を受け402床となり、地域密着型のより高度な医療の実践を目指しております。

また、当院は戸田中央医科グループ（ＴＭＧ）に所属しており、臨床面においてもスケールメリットを活かした病院運営を展開し、各大学病院と連携しながら医療レベルの向上に努めております。

研修責任者から

副院長・プログラム責任者
松浦　直孝

当院での臨床研修は、幅の広い且つ多様な研修ができるよう選択科目を多く取れるプログラムを作成しています。また希望があれば臨床研修管理委員会の承認を得て変更・改善も試みるなど、2年間の研修が充実したものになるよう支援体制を整えております。

研修医に対して希望することは

①積極的に臨床に取り組むこと

②患者・家族との対話とパートナーシップの構築

③コ・メディカルとの協調性、チーム医療

④医療の果たすべき社会的役割を認識すること

⑤地域・病院の行事に積極的に参加すること

以上ですが、2年間の臨床研修が1人の医師として、また1人の社会人の基礎となるように頑張っていきましょう！！

先輩研修医から

研修医１年目
竹内　翔吾

こんにちは。研修医竹内です。私が当院に惹かれた点は三つあり、それらは実際に働いてみて、強く実感しています。

一つ目はアットホームな環境です。上級医を含め様々な科・職種のスタッフ同士、距離が近く、相談等も快く受け入れてくれます。

二つ目に症例の多さ・手技の豊富さです。非常にまれな疾患は多くない反面、一般的な症例のほとんどを経験できます。なかなか研修中には体験できないような手技も、熱意ある指導の下どんどん体験させてくれます。

三つ目に柔軟な研修課程です。当院では必修期間を除き、個々人がローテーションを自由に組むことができる点は、他病院と異なる大きなメリットだと感じます。

皆さんの見学をお待ちしております。

女性医師支援コーナー

子育てしながら働くスタッフを支援するために、24時間対応保育室を完備しております。

連絡先　新座志木中央総合病院

総務課　滝沢　信介

〒352-0001　新座市東北1-7-2

TEL 048－474－7211（代表）　FAX 048－472－7581

E-mail s_takizawa@tmg.or.jp

URL http://www.niizashiki-hp.jp

アクセス 東武東上線志木駅から徒歩5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学随時受付中

8 春日部市立病院

病院の概要

●**病床数**　350床
●**医師数(研修医を除く)**　56名(うち指導医数　30名)
●**研修医数**　1年目　4名　2年目　4名
●**研修医の主な出身大学**　日本大学・産業医科大学・東京医科歯科大学・獨協医科大学・金沢医科大学・宮崎大学・秋田大学・東海大学・琉球大学
●**診療科**　内科　循環器科　消化器内科　呼吸器内科　血液・化学療法科　小児科　外科　乳腺外科　整形外科　脳神経外科　呼吸器外科　形成外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　神経科　放射線科　麻酔科　病理診断科　歯科口腔外科　健康管理科
●**1日平均外来患者数**　664.2名　●**1日平均入院患者数**　227.4名
●**主な認定施設**　地域がん診療連携拠点病院
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本緩和医療学会認定研修施設
日本内科学会認定医教育関連施設
日本外科学会専門医制度修練施設

研修プログラムの特色

(1)選択必修科目及び選択科目は9か月の研修とし、選択する診療科については、重複も可能です。選択する分野については、プログラム責任者及び選択する分野の指導責任者と研修医で相談し、研修管理委員会が決定します。
(2)地域医療は、診療所(外来診療、在宅、デイケア)、緩和ケア、回復期リハビリ病棟、特別老人養護施設など、多様な研修の組み合わせが可能となっています。
(3)救急医療は内科、外科研修時及び日・当直業務で随時経験できます。また、救急車同乗、小児救急平日夜間診療部への参画など、救急医療を重視しています。

プログラム 例　春日部市立病院　研修プログラム（募集定員７人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内 科（呼吸器・神経・循環器・糖尿病）						救急部門			外 科		
2年目	精神科	小児科	地域医療	選択科目（最小単位は 0.5 か月）								

※1年目…必修内科6か月、救急部門3か月、選択必修科目のうち外科3か月を必修科目とする
※2年目…必修地域医療1か月、選択必修のうち精神科、小児科各1か月を必修科目とする

研修医の処遇

給　与▶1年次：28万円/月　2年次：29.65万円/月
諸手当▶当直手当、住宅助成
保　険▶政府管掌健康保険、厚生年金保険、労災保険
勤務時間▶8時30分～17時15分
当　直▶あり（基本5回まで／月）
休　暇▶土・日・祝日、年末年始、有給休暇（20日／年）
宿　舎▶なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
・医療法人 春明会 みくに病院
・日本大学医学部附属板橋病院
・独立行政法人 国立病院機構　東埼玉病院
・埼玉県春日部保健所

当院のキーワード

新病院が完成します！

当院は間もなく新病院の建物が完成し、夏には開院する予定です。

新病院は地震に強い免震構造を採用した地上8階建てで、専用の立体駐車場を併設しています。

1階と2階は外来や検査などの主要な機能を集約して配置した、分かりやすく利用しやすい外来・診療部門、3階は拡充した手術部門を中心に高度医療が連携する診療部門、4階は新生児特定集中治療室(NICU)などとの機能的連携に配慮した病棟、5階～7階は安心とゆとりのある病棟で、5階には緩和ケア病棟を新たに設置する予定です。

新しく生まれ変わる最新鋭の設備の中で、医師としての第一歩を踏み出してみませんか？

研修責任者から

病院長・プログラム責任者
三宅　洋

初期臨床研修は、医師が生涯を通じて最も多くのことを学ぶ時期です。この期間に医師の基本ができます。当院では、常に向上心を持ち、患者に向かう姿勢、真摯に医療に取り組む態度などを習得してもらうため、少人数の研修医に対し多くの指導医が丹念に指導を行い、育てることを基本にしています。

初期臨床研修に求められる経験、疾患、症候、手技については、基本的なローテーションの中で、各科指導医の下で無理なく習得することができます。各科に学会認定の専門医が揃っており、最新の専門的医療・実技も習得してもらえる体制をとり、且つ各診療科間で垣根のない連携した診療を行っています。

働きやすく、居心地のよい当院で有意義な研修をしてみませんか。先輩研修医たちも、志を同じくする仲間たちと出会えることを心待ちにしています。

先輩研修医から

研修医１年目
奥野　宏晃

春日部市立病院は2.5次救急病院として、あらゆる疾患の救急患者を受け入れます。少人数で対応するため、上級医の下、研修医が率先して初期対応に携わっていくことができ、程よい緊張の中で経験を積むことができます。

研修医は計10名前後と少人数であるため、手技の機会に恵まれおり、また何でも相談しあえるアットホームな環境です。私自身が研修をしていて思ったのは、当院は看護師はじめ、コメディカルの方々が協力的であるため医師が医療に集中でき、働きやすい病院であるということです。医療人として初めて社会に出てみて、コメディカルとの関係性はとても重要なものだと感じています。

さて平成28年7月から新病院に移設予定です。新病院では総合診療科創設やERなど新たな試みを開始しようとしています。出来立ての綺麗な病院で、共に学んでいきませんか。

女性医師支援コーナー

≪女性医師からのコメント≫

男性が多い職場ですが、産前産後休暇や育休期間中も、周囲の医師の方々の御支援をいただき、産後半年で無理なく常勤として復帰することができました。

復帰後の職場も、忘れかけていた知識の再勉強の場として新患外来の枠をいただいたり、当直免除や勤務時間の短縮など御配慮いただき、女性医師にとって働きやすい病院です。

また、ベテラン保育士による院内保育も完備され、多くの職員が利用しています。コメディカル含め、皆仲が良く楽しい雰囲気の職場です。是非一度、病院見学にいらしてください。

（内科医師　細渕尚子）

【院内保育所完備】

連絡先　春日部市立病院

経営管理課　総務担当　渡邊　正樹

〒344-8588　春日部市中央７－２－１

TEL 048―735―1261(代表)　FAX 048―734―2471

E-mail keiei@city.kasukabe.lg.jp

URL http://www. kasukabe-cityhp.jp

アクセス 東武スカイツリーライン春日部駅から徒歩約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時開催しております。

●病院見学を希望される方は、まず左記担当まで御連絡ください。

9 医療法人秀和会 秀和総合病院

病院の概要

●**病床数**　350床
●**医師数(研修医を除く)**　41名(うち指導医数　31名)
●**研修医数**　1年目　2名(協力型研修医)　2年目　0名
●**研修医の主な出身大学**　東北大学・金沢大学・新潟大学・東京女子医科大学・東京医科歯科大学・杏林大学　など
●**診療科**　内科　消化器内科　循環器内科　腎臓内科　呼吸器内科　糖尿病内科　内分泌内科　神経内科　リウマチ科　人工透析内科　アレルギー疾患内科　内視鏡内科　外科　消化器外科　食道外科　肝臓外科　大腸外科　脳神経外科　整形外科　リハビリテーション科　呼吸器外科　泌尿器科　婦人科(健診のみ)　乳腺外科　眼科　皮膚科　形成外科　内視鏡外科　放射線科　放射線診断科　病理診断科　臨床検査科　救急科
●**1日平均外来患者数**　484名　●**1日平均入院患者数**　180名
●**主な認定施設**　日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本栄養療法推進協議会、NST(栄養サポートチーム)稼動施設、日本医療機能評価機構認定病院(Ver.6.0)　など

研修プログラムの特色

○内科系
- 腎臓内科…透析医療を含め長い歴史があり、本院とは別にクリニックを併設し関東随一の患者数である400名以上の患者さんに透析を行っています。
- 循環器内科…救急医療とリンクしてinterventionを中心とした精力的、積極的なチーム医療を展開しています。
- 内分泌・糖尿病内科…一般糖尿病診療から多種臓器特異的疾患まで外来・コンサルテーションを中心に幅広く対応しています。
- 呼吸器内科…一般呼吸器診療から集中治療・緩和医療までの実践を行いつつ、一般感染症診療、睡眠医療、抗がん剤治療から緩和医療まで取り組んでいます。
- 消化器内科…消化器外科の協力の下、内視鏡検査を中心に積極的に診療を行っています。

○外科系
- 消化器外科…院長指導の下、ヘルニア日帰り手術から最難度の膵頭十二指腸切除術に至るまで精力的に対応しています。
- 血管外科…下肢静脈瘤日帰り手術からグラフト手術まで幅広く対応しています。
- 泌尿器科…幅広く手術に対応しています。
- 整形外科…関節リウマチを中心とした診療から整形外科全般に渡り対応しています。
- 脳神経外科…脳梗塞、髄膜炎から脳血管疾患全般を主に対応し、精力的に手術を行っています。

プログラム 例　卒後初期臨床研修プログラム（募集定員４人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内 科						外科・麻酔科				救 急	
2年目	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選 択							

◇必修
　内科6か月、外科・麻酔科4か月、救急2か月、小児科1か月、精神科1か月、産婦人科1か月、地域医療1か月
◇自由選択8か月
　内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科より選択

研修医の処遇

給　与▶約35万円／月
諸手当▶通勤手当
保　険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶9時～17時
当　直▶あり（4回／月）
休　暇▶2日／週、有給休暇（10日／年）
宿　舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 草加市立病院
- 東京足立病院
- 友愛記念病院
- 成田レディースクリニック
- 秀和透析クリニック

当院のキーワード

当院の特徴

患者さんにはもちろん、訪れた全ての「人にやさしい」そして「環境にやさしい」をコンセプトとする地域に開かれた病院を目指しています。シンボル空間としての「開放的なロビー」、自然の風を有効利用する「自然換気システム」、リハビリを促す「屋上庭園」などは、これまでの病院のイメージを超え、21世紀の病院にふさわしい"癒し"を感じさせる親しみある空間となっています。それぞれの診療科では、優れた専門医が診療に当たっており、最先端の技術を有する専門家が最新の医療機器を駆使して高度な先進医療を提供しています。

研修責任者から

副院長
桑原　道雄

当院は東武スカイツリーライン沿線に位置する埼玉県春日部市にあります。埼玉県東部の地域医療を担う基幹病院の一つとして、極めて活動的に医療に取り組んでいます。今までに築きあげた実績から地域住民の方々から信頼され、急性期医療、がん医療、緩和医療健診センター業務まで幅広く展開し、より専門性が高く質の高い医療を提供できる急性期対応型病院として機能しています。2004年に新築された病院は常にメインテナンスが施されて美しく、最新医療機器や最新電子カルテシステムも備えています。病院は全職員が快適に仕事に取り組むことができる環境にあり、医師、看護師、コメディカルスタッフが一丸となって、実りあるチーム医療を習得し、展開しています。当院では、教育理念に従って、チームの中で患者さんの抱える精神的問題にも親身になって対応し、疾患については適切且つ迅速に診断・検査・治療計画を立てて遂行することのできる医師を育成しています。また、救急医療や地域医療にも貢献し、救急患者は原則断らず、指導医の下で研修医の救急患者対応教育も積極的に行っています。

先輩研修医から

協力型研修医　1年目
萩原　早希

2015年4月より秀和総合病院で初期臨床研修を開始し、内科・外科・麻酔科・救急科を数か月単位でローテートしています。いずれの科も研修医と指導医の先生方の距離が近く、研修医ごとの素質や能力に応じて、熱心且つ親身に指導していただいています。また、内科・外科では毎週月曜日にカンファレンスが開かれており、研修医の症例発表に対して各科の先生方からフィードバックをいただけるため、非常に勉強になります。

コメディカルの方々も研修医を温かく見守り育てようという雰囲気にあふれており、質問なども気軽にできる、働きやすい環境が整っていると思います。研修にいらした皆様が、充実した実りある時間を過ごされることを願っています。

女性医師支援コーナー

【院内保育室の設置】

現在30名以上のスタッフが保育室（キッズルーム【ＳＨＵＵＷＡ】）を利用しています。

安心して育児と仕事の両立ができるよう、365日、24時間体制で満3か月～小学校就学前までのお子さんを家庭的な雰囲気の中でお預かりします。一時保育や二重保育もＯＫです。

仕事と子育ての両立を支援するとともに「基本的な生活習慣を身に付け」、「人との関わり方」を育てる保育に当たります。

連絡先　秀和総合病院

総務課　滝沢君雄

〒344-0035　春日部市谷原新田1200

TEL 048－737－2121（代表）　FAX 048－737－2903

E-mail takizawa-k@shuuwa-gh.or.jp

URL http://www.shuuwa-gh.or.jp

アクセス 東武スカイツリーライン・「春日部駅」西口より朝日バス「秀和総合病院」下車　所要時間10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●随時、病院見学を受け付けております。
希望の日程を御連絡ください。

10 医療法人財団　明理会 IMS（イムス）グループ 春日部中央総合病院

病院の概要

●**病床数**　404床
●**医師数（研修医を除く）**　39名（うち指導医数　8名）
●**研修医数**　1年目　3名　2年目　1名
●**研修医の主な出身大学**　川崎医科大学・日本医科大学　など
●**診療科**　内科　神経内科　糖尿病・代謝内科　呼吸器科　消化器科　循環器科
心臓血管外科　外科　整形外科　脳神経外科　泌尿器科　皮膚科　形成外科
耳鼻咽喉科　眼科　婦人科　麻酔科　人工透析
●**1日平均外来患者数**　670名　●**1日平均入院患者数**　320名
●**主な認定施設**　2次救急指定病院、日本医療機能評価機構認定病院、日本内科学会認定医制度教育関連施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設　など

研修プログラムの特色

1、内科研修の内容を充実させる目的で、血液浄化センターの体験と高齢化社会に対応した老人内科、在宅医療の研修を行います。
2、外科研修では人工心肺装置などを使用した手術を体験させるために心臓血管外科の研修を行い、さらに2次救命処置を完全に習得するために麻酔科研修を行います。
3、救急隊員と行動をともにすることにより、1次救命処置の重要性を理解します。
4、病診連携への理解を深めるため、個人診療所での現場体験をします。
5、介護支援制度を理解するため、社会福祉施設及び介護老人保健施設を経験します。
6、医療と地域福祉との関連について学ぶために、訪問看護ステーション及びグループホームを経験します。
7、保健所の役割を理解するため、保健所実習を行います。
8、2年目研修の選択期間を最大11か月とし、研修医に自由選択をしてもらいます。

プログラム　例　春日部中央総合病院群初期臨床研修プログラム（募集定員６人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	内 科（内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科）						救 急（救急外来・麻酔科）			選択必修※	
2年目	地域医療	選択科目（内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・外科・整形外科・心臓血管外科・脳神経外科・麻酔科・泌尿器科・皮膚科　など）										

※8コース（内・循・消・外・泌・整・心外・脳外）のプログラムがあり、指導医と相談の上プログラムを構成することも可能。
※選択必修科は精神科、産婦人科、小児科、外科、麻酔科の5科目のうち2科目選択（各1か月）。自由選択科は最大11か月。

研修医の処遇

給　与▶1年次：42万円／月　2年次：45万円／月（当直手当2回/月込み）
諸手当▶当直手当
保　険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶平日9時～17時30分、土曜日9時～13時
当　直▶あり（2回／月）
休　暇▶1.5日／週（土曜日午後、日曜日、祝日）特別休暇（慶弔休暇等病院規定による）
有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

・板橋中央総合病院
・新松戸中央総合病院
・新越谷病院
・越谷市立病院
・順天堂越谷病院　　など

当院のキーワード

研修医　一問一答

初期研修医に病院のこと、研修のことなどを答えてもらいました！

Q．病院を一言で表すと？
A．アットホーム
Q．当直は大変な科でどのくらいの頻度ですか？（週に○回、月に○回など）
A．月2回以上で、内科系と外科系のどちらかに入ります。
Q．当直は何名で担当しますか？（上級医や研修医などの医師数）
A．上級医1名、研修医1名でマンツーマンです。
Q．研修先病院の面接で印象に残っていることを一つ教えてください。
A．院長が気さくな先生でした。また、研修医の表情や受ける感じがとても良かったです。
Q．オペは何件くらい参加しましたか？（これまでの合計や、特に多い日の件数）
A．一番多い日だと5件くらいです。
Q．学会発表はしましたか？
A．学会発表はしていませんが、IMSグループ内で年に1回の臨床研修発表があります。

研修責任者から

臨床研修管理責任者
柳澤　良三

当院での初期研修の2年間は基本的知識、技術、態度を身に付けるための重要な時期です。将来どの診療科に進もうとプライマリ・ケアができることが必須であり、そのために様々な疾病を経験する必要があります。

春日部中央総合病院群初期臨床研修プログラムでは、近隣施設、IMS（イムス）グループと連携して、研修医の指導を行っているため、Common DiseaseからRare Caseまで経験可能です。春日部中央総合病院で、医師としての重要な第一歩を踏み出していただければと思います。

先輩研修医から

研修医１年目
中村　昌義

大学を卒業し研修医となると、医学生の時とは違い、医師として自分で考え、自分で行動することが求められます。しかし、国家試験の勉強と実際の臨床の現場では違いがありますし、最初からできようはずもありません。上級医や先輩研修医からのアドバイスや自ら学んだことを蓄積し、医師としての知識・手技・心構えなどを成長させることが、初期研修であると考えています。春日部中央総合病院には、面倒見の良い指導医や上級医が多くいますし、IMSグループ内の他の研修医とも切磋琢磨して成長していける環境があります。

当院のプログラムは、個人個人に合わせたプログラムを組むことが可能ですし、様々な症例を学ぶことができます。あなたも当院で研修医のスタートを切って、自分自身の理想とする医師像に向かってみませんか？

女性医師支援コーナー

春日部中央総合病院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産休、育児休暇、育児短時間勤務、当直免除等の制度を整備しています。また、院内保育所も完備していることから、育児しながら働く場の提供を行っています。子育てを応援する企業として、埼玉県より『多様な働き方実践企業』の認定を受けています。

連絡先　春日部中央総合病院
臨床研修事務担当
〒344-0063　春日部市緑町5-9-4
TEL 048－736－1222（直通）　FAX 048－738－1559
E-mail jinji@kasukabecuo.com
URL http://www.kasukabechuo.com/
アクセス 東武スカイツリーライン「一ノ割駅」下車徒歩5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時受け付けております。臨床研修事務担当まで電話、メール若しくはホームページよりお問い合せください。

11 越谷市立病院

病院の概要

●**病床数**　481床
●**医師数(研修医を除く)**　75名(うち指導医数　18名)
●**研修医数**　1年目　5名　2年目　3名
●**研修医の主な出身大学**　帝京大学・和歌山県立医科大学・北京大学・滋賀医科大学・東邦大学・久留米大学　など
●**診療科**　内科　神経内科　呼吸器科　消化器科　循環器科　小児科　外科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　麻酔科
●**1日平均外来患者数**　1041.7名　●**1日平均入院患者数**　328名
●**主な認定施設**　日本内科学会教育関連病院
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本脳卒中学会認定専門医研修教育病院
日本呼吸器科学会認定施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設
小児科専門医研修施設

研修プログラムの特色

研修内容は、厚生労働省の卒後研修要綱に準じた2年間の総合診療方式です。そして、研修医の将来における希望に応じて、11か月間選択した診療科での研修を行うことができ、より充実した研修を可能とする構成となっています。

また、募集人員が8名と少人数制で、マンツーマンでの研修が行われ、診療や各種手技も積極的に取り組んでいただいています。

さらに、当院内での研修のほかに希望者は自由選択期間に順天堂大学医学部附属順天堂医院、練馬病院、浦安病院、順天堂越谷病院での研修も行っています。

研修医の皆さんが充実した初期臨床研修生活が送れるよう指導体制も充実させています。

プログラム 例　越谷市立病院初期臨床研修プログラム（8人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急部門		選択必修			選択診療科
2年目	救急部門	地域医療	選択診療科									

＊内科6か月(一般内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・神経内科より4科選択)、救急部門3か月(麻酔科含む)、選択必修3か月(一般外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科より2科選択)、地域医療1か月、選択診療科11か月

研修医の処遇

給　与▶約35万円／月
諸手当▶当直手当
保　険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶8時30分～17時
当　直▶あり（5回まで／月）
休　暇▶土日祝、有給休暇（20日／年）
宿　舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

・順天堂大学医学部附属順天堂医院(東京都文京区)
・順天堂大学医学部附属練馬病院(東京都練馬区)
・順天堂大学医学部附属浦安病院(千葉県浦安市)
・順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院(越谷市・精神科)
・リハビリテーション天草病院(越谷市・地域医療)

当院のキーワード

当院の特徴

救急・高度・特殊医療を中心に地域の医療機関との連携を重視しつつ、基幹病院として地域医療の充実に努めています。各種学会専門医等の認定のための研修病院であり、救急患者も多く、プライマリ・ケアの研修に適した病院です。

また、平成25年6月には(財)日本医療機能評価機構より病院機能評価Ver6.0として更新の認定を受けました。

研修責任者から

臨床研修管理委員長
木下 恵司

越谷市は埼玉県東部に位置する人口約33万人の市です。都内へはもちろん、近隣県へもアクセスは便利です。平成28年1月12日で開院40周年を迎えました。

当院の研修の特色として初期研修医が口を揃えるのは、①Common Diseaseが多数経験できること、②基本的手技が身に付くこと、③選択期間が長期であることです。

①については、一般市中病院であり、医療連携などで紹介されてくる患者さんも多く、総合診療科での研修も含め、Common Diseaseが多数経験できます。②については、研修医の数が比較的少ないため、基本的手技を多く経験できます。③については、選択期間が11か月と長期であり、また当院以外でも順天堂大学及び関連病院での研修も可能です。

当院の指導医は、協力を惜しみません。意欲に燃えた研修希望者の御応募を期待しています。

先輩研修医から

研修医２年目
日下 国彦

当院での研修の利点として、少人数であるため各々が密度の濃い指導を受けることが挙げられます。症例や手技を取り合うといった問題も生じません。手技についても、自分が積極的な姿勢で取り組めば、初期研修中に修得すべきものは大学病院での研修と比べて格段に多くの症例を経験できます。

自由選択期間が多いカリキュラムであるため、あらゆる診療科をまんべんなく、あるいは興味のある診療科を重点的にといったように、自分に合ったカリキュラムを組むことができます。

また、当院は順天堂大学の関連施設であり、2年次は都内の本院・分院で研修することができます。実際の勤務内容・診療科の雰囲気を知ることや、様々な人とのコネクションを作ること、当院では経験できない稀な症例を診られることなど、有意義な時間を過ごすことができると思います。

また、研修医の出身大学は様々であり、それによる区別などは一切ありません。

最初の2年間をどの病院で研修するか悩むと思いますが、自分の努力次第で最大限自分のスキルをアップさせることができる当院での研修をお勧めします。

女性医師支援コーナー

- 院内保育室の設置
- 短時間勤務制度
- 産前、産後休暇／育児休暇制度

【院内保育室】

連絡先 越谷市立病院

事務部庶務課庶務担当　岡野　亮太

〒343-8577　越谷市東越谷10-47-1

TEL 048－965－2221(代表)　FAX 048－965－3019

E-mail 10173100@city.koshigaya.saitama.jp

URL http://www.mhp.koshigaya.saitama.jp/

アクセス 越谷駅東口から朝日バス「市立病院行き」「吉川駅北口(市立病院経由)」「総合公園行き」乗車約7分：南越谷駅北口から朝日バス「花田行き」「市立図書館行き」乗車約15分：新越谷駅東口からタローズバス「東埼玉テクノポリス行き」乗車約12分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時実施

12 草加市立病院

病院の概要

●**病床数**　380床
●**医師数(研修医を除く)**　83名(うち指導医数　17名)
●**研修医数**　1年目　4名(うち協力型研修医　4人)
　　2年目　10名(うち協力型研修医　5人)
●**研修医の主な出身大学**　東京医科歯科大学　など
●**診療科**　内科　血液内科　内分泌・代謝内科　膠原病内科　腎臓内科　呼吸器内科
循環器内科　消化器内科　小児科　外科　心臓血管外科　整形外科　眼科
脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　耳鼻咽喉科
リハビリテーション科　放射線科　歯科口腔外科　麻酔科　精神科　救急科
●**1日平均外来患者数**　912.4名　●**1日平均入院患者数**　305名
●**主な認定施設**　災害拠点病院、救急告示病院

研修プログラムの特色

研修の1年目は基本的には2か月ずつ、消化器内科＋腎臓内科、循環器内科＋膠原病内科＋内分泌・代謝内科、呼吸器内科＋血液内科、外科、麻酔科、救急科をまわります。2年目には必須各科と選択科7か月(その間に救急当直を20回以上)の研修をします。研修スケジュールは研修医の希望に合わせて組替え可能で、研修途中であっても希望が変われば研修予定科の変更も可能です。通年性の研修としては、各科持ち回りのランチョンレクチャーや胸部XP読影、CT/MRI読影などがあります。

プログラム 例　草加市立病院臨床研修プログラム(募集定員6人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急		麻酔		外科	
2年目	地域医療	精神科	小児科	産婦人科	選択　救急当直（20回以上、1回/週）							

＊精神科は東京足立病院で研修を行っています。
＊地域医療は後谷診療所で研修を行っています。(平成28年度よりまるクリニックへ変更予定)

研修医の処遇

給　与▶1年次：32万円／月　2年次：34万円／月（諸手当除く）
諸手当▶住居手当、当直手当、通勤手当
保　険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶8時30分～17時
当　直▶あり（3回程度／月）
休　暇▶夏期休暇：7月～10月（1年次：2日　2年次：4日）
有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

・東京足立病院
・まるクリニック(平成28年度予定)

当院のキーワード

当院の特徴

当院が位置する草加市は東京都足立区に隣接し、若い世代の多く住む人口約24万の街です。

地域で唯一の総合病院機能を持つ中核病院であり、様々な疾患が多く集まります。診療科も24科と充実し、多くが学会研修認定を受けています。関連大学である東京医科歯科大学と連携した医療チームを形成し、これまで大きな成果をあげてきました。特に救急医療に力を入れており、内科系・小児科・外科系・産婦人科・脳神経外科が連日当直しており、救急搬送は毎年約5,000件を受け入れています。

研修責任者から

副院長
土屋 史郎

当院では、研修医を当院で単独採用するほか、東京医科歯科大学の協力型病院として1年目4人、2年目5人を引き受けており、適切な人数での研修ができます。また、常勤医師数は病床数（380床）に比べて多く、卒後7年目以上の医師も50人以上在籍しており、研修医に対し綿密な指導を行えるのも当院の強みです。

手術や各種検査も数多く行われており、年間で内視鏡検査及び治療は約5,000件、一般外科の手術は約800件、手術全体では約4,000件実施されています。研修医のやる気と達成度により、消化管内視鏡、中心静脈穿刺、虫垂炎手術なども指導医の下で行うことができますので、満足がいく研修ができると確信しています。

先輩研修医から

研修医２年目
藤内 美里

私が当院を２年間の研修先として選んだのは、教育体制の手厚さと病院全体の雰囲気の良さに惹かれたからです。

当院は研修医に対する教育体制が非常に整っており、各科でのカンファのほか、全内科合同の内科カンファが週１回あり、科の垣根を超え貴重なアドバイスをいただくことができます。その他週に１回レントゲンカンファや月に１回程度のランチョンセミナーなど、普段の研修以外にも勉強する場が多くあります。手技も優先的に経験させていただけるので、自分のやる気次第で学べることは限りなくあると思います。病院全体の雰囲気も非常に良く、先生方だけでなくスタッフの皆さんがとても協力的で、楽しく充実した日々を送ることができます。

是非一度当院を見学し、この環境のすばらしさを実際に体験してください。

女性医師支援コーナー

草加市立病院では心臓・脳血管センター5階に院内保育室を設置し、医療スタッフの0歳から就学前までの乳幼児を保育しています。

連絡先　草加市立病院

経営管理課　小林賢太朗・吉村泰将

〒340-8560　草加市草加2-21-1

TEL 048－946－2200（代表）　FAX 048－946－2211

E-mail soka-hosp2200@max.odn.ne.jp

URL http://www.soka-city-hospial.jp

アクセス 東武スカイツリーライン草加駅から徒歩18分、バス5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時受入可能（事前予約）

13 医療法人財団健和会 みさと健和病院

病院の概要

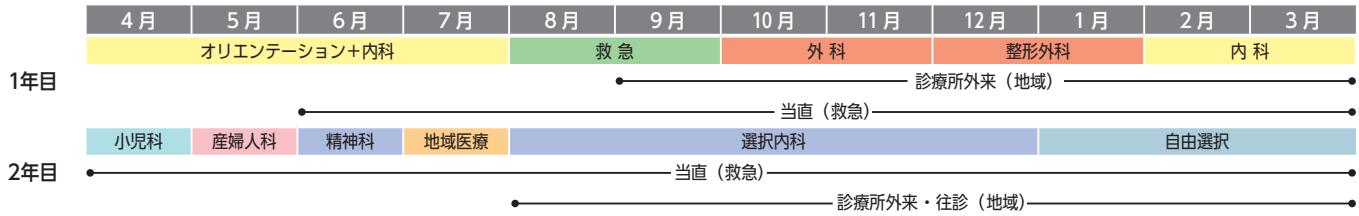
●**病床数**　282床
●**医師数(研修医を除く)**　40名(うち指導医数　18名)
●**研修医数**　1年目　4名　2年目　5名
●**研修医の主な出身大学**　東京慈恵会医科大学・東邦大学・近畿大学・和歌山県立医科大学・帝京大学・秋田大学・鹿児島大学・琉球大学
●**診療科**　内科　消化器内科　呼吸器内科　循環器内科　リウマチ科　小児科　外科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　肛門外科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　精神科　リハビリテーション科　呼吸器外科　麻酔科　消化器外科　救急科
●**1日平均外来患者数**　約700名　●**1日平均入院患者数**　約220名
●**主な認定施設**　救急指定・第二次救急医療病院群輪番制病院、日本内科学会認定教育施設認定病院、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本内分泌学会認定内分泌代謝科認定教育施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設

研修プログラムの特色

みさと健和病院(基幹型病院)は大都市近郊の埼玉県三郷市にあり、第二次救急医療を担う中核的医療機関です。研修理念を「良識のある社会人、思いやりのある医療人としての成長を促す。将来の専門にかかわらず、医師としての基本的な診療能力と学習能力を習得できるように援助する」と掲げ、地域第一線医療機関でのプライマリ・ケア、在宅医療の先駆的実践、総合診療を中心とした内科研修、必修としている整形外科研修、外来研修、往診研修などに力を入れています。

人口約13万人の三郷市は全国的にも平均年齢が若く、近くに大規模な医療機関が少ないこともあって、老人はもちろん青壮年・婦人・小児をめぐる多様な疾患の医療を担っています。特に、第二次救急における研修当直などを通じて、救急疾患・外傷の初期対応の習得もできることが特徴です。

プログラム 例　地域医療総合 地域中核型プログラム（募集定員４人）



その他　地域医療総合 地域密着型プログラム（募集定員８人）

内科11か月(1年次必修：導入期研修4か月+2か月、2年次必修：5か月)、救急3か月(2か月+当直1か月※当直1か月は他科研修期間も含め週に1回程度実施)、外科2か月、整形外科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月、精神科1か月、地域医療1か月、自由選択3か月(前述の各科、麻酔科、皮膚科、泌尿器科、リハビリテーション科、病理科、ICU、PCU、診療所など)

研修医の処遇

給　与▶1年次：32.4万円　2年次：37万円　※研修手当含む　※賞与2回／年
諸手当▶当直手当、家族手当
保　険▶東京医業健保組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、別に法人独自の共済制度
勤務時間▶8時30分～17時30分
当　直▶あり（4～5回／月）
休　暇▶4週6休／月　有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶希望者は病院徒歩2分の寮に入寮可
その他▶上記以外も法人規定による各種手当(学会参加手当など)

主な臨床研修協力病院・協力施設

・松戸市立病院
・東京女子医科大学病院
・みさと協立病院をはじめ、各診療科における協力型病院・加盟グループ・法人内各医療機関など多数

当院のキーワード

当院における初期研修のウリと魅力

当院では総合内科に比較的長く籍を置き、みっちりと基礎を叩き込まれます。 実務を通して学ぶon the job trainingの良いところのみを残しながら、さらに総合内科医として長年経験を積んできた医師によるフィードバックや独自の教育回診によって深く実践的に学びます。(教育回診はすごいですよ。是非一度見学を！私も見学で感銘を受け、当院での研修を決意しました。)

本来ならば全ての医師が持つべきである generality（そしてしっかりと習得できている医師は多くない）を集中的に学ぶことができる環境が当院には備わっています。もちろん簡単な疾患ばかり診ているわけではなく、稀な疾患もあれば高度な医療を要する疾患もあり、時にはより専門な医療が必要なため他科、他院に移ることを余儀なくされる場合もあります。こういう経験を通して疾患頻度を肌で感じることや、その中に潜む稀な疾患をどう診断するか、また専門的な医療を要すると判断し迅速に紹介することの重要性などを単なる知識ではなく“感覚“として習得することができるのです。これは将来内科・外科問わずどの科に進むにしても活きるものだと思いますが、特に総合内科に興味がある方にとっては何にも代え難い財産になると断言できます。

研修責任者から

研修プログラム責任者
岡村 博

私たちは初期研修を大切にしてきました。1994年に臨床研修の指定を受けましたが、それ以前より研修医を受け入れてきました（私もその一人です）。当時大学病院などの大病院で初期研修を行うことが主流である中、256床の病床数は最少であり、外来の研修や往診の研修など、地域に密着した医療そのものの研修が認められたものと思います。2004 年の新しい研修制度に移行した後も、このような地域病院ならではの研修を大切にしつつ、必修科目を網羅していくプログラムを作ってきました。

どのような臨床医がよい医師なのかは、どのような臨床医が地域で必要とされているのかと表裏一体です。今回研修制度が再度変更されましたが、当病院の研修に対するspiritは普遍のものです。

当院の「地域中核型プログラム」に興味が沸いたら見に来てください。そして私たちと一緒に臨床研修をしませんか？

先輩研修医から

後期研修医２年目
井上 裕次郎

みさと健和病院での研修に興味を持ち、ここまで案内を読んでくださっている皆さん、ありがとうございます。皆さんの中には研修病院を決めるに当たり、言葉では表現できない悩みを抱いている人も多いのではないでしょうか？みさと健和病院は大学病院ほど規模が大きいとはいえない、いわゆる中規模病院です。しかし、そんな決して大きいとはいえない研修病院だからこそ感じられることもあります。それは病院スタッフが持っている暖かさと熱意です。

まずは、みさと健和病院に見学に来てください。見学に来たときに先輩医師や病院スタッフを見て・聞いて・考えること、きっとその経験が、皆さんの悩む将来の研修病院をどのように選択していくか？そして自分が将来どのような医師になりたいのか？という問題を解決してくれることでしょう。皆さんと一緒に、みさと健和病院で研修する日々が来ることを楽しみにしています。

女性医師支援コーナー

院内保育あり、当直の有無も応相談（初期研修医は除く）、勤務単位も応相談と、あなたに適した働きやすい環境を一緒に相談していくことが可能となっています。

・院内保育…にこにこ保育園では、0～3歳児までのお子さんをお預かりします。時差にも対応し、安心して働ける保育体制を整えています。

・病児保育…0～9歳までのお子さんをお預かりします（感染症又は感染症疑いは除く）。お子さんの体調が悪い時なども休まず働くことが可能です。

連絡先　医療法人財団健和会　みさと健和病院

医局事務室 医学生担当

〒341-8555　三郷市鷹野4-494-1

TEL 048－955－7171（代表）　FAX 048－948－0007

E-mail gakusei@kenwa.or.jp

URL http://misato.kenwa.or.jp

アクセス JR常磐線松戸駅からバスで約10分、東京メトロ千代田線金町駅からバスで約15分、首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス三郷中央駅からバスで約12分、JR武蔵野線三郷駅からバスで約25分、首都高速道路三郷I.Cから約3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

卒後進路を考えるに当たり、全ては病院見学･実習から始まると思います。当院は平日随時･1日から･希望内容応相談･交通＆宿舎補助ありで見学を受け入れています。まずは左記までお問い合わせください。

14 医療法人社団愛友会 上尾中央医科グループ 三郷中央総合病院

病院の概要

- **病床数**　303床
- **医師数(研修医を除く)**　32名(うち指導医数　11名)
- **研修医数**　1年目　1名　2年目　4名
- **研修医の主な出身大学**　東邦大学・愛知医科大学・東京医科歯科大学
- **診療科**　内科　循環器内科　心臓血管外科　脳神経外科　外科　整形外科　麻酔科　泌尿器科　神経内科　皮膚科　眼科　耳鼻咽喉科　胃腸科　リハビリテーション科　脳神経内科　放射線科
- **1日平均外来患者数**　500名
- **1日平均入院患者数**　245名
- **主な認定施設**　日本内科学会教育関連施設
  日本麻酔科学会認定麻酔科病院
  日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
  3学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
  日本心血管インターベンション治療学会研修施設
  日本泌尿器科学会専門医教育施設

研修プログラムの特色

三郷中央総合病院のほかに研修を行う上尾中央総合病院、柏厚生総合病院、三郷ケアセンターは全て関連施設となっています。また東邦大学医療センター大森病院、大橋病院においても総合的な研修が可能です。

豊富な症例を有し、地域密着型の充実した研修ができます。

プログラム 例　臨床研修プログラム(募集定員4人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科（必修）						選択必修			救急（必修）		
2年目	選択											地域医療

※選択必修(外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科から2科目以上選択)
※選択(内科・脳神経外科・外科・整形外科・循環器科・心臓血管外科・泌尿器科・眼科・放射線科・耳鼻咽喉科・形成外科・皮膚科・そのほか)

研修医の処遇

給　与▶約45万円／月
諸手当▶住宅手当
保　険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険（病院において加入）
勤務時間▶9時～17時30分
当　直▶あり（5回／月）
休　暇▶1.5日／週、有給休暇（10回／年）
宿　舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 東邦大学医療センター　大森病院
- 東邦大学医療センター　大橋病院
- 上尾中央総合病院
- 柏厚生総合病院
- 三郷ケアセンター

当院のキーワード

病院理念：愛し愛され信頼される病院

●「最先端機器導入による高度で専門性の高い医療を目指して」

当院は、救急医療や高度な医療から在宅ケアまで幅広いニーズに対応し、地域に密着した医療サービスを提供している。急性期型の総合病院です。

多くの高度医療機器の整備、専門性の高い医療の充実を図り、地域の中核的役割を確固たるものにしていきます。

研修責任者から

研修管理委員長・副院長(内科)
内田 耕

当院がある三郷市は、埼玉県の南東部に位置し、東京都、千葉県に隣接しています。そのため、都心からのアクセスもよく、秋葉原からつくばエクスプレスを使えば最寄りの三郷中央駅まで約20分です。

病床数は約300床で、急性期から回復期、慢性期までのフォローを目的に、回復期リハビリテーション病棟、障害者病棟を兼ね備えています。研修医は上級医の指導を下に、担当医として診療に当たり、中心静脈カテーテル挿入、気管内挿管、胸腔穿刺、胸腔ドレナージなどの手技も積極的に行っています。

通常型のプログラムは、1年次に内科系(一般内科、循環器)6か月、選択必修3か月(救急)を研修します。2年次は地域医療1か月とその他11か月を選択研修します。外科系を主体とするプログラムもあります。研修開始時に2年間のスケジュールが決まっているのではなく、最初の6か月が終了した時点で、病院のシステムや研修医自身の将来の進路に合わせて、その後の研修内容を決めており、個々の研修医のニーズに合った内容に変更可能です。現在、5名の研修医がおり、平成28年度も1名の学生が研修を希望しております。

先輩研修医から

研修医２年目
安藤 翔

医局の垣根が低く色々な科の先生にコンサルトしやすいのが魅力の一つだと思います。また、医局と病棟も近くに位置しており、すぐに患者様の元にも行け、逆に病棟で疑問を生じたときに、すぐに医局に調べに戻ることもできるので、とても研修医が働きやすい環境です。今は、まだ上級医の方々に助けられながら、なんとか日々の仕事をこなしています。

東邦大学で勉強する機会もあり、総合的な研修になると思います。

まずは、見学に来ていただき、当院の雰囲気を実感していただけたらと思います。

女性医師支援コーナー

・24時間保育の実施
・女性医師専用休憩室
・女性医師専用当直室

新たに保育室の建築(平成28年4月竣工予定)

連絡先 医療法人　三郷中央総合病院

事務長　加藤守史、総務課長　齋藤貴之

〒341-8526　三郷市中央4-5-1

TEL 048－953－1321(代表)　FAX 048－952－7279

E-mail m-soumuka@mchp.jp

URL http://mchp.jp/

アクセス つくばエクスプレス『三郷中央駅』より徒歩8分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。

15 独立行政法人 地域医療推進機構 JCHO 埼玉メディカルセンター

病院の概要

●**病床数**　395床
●**医師数(研修医を除く)**　79名(うち指導医数　30名)
●**研修医数**　1年目　6名　2年目　4名
●**研修医の主な出身大学**　慶應義塾大学・群馬大学・信州大学・帝京大学・金沢医科大学・東京医科大学・富山大学・東京医科歯科大学
●**診療科**　内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科　消化器内科　糖尿病内科　内分泌内科　神経内科　心療内科　外科　呼吸器外科　消化器外科　乳腺外科　整形外科　脳神経外科　形成外科　神経精神科　リウマチ科　小児科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　病理診断科　麻酔科
●**1日平均外来患者数**　1220名　●**1日平均入院患者数**　273名
●**主な認定施設**　卒後臨床研修評価認定施設、人間ドック検診施設機能評価認定施設、日本内科学会認定医教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会学会認定医研修施設

研修プログラムの特色

埼玉メディカルセンターにおける初期研修プログラムは、研修医に必要な基本的医学知識と技術を修得すると同時に、医師として望ましい態度と習慣を身に付けること、能動的に診断、治療を行える能力を培うことを目的としている。1年次の内科では、呼吸器・循環器・膠原病・消化器・神経内科・内分泌・代謝・血液の内科4病棟をローテートし、全ての内科疾患を経験する。各病棟では、それぞれの専門医・指導医に指導を受け、最新の知識を学ぶ。

外科は食道、胃、大腸、肝・胆・膵、全てに専門医、指導医がいる。手術数が多いので、毎日手術に入ることも可能。

麻酔科では、気管挿管などの手術や全身管理を学び、知識と技術をある程度身に付けた上で救急を行う。

小児科では、小児のプライマリ・ケアについて十分な研修を積める。また、地域医療では、診療所で一般外来診療や在宅医療を学べるようになっている。

プログラム 例　埼玉メディカルセンター研修プログラム（募集定員6人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急	※選択				
2年目	救急		地域	※選択								

※外科(一般消化器・乳腺・胸部)・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科より選択

研修医の処遇

給　与▶約35万円／月
諸手当▶通勤手当、当直料
保　険▶JCHO健康保険、厚生年金保険、雇用保険
勤務時間▶月・金：8時30分～16時15分、火・水・木：8時30分～15時15分
当　直▶あり（2～3回／月）
休　暇▶2日／週、有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

・さいたま市立病院
・埼玉協同病院
・国立病院機構東埼玉病院
・埼玉精神神経センター
・岩崎内科クリニック
・大原医院
・登坂医院

当院のキーワード

当院の特徴

埼玉メディカルセンターは、政令指定都市「さいたま市」の中核病院として395床を有する急性期医療中心の病院です。

一方、健診業務を行う健康管理センターと老人保健施設も併設しており、予防から介護まで幅広く行う施設として地域に貢献しております。

1968年に、当時の厚生省が臨床研修病院の指定基準を定めました。そのときから、当院はその基準を満たし臨床研修病院の指定を受け、以来若い医師の教育に携わってきました。また、41の学会などの施設認定を取得しており認定医、専門医を医師たちを支えております。

そして、良い研修病院とはどういう病院だろう？と、常に指導医が自問し、臨床研修医委員会で検討しております。臨床の場では、技術、知識、態度が重要な要素ですが、シミュレーション・キットによる技術の修得、抄読会、CPC、カンファレンスへの参加、また指導医によるマンツーマンの教育などよりよい研修を目指しています。

初代院長の「和の精神」をモットーに、職員一丸となったチーム医療で良質・安心な患者さん中心の医療を目標にしています。

研修責任者から

プログラム責任者
吉田　武史

卒後研修の2年間に皆様は医師としての基本的な診察能力、検査や治療の基礎的な技術、救急への対応などのプライマリ・ケアの能力を身に付けるだけでなく、医師としての人格を涵養しなければなりません。

当院は41の学会の認定施設として、高いレベルの医療を提供してまいります。患者数が多いので様々な症例を経験できるだけではなく、あらゆる診療科で専門医の指導が受けられます。検査や治療の手技も自ら行うことができますから様々な技術を身に付けられます。

また研修期間中に学会で症例報告をしてもらっており、自らの能力を高める方法を取得できると思います。意欲ある皆様をお待ちしております。

先輩研修医から

研修医１年目
高橋由美子

私は、将来は地域医療に貢献したいと考え、Common Diseaseを幅広く診ることのできる当院を選びました。自由選択期間が長いことも特徴であり、できるだけ多くの科でPrimaryを学びたい方にも適しています。他の医療従事者の方々との関係も良好であり、病院全体が研修医を温かく迎え入れてくれる雰囲気です。

研修の話からは逸れますが、当院はＪＲ京浜東北線の北浦和駅から徒歩3分と立地に恵まれ、明るい雰囲気の商店街が近くにあり、一人暮らしの研修医にとっても働きやすく住みやすい環境です。忘れてはならないのが北浦和グルメです。北浦和は実は知る人ぞ知る「洋食の街」であり、いくつもの老舗の洋食店が味を競い合っています。当直の日はお気に入りの店で元気をチャージすることをルーチンにされている先生もいらっしゃいます。尊敬できる先生方との出会いに感謝しながら日々の研修に取り組んでいます。是非一度見学にいらしてください。

女性医師支援コーナー

- 育児休業
- 短時間勤務制度
- 院内保育所の設置
- 当直免除

連絡先　埼玉メディカルセンター
総務企画課
〒330-0074　さいたま市浦和区北浦和4-9-3
TEL 048－832－4951（代表）　FAX 048－825－6455
E-mail main@saitama.jcho.go.jp
URL http://saitama.jcho.go.jp/
アクセス JR京浜東北線　北浦和駅から徒歩3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●随時病院見学を行っております。

16 さいたま市立病院

病院の概要

●**病床数**　567床
●**医師数(研修医を除く)**　112名(うち指導医数　32名)
●**研修医数**　1年目　11名　2年目　9名
●**研修医の主な出身大学**　慶應義塾大学・埼玉医科大学・昭和大学・帝京大学・東邦大学・獨協医科大学・新潟大学・日本医科大学・日本大学
●**診療科**　内科　消化器内科　神経内科　循環器内科　小児科　新生児内科　外科　呼吸器外科　整形外科　脳神経外科　心臓血管外科　小児外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　麻酔科　救急科　精神科
●**1日平均外来患者数**　976.5名　●**1日平均入院患者数**　457.9名
●**主な認定施設**　地域周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院、日本内科学会認定医制度教育病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本小児科学会認定小児科専門医研修施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院

研修プログラムの特色

当院はさいたま市の基幹病院の一つであり、年間約6,000台の救急車の受入れを中心に、急性期医療、がん医療、周産期医療、地域連携(病診連携)に力を入れています。

研修プログラムはプライマリ・ケアの基本的診療能力(態度、技能、知識)を身に付けることを第一目標とし、さらに各自の到達度と希望に合わせて専門的知識、技術を習得するためのプログラムを柔軟に設けています。1年次には、内科(7か月)、外科(1か月)、小児科(1か月)、救急科(2か月)、麻酔科(1か月)をローテートし、2年次は各自の希望に合わせた選択期間を中心に地域医療などをローテートします。

研修医セミナーも毎週開催しており、知識の整理や症例検討を行っています。また、2年間を通して内科系、外科系の日当直を行うことで、より実践的なトレーニングを積むことができます。

プログラム 例　さいたま市立病院初期臨床研修プログラム（募集定員 11 人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科（循環器、呼吸器、消化器、腎内血膠）各 1.5 か月						神経内科	外 科	小児科	救急科		麻酔科
2年目	総合内科	地域医療	精神科(0.5か月)	選択科目（9.5 か月）								

＊上記は平成28年４月開始の研修プログラムのスケジュール例です。
1年次の内科は消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎・内分泌代謝・血液・膠原病内科を１．５か月ずつ、神経内科を1か月ローテートします。
地域医療は１か月の中でさくらそう病棟とさいたま市立病院近隣の開業医での研修を中心とした開業医研修と、石川県にある公立宇出津総合病院あるいは珠洲市総合病院でのへき地医療研修のいずれかを選択します。
精神科は埼玉県立精神医療センターで行います。

研修医の処遇

給　与▶1年次：33万円／月　2年次：35万円／月
諸手当▶宿日直手当
保　険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険
勤務時間▶8時30分～17時15分
当　直▶あり（4回／月）
休　暇▶2日／週、有給休暇（12日／年）
宿　舎▶なし
その他▶職員用駐車場

主な臨床研修協力病院・協力施設

・医療法人明医研ハーモニークリニック
・さいたま市浦和休日急患診療所
・公立宇出津総合病院(石川県)
・珠洲市総合病院(石川県)
・埼玉県立精神医療センター

当院のキーワード

当院の特徴

人口127万人を有するさいたま市の基幹病院である当院では、プライマリ・ケアから各専門領域での高いレベルの医療まで、幅広い医療サービスを提供しており、Common Diseaseから学会発表につながる稀な疾患まで豊富な症例を経験することができます。

内科は消化器、循環器、神経、呼吸器、腎内分泌代謝、血液・膠原病リウマチ、感染の各分野をカバーしており、外科は一般消化器外科、血管外科、小児外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科が高いレベルの手術をしています。地域周産期母子医療センターを設置し、周産期医療、小児医療にも力を入れています。

研修責任者から

臨床研修委員長／
院長補佐兼外科部長
山藤　和夫

当院の特徴は救急医療を重視していること、急性期病院であること、がん診療連携拠点病院であること、そして周産期医療を担っていることです。救急車受入れ台数は年間約6,000台で、その多くは一次及び二次救急の患者さんです。このように、当院はCommon Diseaseの経験や、Primary CareにおけるMinimum Requirementの習得に適した環境です。また、初期臨床研修で最も重要な内科は循環器、呼吸器、消化器、神経内科など各部門が充実しており、若手医師の教育に熱心な指導医が多数います。当院での2年間の研修により十分な臨床経験を積むことで、医師としての基礎的診療能力や基本的姿勢、態度を身に付けることができます。これまでの初期臨床研修の経験から、研修医が病院を活性化し、病院の診療能力をも向上させることを多くの病院職員が認識しており、研修医は病院の大切な一員となっています。医学生の皆さん、さいたま市立病院で初期臨床研修を受けてみませんか。

先輩研修医から

研修医２年目
内田　翔

1年間の研修を通して、本当に様々な経験をして、様々なことを感じ、様々なことを考えてきましたが、やはりこの病院を選んで良かったなと、今は素直に思っています。そこで、初期臨床研修先として、なぜ当院をおすすめできるのかを自分なりに考えてみました。

・さいたまという土地柄から、コメディカルの皆さんや患者さんは皆おだやかで優しく、とても気持ちよく仕事ができます。院内にはせかせかとした空気がなく、雰囲気はすごくやわらかいです。

・地域の基幹病院であるため症例が豊富で、Common Diseaseをしっかり経験できます。救急にも力を入れており、日当直の機会も多く、プライマリ・ケアを学ぶには最適の病院です。

・指導熱心な先生方ばかりで、私たちからの働きかけにはとことん応えてくださいます。自分のやる気次第で優秀な先生方からとことん吸収できます。

・研修医の数が12名と程良く、みんなで切磋琢磨しながら、励まし合いながら、楽しく充実した研修生活を送れます。

…と、挙げていけばキリがないのですが、あまり褒めすぎても信じられないと思いますので、まずは一度見学に来ていただいて、自分の目で肌で確かめてみてください。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

女性医師支援コーナー

・当院では院内保育室を設置し、0歳から6歳までの乳幼児を対象とした24時間保育を実施しておりますので、小さなお子様のいる方であっても、働くことが可能です。

・年次有給休暇のほかに、産休や、小さな子供のいる職員を対象とした保育時間などの特別休暇も整備されております。

連絡先　さいたま市立病院

庶務課　　橋本　祥希

〒336-8522　さいたま市緑区三室2460

TEL 048－873－4217（直通）　FAX 048－873－5451

E-mail hsp-jimukyoku-shomu@city.saitama.lg.jp

URL http://saitama-city-hsp.jp/

アクセス JR線北浦和駅からバス15分、浦和駅からバス20分、東浦和駅からバス15分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●春休み、夏休みに病院説明会を企画しているほか、年間を通して個別病院見学を受け付けております。申込方法の詳細は当院ホームページ上に掲載しております。ホームページでは見学に際しての各診療科からのメッセージや研修医の声も掲載しておりますので、そちらも是非御覧ください。

17 さいたま赤十字病院

病院の概要

●**病床数**　605床
●**医師数(研修医を除く)**　148名(うち指導医数　27名)
●**研修医数**　1年目　10名　2年目　10名
●**研修医の主な出身大学**　秋田大学・山形大学・東京大学・群馬大学・千葉大学・島根大学・福島県立医科大学・横浜市立大学・岩手医科大学・埼玉医科大学・産業医科大学・自治医科大学・順天堂大学・聖マリアンナ医科大学・帝京大学・日本大学・デブレツェン大学
●**診療科**　内科　消化器内科　呼吸器内科　血液内科　糖尿病内分泌内科　リウマチ内科　腎臓内科　神経内科　精神科　循環器科　小児科　外科　乳腺外科　整形外科　脳神経外科　呼吸器外科　心臓血管外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線診断科　放射線治療科　麻酔科　形成外科　緩和ケア内科　歯科口腔外科　病理診断科
●**1日平均外来患者数**　1300.5名　●**1日平均入院患者数**　566.1名
●**主な認定施設**　救命救急センター、災害拠点病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、埼玉DMAT指定病院、日本医療機能評価機構認定　など

研修プログラムの特色

平成22年度から研修医制度の一部見直しが図られ、必須科目が一部削減されましたが、臨床研修の基本理念を重視し、厚生労働省の到達目標を達成するために、従来の必須科目をすべて含むプログラムです。
・救命救急センターを併設しており、救急医療に関してより実践的な研修を行うことができます。
・選択研修期間については8か月あり、可能な範囲で研修医の希望に沿って選択科目、期間を決めることが可能です。

プログラム 例　さいたま赤十字病院臨床研修プログラム（募集定員 10 人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						外科			救急		
2年目	小児科	産婦人科	地域医療	精神・保健	自由選択							

＊　内科6か月、外科3か月、救急3か月、産婦人科1か月、小児科1か月、地域医療1か月、精神・保健1か月必修
＊　自由選択8か月(消化器内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、リウマチ内科、腎臓内科、総合臨床内科、精神科、神経内科、循環器科、小児科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、緩和ケア診療科、救急部、検査部、病理部)

研修医の処遇

給　与▶1年次：25万円／月　2年次：30万円／月、賞与（1年次：5万円　2年次：20万円）
諸手当▶住宅手当、当直手当（日直1.5万円／回、当直1.8万円／回）
保　険▶健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険
勤務時間▶8時30分～17時00分
当　直▶あり（4回／月）
休　暇▶土・日曜日、祝祭日、年末年始（6日間）、創立記念日（5/15）、産前・産後休暇、育児休暇、その他特別休暇、有給休暇（労働基準法による）
宿　舎▶なし

主な臨床研修協力病院・協力施設

・埼玉県立小児医療センター
・埼玉精神神経センター
・特別養護老人ホーム　ナーシングヴィラ与野
・高齢者総合福祉施設　敬寿園
・埼玉県赤十字血液センター
・原町赤十字病院
・駒橋内科医院
・林田医院
・すこやか内科クリニック
・あきもと内科クリニック　など

当院のキーワード

当院の特徴

①病院の新築移転

上野東京ライン・京浜東北線さいたま新都心駅から徒歩5分圏内の好立地に建設中で、埼玉県立小児医療センターとの併設となり、総合周産期母子医療センターとして産科領域の充実や高度救命救急センター指定やドクターカー等の超急性期医療の充実がなされます。また、災害時には防災機能基地を持つさいたまスーパーアリーナが近接していることにより、防災拠点として迅速な救命救急活動が行われます。

②豊富な院内勉強会

モーニングカンファレンス(毎週金曜日朝に各科の先生に講師を依頼します)、感染症勉強会(月一回外部講師を招いての講義＋症例検討)、ERカンファレンス(救急外来症例検討会)、CHESTカンファレンス(胸部画像読影)etc…学ぶ機会がたくさんあります！

③研修医同士の仲がよい

研修医は全国様々な大学から集まっており、仕事終わりに飲みに行ったり院内旅行に行ったりと仲がよいです。また、研修医室は2学年20人一部屋で気軽に話せる環境があり、隣には後期研修医室もあるため当院上がりの先輩医師に悩んだときにすぐ相談することもできます！

研修責任者から

プログラム責任者
髙屋 俊樹

さいたま赤十字病院は、地域の基幹病院として急性期医療を担っています。3次救命救急センターを併設し、一方で地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院にも認定されており、非常に多く且つ多様な症例が集まることが特徴です。

臨床と教育が直接結びついており、多くの患者に直接関わることにより研修を積んでもらうことを目指しています。

プログラムは平成２２年度以前からの必須科目を全て必修とする一方で、8か月の選択期間は自由度が高くなっています。そこで自主性と高い目的意識をもった研修医を求めています。また、研修医のチームワークが良いことも特徴かと思います。

先輩研修医から

研修医２年目
加藤 駿一

さいたま赤十字病院は埼玉県南部の三次救急を担う600床クラスの中核市中病院です。当院での研修の一番の特徴は少数精鋭の研修にあると思います。この規模の病院としては1学年10人の研修医数は比較的少なく、同じ科に研修医が集中し、症例や手技が偏るようなことはほとんどありません。また、ほとんどの科に様々な大学から後期研修医が多く来ており、年の近い先生と相談しやすい環境下での研修は勉強にもなり、小さなことでも相談しやすく、自分の将来の医師像もイメージしやすいのではないかと思います。

選択期間も8か月と長く、研修医同士で相談してカリキュラムを自由に組むことができたり、自分が興味を持ち積極的に研修に臨めば、指導医の判断・監督の下で全身麻酔下の手術の執刀医や心血管造影検査の術者などを経験させてもらえたりすることは自主性に重きを置く当院の研修の特徴だと思います。

幅広いCommon Diseaseから重症外傷まで経験を積め、足と手を動かせることを学べる研修は長い医師人生の最初の2年間には最適だと思います。興味を持たれた方は是非一度見学に来てみてください！

女性医師支援コーナー

妊娠・出産・育児のための支援制度等

- 短時間勤務制度
- 院内保育の設置 （午前8時00分～午後6時30分）（0歳～3歳まで）
- 当直免除
- 子の看護休暇 （年間５日間）
- 出産祝金、育児休業復帰一時金
- 産前産後休暇、育児休暇
- 時間外勤務、深夜勤務の制限及び深夜勤務の免除

連絡先 さいたま赤十字病院

人事課 眞下・森

〒338-8553 さいたま市中央区上落合8-3-33

TEL 048－852－1196(直通) FAX 048－852－3120

E-mail jinji@saitama-med.jrc.or.jp

URL http://www.saitama-med.jrc.or.jp

アクセス JR線大宮駅から徒歩10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学の申込方法

- 見学随時受付。
- 見学希望の方は、人事課までE-mailにてお申し込みください。

18 医療法人社団協友会 上尾中央医科グループ 彩の国東大宮メディカルセンター

病院の概要

●**病床数**　337床
●**医師数(研修医を除く)**　57名(うち指導医数　43名)
●**研修医数**　1年目　6名　2年目　3名
●**研修医の主な出身大学**　東海大学・徳島大学・秋田大学・山梨大学・杏林大学・福井大学
●**診療科**　救急科　内科　総合診療科　循環器内科　消化器内科　呼吸器内科　神経内科　血液内科　糖尿病・代謝内科　腎臓内科　緩和ケア内科　リウマチ・膠原病科　外科　消化器外科　呼吸器外科　乳腺外科　整形・形成外科　脳神経外科　肛門外科　耳鼻咽喉科　眼科　泌尿器科　皮膚科　麻酔科　放射線科　放射線治療科　リハビリテーション科　病理診断科　健康管理科　歯科口腔外科
●**1日平均外来患者数**　658.3名　●**1日平均入院患者数**　306.4名
●**主な認定施設**　日本外科学会専門医制度修練施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本病院総合診療医学会認定施設、日本内科学会認定教育関連病院、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本消化器病学会認定施設 など

研修プログラムの特色

当院では、初期研修の２年間は、将来の専攻分野にかかわらず「プライマリ・ケアにおける基本的な診療能力を習得する期間」としています。

厚生労働省が定める「経験すべき症状・病態・疾患」をこの２年間で達成できることを第一の目的としています。

専門医になったときの実力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われています。是非この2年間は、しっかりと「Generalist Mind」を育んでいただきたいと考えております。

プログラム 例　彩の国東大宮メディカルセンター初期臨床研修プログラム（募集定員７人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	必修		必修		必修		選択必修			必 修		当院必修
	内科		消化器科		循環器科		外 科			救 急		放射線科
2年目	必修	必修	選択必修	必修	選択必修		当院必修	当院必修	自由選択期間			
	地域医療	内科（外来）	精神科	救 急	麻酔科		整形外科	泌尿器科	自由選択（４か月）			

※平成29年度より一部変更予定(外科3か月→2か月へ、自由選択4か月→5か月へ)

研修医の処遇

給　与▶1年次：45万円／月　2年次：50万円／月
諸手当▶当直手当
保　険▶社会保険、厚生年金保険、埼玉県医師会厚生年金基金、労災保険、雇用保険
勤務時間▶月～金：9時～17時30分　土　9時～13時（隔週）
当　直▶土日、日当直あり（4回～／月）
休　暇▶日曜、祭日、年末年始（12/30午後～1/3）
有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶住宅貸与、家賃補助（5万円まで／月）
その他▶学会・研修会等参加の費用負担（8万円／年）、公休扱い（3回／年）

主な臨床研修協力病院・協力施設

地域医療の協力型病院
・小池内科クリニック(土呂)
・平戸市民病院(長崎)
・杉並リハビリテーション病院
小児科・産婦人科の協力型病院
・上尾中央総合病院
・柏厚生総合病院
・自治医科大学附属さいたま医療センター
精神科の協力型病院
・大宮厚生病院
・横浜相原病院

当院のキーワード

彩の国東大宮メディカルセンターの特徴

●救急部

初療室：４床、診察台：３床、ストレッチャー：６床、救急専用診察室：２部屋を整え、今まで以上に急性期対応型に進化した病院になっております。月間500件の救急搬送件数を目指し、１次、２次救急を中心に産科、小児科以外の患者は全ての受入れを目指します。救急部の研修では、様々な疾患の初期対応が経験でき、研修医の皆さんの臨床力育成にも適しています。

●ICU

病床数：8床、手術室と救急室に直結、最新モード人工呼吸器(HAMILTON)、ハイスペックベッドなど、重症患者に対する高度な医療を提供する設備を整えています。

●埼玉県がん診療指定病院としての機能

放射線治療(リニアック)・ＰＥＴ－ＣＴの導入、外来化学療法室、がんサロンの充実を図るとともに、がん治療センターを開設しました。さらに、さいたま市初の緩和ケア病棟として22床を新規開設し、がんに特化した婦人科を新たに立ち上げるなど、埼玉県がん診療指定病院として必要なハード面の充実を図っています。

●指導医数

臨床経験７年目以上で、指導医の資格がある上級医は「臨床研修指導医養成講習会」を受講しています。当院の常勤医師の多くが指導医であり、教育熱心な指導医からマンツーマン指導が可能な環境になっています。

●医局・研修医室・シミュレーションセンター

医局のデスクのほかに、研修医同士、上級医とのコミュニケーションの場として研修医室を用意しています。さらに、研修医の教育環境の強化として、シミュレーションセンターを整備しています。　研修医は全国様々な大学から集まっており、仕事終わりに飲みに行ったり院内旅行に行ったりと仲がよいです。また、研修医室は2学年20人一部屋で気軽に話せる環境があり、隣には後期研修医室もあるため当院上がりの先輩医師に悩んだときにすぐ相談することもできます！

研修責任者から

臨床研修センター長
風間　博正

臨床研修センターの役割は、研修内容の充実と研修環境の改善を図ることなので、研修医の皆さんが臨床研修の目標を達成できるように、後方から支援しています。

そのため研修医の皆さんが、前向きに研修に励んでいるかなど、一人ひとりのメンタル面にも配慮しています。

また社会人としての常識やチーム医療に必要なコミュニケーション力など、医療面以外で大切なことを教育するのも、大切な役割の一つです。今後の目標は、業務終了後などの研修医勉強会を、さらに充実させたいと考えています。

現場だけでなく、OFF-JTで学ぶ機会も充実させ、研修医同士、切磋琢磨して、頑張ってほしいと思っています。

日々の研修では、大変なことや辛いこともたくさんあると思います。

そんなときに、仲間と、お互い励まし合い、支え合い、高め合いながら、医師としての礎を作っていただけたらと願っています。

一緒に充実した研修生活が送れるように頑張りましょう。

先輩研修医から

研修医１年目
村井　駿

研修医の間に何を学ぶことが必要であるか。私は、Common Diseaseを診られるようになること、採血や挿管などの手技を学べることが大切だと思います。

その上で、私がこの病院を選んだ理由はいくつかありますが、一番は自分からやる気を出していけば何でも挑戦させてもらえる点が一番大きいです。

中規模の病院の特徴として、どの先生ともすぐに顔見知りになることができ、自分が勉強している科でなくとも、わからないことをすぐに聞くことができます。自分で医学書を開いて調べ、勉強することも重要ですが、先生方の経験を踏まえた知識は、医学書にはないことを勉強できるのでとても素晴らしい環境だと思います。

この病院は中規模病院ということもあり、スタッフ間の連携がしっかりしており、仲もとても良いです。医師、看護師だけでなく、コメディカルなど、全てのスタッフと関わることができることで、医療の幅を広げることができると思います。

皆さんと一緒に充実した研修生活を頑張っていけたらと思います。

女性医師支援コーナー

- 育児休業制度
- 短時間勤務制度
- 深夜業務の制限
- 時間外労働時間の制限
- 子の看護休暇制度
- 病院のすぐ横に、24時間保育室を運営

連絡先　彩の国東大宮メディカルセンター

臨床研修センター　野口　寛美

〒331-8577　さいたま市北区土呂町1522

TEL 048－665－6111(代表)　FAX 048－661－6112

E-mail kenshui@shmc.jp

URL http://www.shmc.jp/

アクセス JR宇都宮線　土呂駅から徒歩11分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学について

●病院見学の申込みは、随時受け付けております。病院ＨＰの応募フォームからお申し込みください。

●東京ビッグサイトで開催される春・夏のレジナビにも参加いたしますので、是非ブースにお立ち寄りください。

19 医療法人社団愛友会 上尾中央医科グループ 上尾中央総合病院

病院の概要

●**病床数**　724床
●**医師数(研修医を除く)**　160名(うち指導医数　75名)
●**研修医数**　1年目　15名　2年目　15名
●**研修医の主な出身大学**　旭川医科大学・札幌医科大学・群馬大学・獨協医科大学・埼玉医科大学・帝京大学・順天堂大学・東京医科歯科大学・東京医科大学・日本医科大学・杏林大学・日本大学・昭和大学・聖マリアンナ医科大学・北里大学・東海大学・山梨大学・東京慈恵会医科大学・東邦大学・新潟大学・信州大学・金沢大学・浜松医科大学・名古屋市立大学・徳島大学・宮崎大学・熊本大学・鹿児島大学・産業医科大学・弘前大学・東北大学・山形大学・福島県立医科大学・滋賀医科大学・島根大学・近畿大学・漢陽大学・Shahid Beheshti University
●**診療科**　内科　循環器内科　消化器内科　神経内科　糖尿病内科　腎臓内科　血液内科　呼吸器内科　感染症内科　腫瘍内科　緩和ケア内科　心療内科　小児科　産婦人科　外科　整形外科　脳神経外科　心臓血管外科　消化器外科　乳腺外科　呼吸器外科　気管食道外科　肛門外科　内視鏡外科　小児外科　泌尿器科　耳鼻いんこう科　頭頸部外科　眼科　形成外科　美容外科　皮膚科　麻酔科　救急科　放射線診断科　放射線治療科　病理診断科　臨床検査科　リハビリテーション科　歯科口腔外科
●**1日平均外来患者数**　1415.4名　●**1日平均入院患者数**　561.5名
●**主な認定施設**　埼玉県がん診療指定病院、日本内科学会認定医教育病院、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本外科学会専門医制度修練施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、三学会構成心臓血管外科専門医施設認定　など

研修プログラムの特色

16か月の必修期間と自分の将来への展望を踏まえ、8か月の選択期間を研修医の意向を尊重しながら、指導医と相談の上組むことができます。市中病院にあって豊富な診療科を有する当院の特徴を活かしてもらいたいと思います。救急総合診療科研修・救急科研修＆当直研修・地域医療研修を3本の柱とし、外科・麻酔科・産婦人科・小児科を必修科目としています。地域医療研修を北海道、鹿児島県、沖縄県、岡山県、香川県などのへき地・離島や宮城県の被災地で行い、当該地域での医療ニーズを把握、訪問診療などの地域に密着した医療、医療資源の少ない地域での医療の特徴を学ぶとともに、異なる環境での研修を通じて医師としての自信を深めるチャンスとなります。また、研修期間を通じ、患者及び医療従事者の双方に安全な医療を遂行できる能力、すなわち医療事故の未然防止及び事後の対応方法を理解し、さらに病院感染防止対策について理解し、マニュアルに従って行動できる能力を身に付けていきます。

プログラム 例　上尾中央総合病院臨床研修プログラム（募集定員 17 人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科系7科（内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・腎臓内科・腫瘍内科・総合診療科）から2科以上選択　※総合診療科は3か月必修						救急科			麻酔科		外 科
2年目	外 科	小児科	産婦人科	地域医療	選択期間							

必修：内科系6か月、救急科3か月、麻酔科2か月、外科2か月、小児科1か月、産婦人科1か月、地域医療1か月
選択：8か月(内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、腎臓内科、腫瘍内科、総合診療科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、耳鼻いんこう科、麻酔科、放射線診断科、臨床検査科、救急科、精神科、地域医療)
※地域医療研修は必修1か月、選択1か月まで(合計2か月選択可能)
※精神科研修は埼玉県立精神医療センターで実施する。

研修医の処遇

給　与▶1年次：40万円／月　2年次：43万円／月
諸手当▶休日手当
勤務時間▶9時～17時30分
当　直▶あり（6回／月）
休　暇▶年末年始休暇、慶弔休暇、出産立会い休暇
有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
保　険▶埼玉県医師会健康保険組合、厚生年金保険、労災保険
宿　舎▶あり　単身用32戸（当院規定により住宅手当の補助）
その他▶処遇：常勤、健康診断：2回／年、医師賠償責任保険：病院において加入・個人加入は任意、学会・研究会等への参加：可、参加費用支給

主な臨床研修協力病院・協力施設

・埼玉県立精神医療センター
・医療法人徳洲会　帯広徳洲会病院
・医療法人徳洲会　徳之島徳洲会病院
・特定医療法人沖縄徳洲会　宮古島徳洲会病院
・特定医療法人沖縄徳洲会　石垣島徳洲会病院
・気仙沼市立本吉病院
・社会医療法人緑壮会　金田病院
・土庄町国民健康保険病院　土庄中央病院
・医療法人哲西会　哲西町診療所
・矢掛町国民健康保険病院　など

当院のキーワード

『自立』『責任』『信頼』

当院の初期臨床研修のキーワードです。医師としての基盤となる３つの資質を身に付け、伸ばすことを約束するプログラムです。

『自立』　救急外来では年間約10,000台の救急車を研修医たちがファーストタッチで捌きます。
指導医は裏方の役目に徹し、研修医がまさしく自分自身の力で診療する能力を養います。

『責任』　総合診療科研修ではほぼ主治医に匹敵する仕事を任されます。
治療方針の決定やICも研修医の仕事です。甘えは許されません。

『信頼』　地域医療研修では自ら外来枠をもちます。患者さん一人一人と密接な関係性を構築することが求められます。

◎「ほどほど」「そこそこ」という研修を求めていません。「徹底的に」学んでください。サポートもしっかり行います。
臨床研修管理委員会とは別に臨床研修指導者委員会を設置し、5～10年目の若手医師、看護師、コメディカルが研修医一人一人に目を向けて研修の様子をいつも見守っています。

研修責任者から

プログラム責任者
黒沢　祥浩

3年後、専攻医研修を受けている自分を想像してください。多くの研修医は大学病院に所属し、アルバイト生活を始めます。アルバイト先では当直業務を自分一人で行うことになります。「指導医」はいません・・・当院の研修卒業生たちは、救急業務のどんな場面にあっても適切に診療していく能力を身に付けています。「自信をもってやってます」「上尾での救急に比べたら患者数も重症度も大したことないです」と卒業生たちは口を揃えてこのように話しています。

当院に見学に来られる学生さんたちは「研修医の先生、かっこいいですね」と言ってくれます。そう評価されるための環境を準備して皆さんを待っています。

先輩研修医から

研修医２年目
青木　沙世

早速ですが、私の救急科研修生活の一日を紹介します！ 朝6時過ぎに起床しご飯を食べ化粧をし、ちょっと油断してテレビを見ているといつの間にか時間が過ぎていてダッシュで病院へ向かいます。救急室に着いたら夜勤帯からの患者さんの引継ぎを行い、救急科研修の一日が始まります。忙しい日は朝から救急隊からの電話(ホットライン)が鳴り続けます(*_*)ホットラインが鳴ると一瞬体がビクッとなり気が遠くなりますが、すぐに気を取り直して救急隊からの情報を聞き漏らすまいと必死に情報収集を行います。救急車が到着すると病歴聴取から身体診察、アセスメントまで行います。軽症の場合は帰宅、重症の場合は専門医にコンサルトと上級医と相談をしながら方針を決めていきます。上級医は厳しい先生が多いですが、怒られそうなときはスマイルでごまかせる！と思いきや、患者さん相手の医者の仕事。もちろんそこまで甘くはありません。しっかりと仕事ができるように日々指導していただいています。ホットラインが鳴らない間は、研修医でお互いにエコーを当てあったり、専門書を読んだり、縫合の練習をしたりと個々の好きな勉強をすることができます。

女性医師支援コーナー

当院では、女性医師の働きやすい環境を整えるため、以下の規定があり、一人一人の研修医にそれぞれの働きやすい環境を提供できるようにサポートします。

-妊産婦への配慮-

【妊娠中】

母体保護の観点から、妊婦中の研修医は原則として当直研修を行わない。ただし、本人より当直以外の時間外勤務勤務の希望があれば臨床研修センター長及び救急総合診療科責任者との面談・調整の上、土曜日の午後や日祝日の日中等に研修を行っても良いこととする。

【育児中】

育児中の当直は研修医及び児の状況を勘案し、臨床研修センター長および救急総合診療科責任者との面談・調整の上、当直研修実施の有無および回数を決定することとする。

連絡先　上尾中央総合病院

人事課　臨床研修事務係

〒362-8588　上尾市柏座1-10-10

TEL 048－773－1111(代表)　FAX 048－773－7122

E-mail ishi_jinji@ach.or.jp

URL http://www.ach.or.jp

アクセス JR高崎線　上尾駅西口より徒歩3分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

【見学】

ホームページ上の初期臨床研修、見学申込みはフォームよりお申し込みください。

【平成28年度の研修プログラム説明】

平成28年3月26日(土)14時～17時(予定)

※医学生も御参加いただけますのでお気軽にお問い合わせください。

20 小川赤十字病院

病院の概要

- **病床数**　302床
- **医師数(研修医を除く)**　30名(うち指導医数　12名)
- **研修医数**　1年目　0名　2年目　0名
- **研修医の主な出身大学**　宮崎大学・日本医科大学
- **診療科**　内科　循環器科　呼吸器科　リウマチ科　精神科　神経科
  外科　乳腺・内分泌外科　消化器科　整形外科　脳神経外科
  皮膚科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　麻酔科
  リハビリテーション科
- **1日平均外来患者数**　599.4名　　**1日平均入院患者数**　249.1名
- **主な認定施設**　埼玉県がん診療指定病院

研修プログラムの特色

地域の中核的な役割を担う公的病院であり、初診から最終転帰に至るまで当院で一貫して診察を行うケースも多く、全人的な医療、プライマリ・ケアを研修することに適している環境にあります。赤十字病院として災害救護訓練を行っています。

１年目は内科、外科、救急医療の研修にて基礎力を磨き、２年目は研修医の希望により柔軟な対応が可能となっております。

小川赤十字病院での臨床研修の目標は、赤十字の使命である「人道」に基づき展開される全人的医療を行う中で、医療機関・医師の社会的役割について十分な認識を深め、将来にわたり必要となってくる基本的診療能力(知識・技能・基本的態度)及び医師としての人格の涵養です。

希望があれば、一時的に複数の診療科を同時に研修できるプログラムも用意いたします。

プログラム　例　小川赤十字病院医師臨床研修プログラム（募集定員２人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						外科			救急医療		
2年目	選択必修・選択					地域医療	選択必修・選択					

選択必修科目は外科、麻酔科、小児科(埼玉医大)、産婦人科(埼玉医大)、精神科から選択する。
選択科目は呼吸器、循環器、消化器、内分泌・代謝、血液、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、地域医療(日本赤十字社埼玉県支部特別養護老人ホーム小川ひなた荘、小川町保健センター)から選択する。

研修医の処遇

- **給　与**▶１年次：約40万円／月　２年次：約45万円／月
- **諸手当**▶当直手当、通勤手当、勤勉手当
- **保　険**▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
- **勤務時間**▶月～金：8時30分～16時45分、土：8時30分～12時30分
- **当　直**▶あり
- **休　暇**▶日曜日、第２・４土曜日、祝日、創立記念日
  有給休暇（１年次：15日　２年次：21日）
- **宿　舎**▶なし（家賃補助）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 埼玉医科大学病院
- 小川町保健センター
- 特別養護老人ホーム小川ひなた荘
- さつき内科クリニック

当院のキーワード

当院の特徴

小川赤十字病院は埼玉県西部に位置し、病棟からは外秩父が一望できる緑豊かな環境に立地しております。また、当地では古くから和紙の生産が盛んで平成26年には世界遺産に登録されました。

昭和14年に開設されて以来、75年を超える歴史を通じて、地域に密着した医療を続けてきました。急性期医療及び二次救急を中心としておりますが、周辺医療機関との連携や訪問看護にも取り組んでおります。

赤十字病院の一員として、救護班(医療チーム)を被災地へ派遣するなど、災害に備えた体制を整え、定期的な災害救護訓練も実施しております。

平成28年６月に新病棟が完成します。手術室、病室も一新され、若い力を存分に発揮できます。

研修責任者から

プログラム責任者
秋山　雄次

地域の中核病院で積極的、意欲的に臨床研修をしたいと考えている方を歓迎します。全人的な医療、プライマリ・ケアの研修により幅広い臨床能力を身に付けることができるはずです。

小川赤十字病院の研修プログラムは、選択枠が広く、研修医の方の希望に沿うことができます。また救急医療・産婦人科・耳鼻咽喉科は埼玉医科大学病院での研修になります。

平成２８年６月には病棟の建替えが完了し、設備・機能・アメニティの向上を図ります。救急疾患のトレーニングにもよい環境にあります。各専門分野の指導医、専門医が揃っておりますので、是非一度見学においでください。

先輩研修医から

協力型研修医２年目
(深谷日赤研修医)
浅見　浩史

私自身は深谷赤十字病院で研修を行っておりますが、精神科病棟を持たないため小川赤十字病院にて1か月間精神科の研修のためお邪魔させていただきました。

当院精神科は病床が50床あり、症例数も豊富で統合失調症、双極性障害、認知症など様々な症例を経験できます。

当該科の研修指導医は2名であり、予診の取り方や治療方針の決定など熱心に、且つ分かりやすく指導してくださいます。

病棟のスタッフの方々も赤十字病院の職員ということもあり、意識が高く、それでいて気さくな方が多いのでとても相談しやすい環境にあると思いました。

他の診療科でも優秀な指導医の方が大勢いらっしゃり、医局にいると話しかけてくださったりと何かと気に掛けていただき面倒見のよい先生が多い印象です。

2016年度には新棟が完成するということもあり、生まれ変わった小川赤十字病院を見ることができると思います。

是非一度見学にいらしてください。

女性医師支援コーナー

当院は埼玉県から『多様な働き方実践企業』の認定を受けており、女性医師だけでなく働く女性を支援しています。

- 産休
- 出産祝金（嘱託職員の場合は２年目以降）
- 育休
- 育児短時間勤務
- 育児休業復帰一時金（復帰６か月後）
- 時差出勤、時間
- 子の看護休暇

連絡先　小川赤十字病院

総務課　竹崎公貴

〒355-0397　比企郡小川町小川1525

TEL 0493－72－2333(代表)　FAX 0493－72－2755

E-mail info@ogawa.jrc.or.jp

URL http://www.ogawa.jrc.or.jp

アクセス 東武東上線・JR八高線　小川町駅　徒歩15分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学の申込方法

日程調整させていただきますので、総務課宛て連絡をお願いします。

21 社会医療法人社団 新都市医療研究会〔関越〕会 関越病院

病院の概要

●**病床数**　229床
●**医師数(研修医を除く)**　19名(うち指導医数　11名)
●**研修医数**　1年目　3名　2年目　3名
●**研修医の主な出身大学**　北里大学・鹿児島大学・徳島大学・東京医科大学・信州大学・佐賀大学・日本医科大学・埼玉医科大学・昭和大学・大阪医科大学・筑波大学・琉球大学・鳥取大学・帝京大学
●**診療科**　内科　外科　整形外科　循環器科　リウマチ科　消化器科　神経内科　呼吸器科　泌尿器科　形成外科　皮膚科　脳神経外科　アレルギー科　リハビリテーション科　放射線科
●**1日平均外来患者数**　548.2名　●**1日平均入院患者数**　173.1名
●**主な認定施設**　日本内科学会認定教育関連施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本泌尿器科学会関連教育施設、日本透析医学会教育関連施設

研修プログラムの特色

昭和49年に開院以来、地域密着医療を行ってきた急性期病院です。診療する疾患は多岐にわたります。関越病院の理念と方針の下、1次・2次救急医療を昼夜問わずに行っています。また慢性期疾患の外来診療及び訪問診療も充実していて、地域に幅広く貢献しています。

このような特徴を持つ当院の臨床研修プログラムは、地域医療を担う病院で遭遇するあらゆる疾患のプライマリ・ケアに必要な基本的な知識、技術の習得と、社会人であり、また医師であることの心構えと態度を身に付けることを目的とします。研修の根幹は「多彩で豊富な症例」で研修すること。指導方法は「指導医とのマンツーマン教育」であり、実際の診療を繰り返し経験し、知識・技術を習得します。診療は「チーム医療」であり、様々な職種のベテラン職員との触れ合いは人間性を磨く絶好の機会です。

プログラム 例　関越病院　医師臨床研修プログラム（募集定員４人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内 科						救急部門	小児科	産婦人科	精神科	外科系	
2年目	外科系	地域医療	選択科									

※救急部門は原則1年次に3か月以上が必修となっております。当院では1か月間集中的に研修を行い、残りの2か月分は月4回の夜間救急外来研修を行うことで必修期間の補完となります。
※外科系は外科、整形外科、泌尿器科を各1か月研修します。
※地域医療研修は1.5か月、選択科は9.5か月となります。

研修医の処遇

給　与▶1年次：40万円（税込）　2年次：45万円（税込）、賞与
諸手当▶当直・日直手当、食事手当　など
保　険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶8時20分～17時30分（実働8時間）
当　直▶あり（4回程度／月）
休　暇▶日曜日、祝日、研究日（週1日）、夏季休暇、年末年始休暇
有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶あり（病院より半径2km以内）

主な臨床研修協力病院・協力施設

・埼玉医科大学病院
（小児科・産婦人科・神経精神科）
・関越クリニック(地域医療)
・南町クリニック(地域医療)
・坂戸保健所(地域保健)

当院のキーワード

現在病院建替工事を行っています。

（平成30年9月完成予定）

当院では建物の老朽化に伴い、平成27年7月より全面的な建替工事を行っております。

この工事では、当院が目指している救急医療を含む医療の質の向上や施設の安全性の向上など、患者様により安全で質の高い医療を提供できる環境を整えること、また医師をはじめとする職員が勤務しやすい環境を整えることを目的としています。

建替工事の完成まで約3年間を要しますが、地域住民の皆様や職員一同が完成するその日を心待ちにしております。

研修責任者から

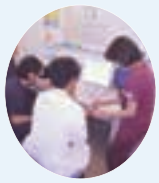
プログラム責任者
内田　昌嗣

皆さんそれぞれ得意・不得意、理解できる・できないがあると思います。当院の指導は横並びではなく、研修医それぞれに指導医が工夫を凝らしています。分からないままでは終わらせません。

また、病院内の人間関係も気になるところだと思います。アットホームな雰囲気、医師や看護師も含めた病院職員の人間関係の良さは、言葉にしてもなかなか伝わるものではございません。さらに、研修医の普段の様子なども気になる点かと思います。

当院の病院見学ではこれら全てを見て、聞いて、感じてもらって、最後には納得してもらえるようスケジュールを組んでおります。「百聞は一見に如かず」　是非一度御来院ください。お待ちしております。

先輩研修医から



研修医１年目
中西　哲史

関越病院を選んだ理由として、見学時に見た医局の雰囲気がよく、研修医がのびのびと働いていける環境だと感じたからです。実際にスタッフの方々から暖かく支えていただき、余計なストレスなく研修に励んでいます。研修開始間もない頃は、分からないことや失敗してしまうことが多くあります。そんなときでも先輩方、スタッフの方々に手厚くサポートしていただけます。

当院は、研修病院の中では病床数が少ない方ですが、二次救急病院として地域住民の支えとなり、多種多様な患者さんが訪れ、研修医として修めるべき臨床経験を積むのには十分な環境であり、手技も指導医や先輩医師、コメディカルの方々から丁寧に教えていただけます。

また、お休みは週２日きっちりとれますので、家でゆっくりしたり、都内で友人と遊んだりと、公私ともに充実した日々を過ごしています。

是非皆さんも当院の雰囲気を一度感じていただければと思います。

女性医師支援コーナー

当院では、女性・男性分け隔てなく、仕事と家庭を両立する職員の支援を積極的に進めております。

主な支援策として、①「24時間365日保育可能な保育園を敷地内に完備」日中の勤務だけでなく、夜勤や当直の時にも御利用いただいております。②「産前産後休暇や育児休暇、復帰後の短時間勤務」③「日当直の免除若しくは制限」の3点が対応可能となっております。

また御家族の事情を勘案した働き方も相談の上、勤務を決定することもできます。

病院見学時には保育園の見学も可能ですので、是非お申し出ください。

連絡先　社会医療法人社団 新都市医療研究会（関越）会　関越病院

法人事務局　人事課　臨床研修担当

〒350-2213　鶴ヶ島市脚折145-1

TEL 049－287－3727（直通）　FAX 049－271－2370

E-mail jinji@kan-etsu-hospital.or.jp

URL http://www.kan-etsu-hp.ne.jp/hospital/

アクセス 東武東上線坂戸駅下車　南口より徒歩13分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院では、学生の皆様の御都合に可能な限り合わせた形で病院見学を行っております。連絡先の電話若しくはメールにてお申し込みください。

病院見学が面接受験の条件となりますので、皆様のお問い合わせをお待ちしております。

22 独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院

病院の概要

- **病床数**　325床
- **医師数(研修医を除く)**　43名(うち指導医数　11名)
- **研修医数**　1年目　0名　2年目　0名
- **研修医の主な出身大学**　群馬大学・岡山大学・宮崎大学・日本大学・産業医科大学・旭川医科大学
- **診療科**　内科　消化器科　循環器科　神経内科　精神科　小児科　外科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　放射線科　歯科　麻酔科　リハビリテーション科
- **1日平均外来患者数**　406.9名　　**1日平均入院患者数**　192.7名
- **主な認定施設**　地域医療支援病院、日本外科学会専門医修練施設、日本内科学会認定医教育関連施設、日本整形外科学会専門医研修施設、小児科専門医研修施設、日本産科婦人科学会専門医研修指導施設

研修プログラムの特色

急性期型の中規模病院での研修であるため、一般疾患、手技を多数経験でき、臨床的に基本的な知識、技能及び態度を習得できます。一方、少人数の研修医のため、個々の研修医の志望に合わせ、きめ細かな研修指導が可能です。

研修1年目は内科重視で6～8か月、ほかに外科、麻酔科(埼玉病院又は当院)、小児科、産婦人科、精神科(国立精神・神経医療研究センター病院)の選択必修のローテート、2年目は地域医療(所沢ロイヤル病院、平沢記念病院、東長野病院)での研修を行います。内科研修には東埼玉病院における呼吸器科と神経内科の研修が含まれます。救急は１年目の２か月と、２年目の週１回の当直で研修します。残りは、院内、院外の登録された各診療科で選択研修を行います(一部は到達目標達成に必要な部分の研修もできるよう調整します)。

プログラム 例　西埼玉臨床研修プログラム（募集定員３人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科						救急		選択必修（外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科）			
		救急（当直）										
2年目	地域医療	選択										
	救急（当直）											

内科6か月、選択必修5か月(外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科)、地域医療1か月は必修。

研修医の処遇

- **給　与**▶約36万円／月
- **諸手当**▶通勤手当、超過勤務手当、宿日直手当など
- **保　険**▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険あり
- **勤務時間**▶8時30分～17時15分
- **当　直**▶あり（4回／月）
- **休　暇**▶2日／週
  有給休暇（3か月勤務後5日付与、さらに3か月勤務後5日付与）
- **宿　舎**▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 国立病院機構埼玉病院
- 国立病院機構東埼玉病院
- 国立精神・神経医療研究センター病院
- 国立病院機構東長野病院
- 所沢ロイヤル病院
- 平沢記念病院

当院のキーワード

研修環境について

①地域密着型急性期対応の中規模病院のため、大体の診療分野、機器が揃う一方、セクション間の風通しは良好で有機的に機能しています。研修しやすい環境だと思います。
②研修医官舎は病院敷地内にあり、比較的広く新しくきれいで家具付きです。家賃月２万円です。
③研修医のための研修医室があり、机を並べて、お互い励まし、刺激し合っています。
④所沢市は埼玉県の南端で東京都清瀬市などに隣接し、西武線で池袋、新宿につながる人口34万の都市です。

ともに学習し、ともに働く研修医の参加を期待しています。

研修責任者から

副院長
小村 伸朗

当院の研修プログラムの特徴は4つの'F'です。それは'foundation'、'flexible'、'freedom''friendly'です。将来責任ある医師となるためにはこの研修期間にしっかりとした基盤・土台形成が必要です。そのためのプログラムを提供したいと考えています。

そして、一様にプログラムを押し付けるのではなく、研修される方の希望や考えを重視し、柔軟性且つ融通性の富んだプログラムに適宜変更していくことも可能です。どうぞ、自己成長のための自由且つ建設的意見をどんどん提示してください。医師、看護師はもちろんのこと多くの職種の方々はみな親しみ深い人ばかりです。たくさんの想い出を是非この病院で作っていってください。

先輩研修医から

平成 25 年度臨床研修 修了
三村 暢子

西埼玉中央病院での研修は自由で、大部分が自主性に任せられています。逆のことを言えば、自分から行動しないと何も始まりません。ですが、自分の考えで自ら学んでいこうとすれば、得られるものも多いです。

また、研修医の数が少ないためか上級医やコメディカルの方々がとても気に掛けてくださり、気軽に相談できるため、とても働きやすい環境です。

研修の2年間はあっという間ですが、これからの医師像を決める重要な時期でもあるので、皆さんも自分にあった研修病院を見つけてください。

女性医師支援コーナー

研修とともに、出産・育児も大事な要素の一つと考えております。院内には保育園が併設されており、育児をしながらの研修にも対応できます。

また現在、常勤医で産休・育児休暇を取得している女医はいませんが、若い医師も産休・育児休暇を使う受け皿があり、初期研修医も研修期間の調整は必要ですが個々のニーズに合わせた対応が可能です。

なお院内には明るい雰囲気の女医室があり、休憩時間など診療科を超えた交流の場となっています。

連絡先　独立行政法人国立病院機構　西埼玉中央病院
管理課給与係　杉山　亮平
〒359-1151　所沢市若狭2-1671
TEL 04－2948－1111（代表）　FAX 04－2948－1121
E-mail sugiyamar@wsh.hosp.go.jp
URL http://www.hosp.go.jp/~wsaitama/byouin_shoukai.html
アクセス 西武線小手指駅から徒歩20分又は狭山ヶ丘駅から徒歩20分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●当院HP「職員募集ページ」から病院見学をお申し込みください。
病院見学では当院臨床研修医及び若手医師と昼食会を設けています！！
宿泊施設は院内にて格安で提供いたします。

23 社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院

病院の概要

●**病床数**　349床
●**医師数(研修医を除く)**　95名(うち指導医数　35名)
●**研修医数**　1年目　6名　2年目　6名
●**研修医の主な出身大学**　東京医科歯科大学・信州大学・産業医科大学・東京慈恵会医科大学・高知大学・東京医科大学・東海大学・帝京大学・北里大学・杏林大学・熊本大学・岡山大学・昭和大学・川崎医科大学・宮崎大学・愛知医科大学・聖マリアンナ医科大学・群馬大学
●**診療科**　総合内科　呼吸器内科　循環器内科　消化器内科　糖尿病内科　内分泌・代謝内科　腎臓内科　緩和ケア内科　消化器外科　乳腺内分泌外科　心臓血管外科　整形外科　脳神経外科　形成外科　精神科　小児科　皮膚科　泌尿器科　婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　病理診断科　救急科　麻酔科　人工透析　肛門外科　呼吸器外科　感染症内科
●**1日平均外来患者数**　1324名　●**1日平均入院患者数**　335名
●**主な認定施設**　病院群輪番制病院、地域医療支援病院、日本病院機能評価認定施設
＜医師研修施設認定＞
日本内科学会教育施設、日本外科学会、日本外科学会外科専門医制度修練施設、救急科専門医指定施設

研修プログラムの特色

当院は年間約7000台の救急車を受け入れている地域の中核病院です。Common Diseaseから重症患者まで豊富な症例を初期研修医がfirst touchで診る機会に溢れています。救急外来や病棟で指導医とのディスカッションやフィードバックを受ける機会が多く、研修医は日々生き生きと働きながら研鑽を積んでいます。2年間を通して毎週半日の救急研修が確保されており、救急車・外来患者合わせて年間500人以上の初期救急対応を目標にしています。2年間の研修を通して病歴聴取・身体診察を重視した臨床推論、患者とのコミュニケーション、カルテ記載、症例プレゼンテーションなどの「基本的臨床能力」をしっかり身に付けることを最重視しています。初期研修医に対する教育に理解と情熱がある指導医が多く、お互いに教え合い学び合う文化を大切にしています。

プログラム 例　埼玉石心会病院初期臨床研修プログラム（募集定員６人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科							救急	外科			麻酔科
2年目	救急	地域医療	選択ローテーション									

1)内科７か月：総合内科２か月、腎臓内科２か月、消化器内科２か月、循環器科１か月が必須。
2)救急３か月：１年次に1か月、２年次に1か月必須。
救急当直(月に数回)と毎週半日の救急研修を合わせて合計３か月とカウントする。
3)外科３か月：消化器外科３か月(又は消化器外科2か月＋ほかの外科系1か月)が必須。
他の外科系：心臓血管外科、整形外科、乳腺内分泌外科、脳神経外科、形成外科から選択可
4)麻酔科：１か月必須(希望に応じて連続して２か月選択可能)。
5)地域医療：２年次に1か月必須。
6)選択ローテーション：以下の診療科から選択ローテーションする。各科は原則として最低１か月以上から選択可。既にローテートした必修科を繰り返し選択可(必修科と選択ローテーションを分けずに必修科を延長することも可)。
総合内科、腎臓内科、消化器内科、循環器科、外科(消化器外科、乳腺内分泌外科)、整形外科、脳神経外科、救急科、心臓血管外科、形成外科、麻酔科、泌尿器科、皮膚科、耳鼻咽喉科、産婦人科、小児科、精神科

研修医の処遇

給　与▶約40万円／月
諸手当▶通勤手当、当直手当、家賃補助制度
保　険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険
勤務時間▶8時30分～17時
当　直▶あり（4回～5回／月）
休　暇▶土曜日午後、日曜、祝祭日、有給休暇（1年次：10日）
宿　舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

・さやま総合クリニック
・埼玉医科大学病院(産婦人科、小児科)
・西埼玉中央病院(産婦人科)
・川越同仁会病院(精神科)
・小鹿野中央病院(地域医療)
・済生会川口総合病院(小児科)

当院のキーワード

研修医共通 週間スケジュール

埼玉石心会病院 2015年4月版

	月	火	水	木	金	土
朝		7:45 EBM勉強会/抄読会（隔週）	7:45 モーニングセミナー（毎週）	8:00 ERケースカンファ（毎週）		7:45 Reflectionカンファ（毎月）
午前	病棟業務（救急研修）	病棟業務（救急研修）	病棟業務（救急研修）	病棟業務（救急研修）	病棟業務（救急研修）	病棟業務（救急研修）
昼	12:30 感染症セミナー（隔週）		12:30 総合診療セミナー（隔週）	12:30 ランチョンセミナー（毎週）		
午後	病棟業務（救急研修）	病棟業務（救急研修）	病棟業務（救急研修）	病棟業務（救急研修）	病棟業務（救急研修）	
夕方	17:00 研修医会議（毎月第２月曜日） 18:00 内科症例検討会又はCPC（毎月）	17:30 症例から学ぶ救急セミナー（隔月）				

研修責任者から

総合内科副部長
プログラム責任者
村田　健

初期研修とは「医者の基本」を徹底して学ぶための研修です。「幅広い初期救急対応能力の習得と、頻繁に遭遇するCommon Diseaseに対する診療能力を身に付けること」。当院ではこの二つの研修目標を最重視しており、将来どんな専門分野に進んだとしても最低限必要となる基本的臨床能力を徹底して鍛えるための研修に力を注いでいます。

一人一人の力量に応じて着実に成長していける研修を目指しており、最終的には研修医全員が同じレベルに到達するための工夫や、お互いに教え合い学び合う「シェアする文化」を大切にしています。ベッドサイドの手技の件数は圧倒的に多いことも魅力の一つですが、単に手技を身に付けることを重視していません。Attitude（患者との接し方、問題解決の思考プロセス）・Skill（手技）・Knowledge（知識）のバランスが重要であり「主治医としてのマネジメント能力」の礎となる研修を目指しています。

先輩研修医から

研修医２年目
上田　悠理

皆さんはどんな初期研修を希望しますか？私たちは「主体的に学び、主体的に行動する初期研修」を実践しています。研修医向けの勉強会はたくさんありますが、研修医はレクチャーをただ受講するばかりではなく、自らが講師としてプレゼンすることもあります。「教えることは2倍学ぶこと」をモットーに勉強して仲間に教えることを大切にしてます。

手技が多いことも魅力の一つです。手技については「したことがある」程度ではなく、「慣れている」と言えるほど十分な回数をこなし、確実に身に付けることができます。

科の垣根のないオープンな医局は、違う科の先生方にも疑問点を質問したり、アドバイスを受けたりするチャンスにあふれています。看護師やコメディカルとの関係が良いことも重要です。是非一度見学に来て、この病院の魅力を見つけに来てください。お待ちしています！

女性医師支援コーナー

当院は初期臨床研修医を含めて常勤医師が107名、そのうち20名が女性医師です。現在２名が産休・育休中です。これまでにも産休・育休を取得して復帰した女性医師が複数おります（出産を機に辞めたというケースはありません）。

また育児のための当直免除や短時間勤務職員制度もあります。

院内保育所では24時間保育を365日行っており、女性医師が働きやすい環境整備に努めています。

連絡先　社会医療法人財団石心会　埼玉石心会病院
医師採用担当

〒350-1323　狭山市鵜ノ木1-33
TEL 04－2953－0909（直通）　FAX 04－2953－8040
E-mail yuji-wakamatsu@saitama-sekishinakai.org
URL http://www.saitama-sekishinkai.jp
アクセス 西武池袋線稲荷山公園駅から徒歩10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学の申込みは随時行っています。気軽にお申し込みください。
- 採用試験は毎年8～9月上旬に実施しています。
- 毎年2月に院内で研修医研究発表会を開催しています。医学生の参加をお待ちしています。

24 社会医療法人壮幸会 行田総合病院

病院の概要

●**病床数**　504床
●**医師数(研修医を除く)**　44名(うち指導医数　9名)
●**研修医数**　1年目　0名　2年目　1名
●**研修医の主な出身大学**　東北大学・埼玉医科大学・旭川医科大学・福井大学
●**診療科**　内科　循環器内科　消化器内科　消化器外科　呼吸器内科　神経内科　リウマチ科　緩和ケア内科　外科　肛門外科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　眼科　耳鼻咽喉科　小児科　麻酔科　放射線科　リハビリテーション科　病理診断科
●**1日平均外来患者数**　610名　●**1日平均入院患者数**　385名
●**主な認定施設**　地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院、病院機能評価認定病院、二次救急指定病院、日本DMAT隊員養成研修修了施設

研修プログラムの特色

医師としての人格を養成し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で繰り返し遭遇する病気・病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身に付けます。

1年次は基本的な臨床知識と技能の修得、2年次は将来の専攻分野を視野に入れながら、科目を選択します。

◆全人的な診療能力を身に付ける
一般診療、急性期・救急医療を通じて、プライマリ・ケアを中心に幅の広い診療能力を身に付けます。

◆少人数・実践方式
できる限り現場の医療に実践で取り組み、マンツーマンの指導を受けられます。

◆法人内他施設との連携
クリニック、老人保健施設など、法人内他施設と連携して研修内容を広め、法人全体で育成するというプログラムになっています。

プログラム 例　標準コースプログラム（募集定員５人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	※内 科						救 急			※選択必修科目		
2年目	地域医療	※選択科目										

※内科研修は、呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・一般内科をローテーションします。
※選択必修科目：外科・麻酔科・精神科・小児科・産婦人科から２科目選択。
※選択科目：内科・外科・整形外科・脳神経外科・小児科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・眼科・救急・麻酔科の中から選択
※小児科・産婦人科は埼玉医科大学病院にて研修、精神科は済生会鴻巣病院にて研修を行う。

研修医の処遇

給　与▶1年次：42万円（税込）／月　年俸504万円（税込）　2年次：50万円（税込）／月　年俸600万円（税込）
※当直（副直）手当、休日手当、時間外手当を含む
保　険▶健康保険、労災保険、厚生年金保険、雇用保険
勤務時間▶週変動型36時間（4.5日）制　平日：9時～18時、土曜日：9時～13時
当　直▶あり（4～5回／月）　※副直として
休　暇▶日曜日、祝祭日、年末年始（12月31日～1月3日）
有給休暇（10日／年）
宿　舎▶あり（家賃全額補助）
その他▶赴任手当あり（100万円）

主な臨床研修協力病院・協力施設

・埼玉医科大学病院
・埼玉医科大学国際医療センター
・済生会鴻巣病院

当院のキーワード

当院の特徴

当院は地域医療支援病院、災害拠点病院、がん診療指定病院として、地域医療の中核的役割を担っている病院です。他医療機関からの紹介患者様のさまざまな症例に対し高度医療を提供するため、豊富な症例を扱え、また、研修医の皆さんにも積極的に治療に参加していただきますので、基礎研修として多くの経験を積むことができます。

「地域完結型医療」「病診連携」「救急医療」を勉強したい方たちにふさわしい病院です。医局は特定の大学に関連しているのではなく、全国から40歳前後の若い先生が集まる医局です。若い先生の新しい知識と行動力を持って、日夜診療に取り組んでいます。

研修責任者から

副院長・
プログラム責任者
小島 達自

私は医師になって36年が経ちます。「投資」という言葉は、金銭や時間を費やして、さらに有益なものごとを得るということです。最近思うことは、投資に使われるお金や時間は、自分のもののようでありながら、決して自分だけのものではないということです。時間やお金をかけて学会や研修会に行き、新しい知識を得たり、技術を磨いたりすることは、ひいては万人のためになることと信じていますし、また、医師はそれを期待されてもいます。

皆さんは、これから研修医として医学の世界への第一歩を踏み出します。初心を忘れることなく、常に研鑽によって得られる対価は、自分や他人が喜ぶ顔を見ることです。これが一番大きな対価ではないでしょうか。一緒に勉強ができる日を心待ちにしています。

先輩研修医から

研修医２年目
徳永 伸太郎

どれだけ手技を多く経験できるかどうかという点において、当院の研修は他の研修病院と比較しても抜きん出ているのではないかと思います。上級医の指導の下、研修医の立場では普通はなかなか経験できないところまで積極的に参加することが可能です。こちらがやればやるほど、やらせてもらえる手技も高度なものになっていくため、とてもやりがいがあります。

また当院の研修でとても特徴的なことは、病院内をとても自由に研修できるという点です。現在研修中の科がどこであろうと、勉強になる症例・検査などがあれば他科であろうと積極的に呼ばれます。 将来何科に進もうか、ある程度の道筋がついている人にとってはこの病院での研修は本当に有意義なものとなるでしょう。自分の習得したい手技、経験したい診療科を重点的に経験させてもらえます。

やる気のある方、とことん手を動かしたい方は是非とも一度当院を見学に来てください！

女性医師支援コーナー

・院内保育所（病児保育可能）
・当直免除

［院内保育所］

連絡先　社会医療法人壮幸会　行田総合病院
医師担当課
〒361-0056　行田市持田376
TEL 048－552－1111（代表）　FAX 048－552－1116
E-mail pub_info@gyoda-hp.or.jp
URL http://gyoda-hp.or.jp
アクセス JR線行田駅よりタクシー5分またはバス10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時可能です。
お気軽にお電話、メールにてお問い合わせください。
救急センター、内視鏡室、手術室といった実際の診療現場を見学することができます。
研修医や指導医と面談していただき、研修の中身について理解を深めていただきたいと思います。

25 埼玉医療生活協同組合 羽生総合病院

病院の概要

●**病床数**　311床
●**医師数(研修医を除く)**　36名(うち指導医数　8名)
●**研修医数**　1年目　0名　2年目　2名
●**研修医の主な出身大学**　筑波大学・弘前大学・熊本大学・高知大学・琉球大学　など
●**診療科**　内科　消化器科　循環器内科　外科　小児科　整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　放射線科　産婦人科　眼科　リハビリテーション科　耳鼻咽喉科　麻酔科　歯科口腔外科　病理科　和漢診療科　救急総合診療科
●**1日平均外来患者数**　550.2名　●**1日平均入院患者数**　236.6名
●**主な認定施設**　日本医療機能評価機構認定病院、日本内科学会認定医制度教育関連施設、日本外科学会外科専門医修練施設、日本整形外科学会専門医制度研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設、日本麻酔科学会麻酔指導病院

研修プログラムの特色

当プログラムは総合的な臨床能力を有する医師の育成を目指すもので、厚生労働省による初期臨床研修到達目標を理想とし、救急医療とプライマリ・ケアを基盤とした総合診療方式(スーパーローテート方式)による、２年間の初期臨床研修プログラムです。

臨床医としての哲学を形成していくことを目的にしており、狭い専門領域の知識を得るのではなく、臨床医として必要とされる基本的な知識・考え方・手技を身に付けることに重点を置き、さらに患者及び他の医療従事者との円滑なコミュニケーションを取れるようになることも目指しています。

また、画一的なものではなく個人の希望や特性に応じて柔軟に対応するため、オプションの研修科・期間を多めにとっています。

プログラム 例　羽生総合病院臨床研修プログラム（募集定員４人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内 科			救 急			外 科	小児科	産婦人科	内 科		
2年目	地域医療		精神科	自由選択								

※内科(6か月)、救急(3か月)、地域医療(2か月)、外科(1か月)、産婦人科(1か月)、小児科(1か月)、精神科(1か月)必修
※自由選択９か月(内科、外科、小児科、産婦人科、麻酔科、整形外科、泌尿器科、脳神経外科、病理科、緩和ケア、家庭医療)

研修医の処遇

給　与▶約45万円／月
諸手当▶通勤手当、住宅手当、家族手当　など
保　険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶8時30分～17時00分
当　直▶あり（8回程度／月）
休　暇▶2日／週、有給休暇（10日／年）
宿　舎▶近距離の賃貸物件を紹介
その他▶学会参加、資格取得補助制度

主な臨床研修協力病院・協力施設

・埼玉県済生会鴻巣病院
・徳洲会グループ各病院

当院のキーワード

平成30年度　新築移転決定！！

当院は平成30年度に現在の病院から程近い場所へ新築移転を行います。現在、設計・設備等について計画を進めているところです。

●新病院の基本コンセプトについて●

①羽生市内及び近接地域の医療ニーズへの適切な対応（救命救急センターの設置）
②がん診療拠点病院を目指す（放射線治療装置の導入、緩和ケア病棟の設置）
③災害拠点病院を目指す（非常用電源の確保・井水の利用・ヘリポートの設置等）
④早期発見早期治療につなげる体制を構築（健診センターの強化・透析部門，リハビリテーション部門の拡充）
⑤療養環境を向上させ、病院全体を癒しの空間とする
⑥医療の進歩や地域医療のニーズに合わせ増築・改築が容易な建物とする

（新病院完成予想図）

研修責任者から

研修委員長
木田　吉俊

「医師の仕事とは何か。」つきつめて言えば“目の前にいる患者を評価し、マネジメントすること”であり、これが全てです。これができるようになるために必要とされる、医師にとっての職業訓練の第一歩となるべきもの、それが初期研修であると考えています。

そして医師としての最初の時期に論理的・科学的な考え方を習得する必要があり、自分の力で個々の患者が抱える問題点を一つひとつ列挙し、それぞれの問題点をなるべく根拠に基づきつつ解決する訓練を行わなければなりません。必要な知識や基本手技を身に付けることだけでなく、その問題解決のサイクルを繰り返し、応用のきく方法論として体で覚えておけば、たとえこれまでに経験したことがない疾患、病態であったとしても恐れることはありません。研修医の皆さんには、このことを意識しつつ研修に励んでほしいと思います。

先輩研修医から

研修医２年目
成松　裕之

学生時代から大人数のベルトコンベヤー式の研修よりは少人数の柔軟且つ質的に十分な研修を望んでいたので、その点で当院は魅力的な環境でした。

初期研修医として最も実力が付く場は当直業務においてです。当直は月８～９回と体力的には大変でしたが、意外にできるものです。

当院の当直の特徴として、２年間通じて内科系・外科系の救急外来及び救急車の１ｓｔを全て一人の研修医が行います。とは言っても必ず後ろには経験豊富な救急専門医の上級医がついているので、いつでも相談でき安心です。２年間の当直業務で2,000件近い症例を経験でき、質量ともに満足できる研修が出来ます。

是非そんな当院で、医師の第一歩を踏み出してみませんか。

女性医師支援コーナー

産前産後休暇・育児休暇はもちろんのこと、職場復帰後の短時間勤務・当直免除制度があります。また院内保育所の利用も可能ですので、安心して勤務していただける環境が整っています。ライフワークに合わせた勤務形態が相談可能となっておりますので、是非一度御連絡ください。

連絡先　羽生総合病院

総務課　臨床研修事務担当　松岡 佑介

〒348-8505　羽生市上岩瀬551
TEL 048－562－3000（代表）　FAX 048－563－2170
E-mail resident@fureaihosp.or.jp
URL http://www.fureaihosp.or.jp/hanyuhp/
アクセス 東武伊勢崎線・秩父鉄道　羽生駅から徒歩8分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けています。（交通費・宿泊費は当院負担にて相談可）

まずは担当：松岡までお気軽に電話又はメールにてお問い合わせください。

26 済生会 栗橋病院

病院の概要

●**病床数**　329床
●**医師数(研修医を除く)**　60名(うち指導医数　28名)
●**研修医数**　1年目　2名　2年目　1名
●**研修医の主な出身大学**　山梨大学・富山大学・愛媛大学・横浜市立大学・帝京大学
●**診療科**　循環器科　神経内科　腎臓内科　呼吸器内科　消化器内科　糖尿病内科　漢方内科
小児科　外科　呼吸器外科　乳腺外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　眼科
耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　整形外科　麻酔科　救急科
●**1日平均外来患者数**　643名　●**1日平均入院患者数**　279名
●**主な認定施設**　地域医療支援病院、災害拠点病院

研修プログラムの特色

〈理念〉

臨床医に求められる高い倫理性と思いやりの心を養い、"心温かい医師"を育てることを理念としています。

1．救急医療から地域医療までの幅広い研修を通じて、「疾患ではなく患者さんを診る」という全人的な患者の評価ができる医師に育てます。
2．質量とも揃った症例が豊富にあり、個々の症例を丹念に診断治癒していく医療体制があります。
3．研修医目線に立った指導を心掛けることで、充実した臨床研修の場を提供します。
4．研修医個人に合わせたオーダーメイドのプログラムで、意欲を持って取り組めます。
5．全国に先駆けて医療秘書を導入、研修に集中できる環境が整っています。

〈基本目標〉

1．医療全般において基本的診察能力(知識、技術、態度、判断力)を取得する。
2．プライマリ・ケア診療の基本を習得する。
3．救急患者への対処を習得する。
4．患者・家族へのインフォームド・コンセントを尊重した医療を習得する。
5．末期患者への対処を習得する。
6．生涯にわたる自己学習の習慣を身に付ける。

プログラム 例　済生会栗橋病院臨床研修プログラム（募集定員３人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	オリエンテーション	内科						外科			救急	麻酔科
2年目	小児科	精神科	産婦人科	地域医療・地域保健		選択						

※内科は、循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・腎臓内科・糖尿病内科・神経内科を６か月、外科は、外科・脳神経外科・泌尿器科を３か月

研修医の処遇

給　与▶約30万円／月
諸手当▶日当直手当、通勤手当
保　険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶9時00分～17時30分
当　直▶あり（３回程度／月）
休　暇▶２日／週、有給休暇（１年次：10日　２年次：11日）
宿　舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

・久喜すずのき病院
・山王クリニック
・幸手保健所
・わしのみや訪問看護ステーション
・済生会岩泉病院(岩手県)

当院のキーワード

少人数の研修医で、自分のペースできる

当院は地域中核病院であるため、どの科にも救急医療を中心とした幅広い症例が集まってきます。そのような地域のニーズに応えるべく、人材を救急部門に集約させ、ICU 20床がある地域救急センターを開設しています。この取組により、救急車受入困難事例を大幅に減少させ、安心で安全な地域完結医療の構築を目指しています。

また、東京女子医科大学の関連病院でもあるので、スタッフの医療レベルが高く、新しい医師も定期的に入ってくるので、雰囲気が停滞することがありません。医局は極めてオープンな雰囲気で、他科の先生と気軽にディスカッションすることが可能です。現在のシステムでは、それぞれの科の研修が短い期間で終わってしまいますが、当院は所属科だけでなく、様々な科の先生に同時に指導が受けられ、多くの疾患を経験できるという長所があります。

そして、看護師をはじめコメディカルの方々も非常に優しく、風通しの良い働きやすい環境にあります。コメディカルとのチームワーク体制が整っていて、実体験を通じ、チーム医療を学ぶことが可能です。

研修責任者から

臨床研修管理委員会委員長
白髪 宏司

臨床研修の特徴として、実践を重視していることが挙げられます。当院は急性期病院として誕生し、埼玉県北東部の医療を担う中核病院ですので、救急車の搬入も多く、処置や手技を豊富に経験できます。救急の現場で気管挿管ができるかどうかというのは初期研修の成果を図る物差しの一つですが、当院の研修医はほとんど全員がクリアしています。

大学病院は大学病院ならではの症例に恵まれますが、一方で研修医が多く、初期研修1年目では大きな仕事ができにくい状況です。当院では研修医本人にやる気があり、きちんと準備できていれば中心静脈カテーテル、気胸ドレーン、気管支鏡などの高度な手技も経験することができます。

先輩研修医から

研修医２年目
森本 哲夫

栗橋病院を研修先として選んだのは、東京女子医大の関連病院ということで研修プログラムもしっかりしている印象を受けたこと、また見学に行った際にとても働きやすい環境に思えたことが大きな理由です。さらに、すべての科を1か月単位で回る方式は短期間で網羅的に経験できるので、集中して学ぼうという意識にもつながって、メリハリもあって自分には合っていると思います。

また、研修医向けのルーチンワークが少ないのも、この病院のいい点だと思います。いわゆる雑用的な業務が少なくて、しかもマニュアルなどで縛られてもいないので、自由な気風があります。時間的な余裕を持ちながら、自分のペースで進めていけるのがよいと思います。

女性医師支援コーナー

当院女性医師の声～当院で働くメリット～

①嘱託医でも、専門外来を受け持つことができます。

「当院には、嘱託勤務制度があり、一般の医師より少ない勤務日数で働くことが可能で、当直等も免除されます。専門医を取得し、子育てと仕事をうまく両立しています。」

②院内保育所や、小児科病棟の病児保育が利用できます。

「当院には、院内保育所があり、病気の時は小児科病棟で職員の子どもを預かってくれるので、安心して働けます。」

③転勤がないため、同じ患者を長期にわたって継続して診ることができます。

「糖尿病のような慢性疾患は、長期間、継続して診ることに意味があると思います。今は、中断されずに担当できることが嬉しいです。」

連絡先 済生会栗橋病院

人事課　横井　博

〒349-1105　久喜市小右衛門714-6

TEL 0480－52－3611（代表）　FAX 0480－52－0954

E-mail saikuri@saikuri.org

URL http://www.saikuri.org

アクセス 東武日光線南栗橋駅から徒歩5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時行っています。
まずはメールで、お気軽にお問い合わせください。

27 埼玉県厚生農業協同組合連合会 熊谷総合病院

{平成28年5月（予定）より 医療法人 熊谷総合病院}

病院の概要

- **病床数**　310床
- **医師数（研修医を除く）**　32名（うち指導医数　13名）
- **研修医数**　1年目　1名　2年目　0名
- **研修医の主な出身大学**　千葉大学・秋田大学・杏林大学・東京医科大学
  岩手医科大学
- **診療科**　内科　消化器内科　外科　小児科　整形外科　産婦人科　泌尿器科　脳神経外科
  眼科　耳鼻咽喉科　皮膚科　リハビリテーション科　放射線科　麻酔科
- **1日平均外来患者数**　473名　　**1日平均入院患者数**　193名
- **主な認定施設**　日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本整形外科学会専門医研修施設、
  日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本麻酔科学会麻酔科認定病院　など
  ※千葉大学医学部附属病院の協力型臨床研修病院

研修プログラムの特色

　あらゆる疾患の患者さんと接触する職業であるとの認識を踏まえ、幅広い社会性と温かい人間性を養えるよう研修を企画するとともに、各診療科では、医師として基本的な診療能力を習得できるプログラムを目指しています。同時に、将来の希望を見据えた選択科目の研修期間も十分取れるようにしています。

　また、医師としての基盤形成の時期である初期研修時期において、患者さんを全人的に診ることができる基本的な診療能力を習得することにより医師としての資質の向上を図り、医師にふさわしい人格を養成することを目的としています。

プログラム 例　熊谷総合病院卒後臨床研修プログラム（募集定員４人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内 科						救急部門			選択必修科目		選択科目
2年目	地域医療	選択科目										

※協力病院・施設での研修もあります
救 急 部 門：熊谷総合病院（2か月間）及び久喜総合病院（1か月間）
選択必修科目：外科、麻酔科、小児科（熊谷総合病院及び深谷赤十字病院）、産婦人科（熊谷総合病院及び深谷赤十字病院）、精神科（北深谷病院）
　　上記のうち2科目以上を選択（最低1か月以上とする）
選 択 科 目：内科、外科、産婦人科、小児科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、眼科、放射線科、救急部門、地域保健

研修医の処遇

給　与▶1年次：42.5万円／月　2年次：45万円／月
　賞与（1年次：80万円前後　2年次：90万円前後※業績により支給）
諸手当▶通勤手当、家族手当、超過勤務手当、日当直手当
保　険▶健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶8時30分～17時30分
当　直▶あり（2回程度／月）
休　暇▶2日／週、有給休暇（1年次：10日　2年次：20日）
宿　舎▶あり（医師住宅：家賃半額補助上限6万円まで）

主な臨床研修協力病院・協力施設

- 北深谷病院
- 深谷赤十字病院
- 久喜総合病院
- 石川クリニック
- 松本医院
- 松井医院
- 福祉医療センター太陽の園

当院のキーワード

当院の特徴

当院は1945年に開設され、長年にわたり医療活動を通じて地域貢献に努めてまいりましたが、設備の老朽化が進み2013年に救急棟、病棟(一部)を建て替えました。

高度医療への対応や救急医療へのニーズが高まる中、地域の皆様に信頼され選ばれる病院づくりを目指しています。中規模の病院ですが、多くの症例を経験できる施設です。

研修責任者から

プログラム責任者
斎藤 雅彦

当院は埼玉県北の中核基幹病院ということで、プライマリ・ケアを中心に多くの症例を経験できる研修施設です。希望とやる気があれば、より専門的な診療への参加も可能です。

大学病院などとは異なり、科ごとの垣根が低く、複合的な疾患の診療がしやすくなっております。また、コメディカルとの人間関係も良好で、研修医の先生が働きやすい環境が備わっていると思います。御連絡をお待ちしております。

先輩研修医から

研修医１年目
内田 貴人

初期研修時代は大学を離れ、市中病院でよりたくさんの経験を積もうと考えていました。当院の特徴としては、科の垣根が低く、アットホームで自由な雰囲気で手技や症例を経験できる点です。

最初の3か月は当直義務がなく、診察の取り方や基本手技を身に付けるのに専念することになります。その後は月に2回必ず上級医とともに行い、それ以上の回数は自由意思で増やすことも可能です。また、研修期間の自由選択期間が長く、スケジュール調整もしやすい上、希望科を長期間選択するなんてことも可能です。

内科地方会での発表や、患者さんの病理解剖に立ち会う機会もあります。

このように研修医を無理させず守りつつも育てていこうという気概に満ちています。百聞は一見に如かず。まずは一度病院に見学に来てみてください。

女性医師支援コーナー

院内保育所は同じ敷地内にあり、平屋のゆったりした造りで遊戯室が2部屋あります。保育士は常勤職員ですから、継続した保育を行うことができ、預けている職員にとっても安心できる運営になります。男性職員も利用することができ、御夫婦で働いていて預けている方もいます。定員は20人ほどで、生後8週から3歳までお預かりしています。今、子育て世代の女性医師がいないので、医師の利用としては非常勤医師で週に1日、勤務のときに預けている方がいます。

24時間保育は、月に12回行っており、臨時でも引き受けます。忙しくて遅くなるときや研修など、勉強会の時もお預かりします。

病児保育は行っていませんが、少しくらいの熱であれば職員にもすぐ連絡できますし、小児科にも連絡できますので、お預かりできます。

職員には安心して働いてもらえる環境を整えています。

連絡先 熊谷総合病院

総務課　関口　哲也

〒350-8567　熊谷市中西4-5-1

TEL 048－521－0065(代表)　FAX 048－523－5928

E-mail kumagaya@kousei.st-ja.or.jp

URL http://www.kumasouhp.jp

アクセス JR高崎線・上越新幹線・秩父鉄道　熊谷駅北口から徒歩15分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時受け付けしておりますので、左記アドレスに連絡してください。

28 深谷赤十字病院

病院の概要

●**病床数**　506床
●**医師数(研修医を除く)**　68名(うち指導医数　26名)
●**研修医数**　1年目　6名　2年目　7名
●**研修医の主な出身大学**　秋田大学・東北大学・新潟大学・弘前大学・信州大学・獨協医科大学・山梨大学・三重大学・群馬大学　など
●**診療科**　内科　精神科　神経内科　消化器科　循環器科　小児科　外科　呼吸器外科　整形外科　形成外科　脳神経外科　心臓血管外科　小児外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　麻酔科　放射線科　緩和ケア外科　歯科口腔外科　病理診断科
●**1日平均外来患者数**　776名　●**1日平均入院患者数**　378名
●**主な認定施設**　救命救急センター、地域災害医療センター、地域周産期母子医療センター、骨髄移植施設、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院

研修プログラムの特色

埼玉北部の地域基幹病院として、周辺医療機関との地域医療連携に努めており、プライマリ・ケアをはじめとした様々な疾患を経験することで、基本的診療能力をより効率的に研修医が身に付けられます。特長としては病棟数に対し比較的少ない定員なので、各研修医が多くの症例に接し、密度の高い研修を受けられる点です。さらに少人数なので選択科目なども個々の研修医の要望に応じた、融通性のあるプログラムが組める点です。また、２年間の研修において経験が不足しやすい必修項目については、一般病院の特色を生かし、ローテート以外の診療科の指導を適時受けられるシステムとし、履修効率の向上を図っています。

プログラム　例　深谷赤十字病院卒後初期臨床研修プログラム（募集定員７人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	外 科		麻酔科	救急科		内 科						非選択科
2年目	希望選択科						地域医療	希望選択科				

1年次において救急・内科の必修科を経験し、選択必修5科目のうち、麻酔科・外科を経験する。非選択科として必修科以外の診療科(脳神経外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・眼科・精神科)を経験して到達目標をカバーする。
２年次において地域医療の１か月を除いた１１か月を自身が希望する診療科で各自選択する。

研修医の処遇

給　与▶１年次：35万円／月　２年次：40万円/月（当直手当は別途支給）
諸手当▶日当直手当、住居手当
保　険▶社会保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険
勤務時間▶8時30分～17時00分
当　直▶あり（4～5回／月）
休　暇▶週休２日、有給休暇（１年次：10日　２年次：11日）
宿　舎▶なし（住居手当：2.85万円まで支給）

主な臨床研修協力病院・協力施設

・佐々木病院
・さいたま赤十字病院
・小川赤十字病院
・内田ハートクリニック
・井上こどもクリニック
・おおしまクリニック
・加藤内科クリニック
・皆成病院
・埼玉よりい病院
・赤十字血液センター

当院のキーワード

研修医からの声・声・声

・当院では院長が臨床研修プログラム責任者として臨床研修制度開始から携わっています。院長自らが研修医や病院見学の対応をする病院などほかにありません。院長をはじめとした病院職員全体で研修医をバックアップしてくれている雰囲気を感じます。
・3次救急病院のため、軽傷から重症まで様々な症例を経験でき、勉強になります。
・2年目においては、地域医療を除いた11か月は自由に診療科を選択できるため将来希望する科を集中的に勉強できる環境があります。
・病院全体が綺麗で明るい雰囲気です。
・研修医を対象とした月１回の英文抄読会を開催し、院長自ら参加するため、研修中の不安なども相談しやすく頼りになります。
・研修医への指導は、研修医と指導医の１対１が前提です。そのため、研修医の知識・技術を指導医が加味していくらでも手技等ができます。

研修責任者から

院長
プログラム責任者
伊藤　博

当院は、地域の基幹病院として高い専門性とともにバラエティにとんだ症例を有し、比較的少ない研修医ということもあり、豊富な臨床経験が売りです。

初期研修期間は、将来どのような医師になるのかを決める(決まる) 大切な期間であり、研修の3つの要素である「知識」「技能」「態度・習慣」のうち、初期研修時に最も培うべきは、「態度・習慣」であると思います。

患者さんに直接足を運ぶ習慣などはこの時期に身に付けねば、データからのみの判断で指示を出すような医師となってしまうでしょう。知識と技術は初期研修、後期研修、専門分野と研鑽を積むにつれ確実に増えていきますが、態度・習慣は逆に疎かになることさえあります。

当院では、研修医に実践してもらうのを原則にしていますので、技術的Skill Upが体感できるとともに、研修医一人一人に応じた融通性のあるプログラムなど、一言でいえば暖かみのある研修環境を目指しています。

当院での研修を通じ、患者さんを中心にコ・メディカルスタッフも含めたチーム医療のできる心暖かい医師に成長してくれることを願っています。

先輩研修医から

研修医２年目
青山　幸弘

当院の研修プログラムは自由度がとても高く、研修医一人一人の意欲や適性に見合った研修生活を送ることができるのが大きな特長です。２年目に希望選択科を長く選ぶことができるので、将来希望する診療科が定まっている人でも、まだ絞り切れておらず研修生活の中で決めていきたい人でも融通のきくプログラムです。

当院は埼玉県北部の基幹病院であり診療科や病床数が多い一方、規模に対して研修医の定員が少なめなので、研修医一人当たりが経験できる症例や手技が豊富にあります。また、救急当直では1次救急から3次救急まで研修医が全てファーストタッチで診察し、上級医の指導の下主体的に診断や治療を完結することができ、日々実践的な力が積み重ねられていくことが実感できます。

病院スタッフの方もみな温かく接してくださり、アットホームな雰囲気の中で研修をできるのも魅力の一つです。

是非一度見学にいらして、当院の雰囲気や研修生活を実際に体験してみてください。お待ちしております！

女性医師支援コーナー

平成28年度より院内保育所を設置します。部屋は研修医室が単独であり、更衣室は女子更衣室を別途用意しております。研修医が働きやすい環境を考えているので、希望があれば随時提案ください。

「ねぎっこ保育園」

連絡先　深谷赤十字病院

事務部人事課

〒336-0052　深谷市上柴町西5-8-1
TEL 048－571－1511(代表)　FAX 048－573－5351
E-mail jinji@fukaya.jrc.or.jp
URL http://www.fukaya.jrc.or.jp
アクセス JR高崎線深谷駅南口から徒歩15分又は籠原駅南口からバス15分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

当院では医学生の病院見学を随時受け付けておりますので、当院のホームページよりお申し込みください。

29 学校法人獨協学園 獨協医科大学越谷病院

病院の概要

●**病床数**　723床
●**医師数(研修医を除く)**　292名(うち指導医数　67名)
●**研修医数**　1年目　17名　2年目　20名
●**研修医の主な出身大学**　獨協医科大学・東海大学・福井大学・帝京大学・岩手医科大学　など
●**診療科**　糖尿病内分泌・血液内科　呼吸器・アレルギー内科　消化器内科　循環器内科　腎臓内科　神経内科　小児科　こころの診療科　皮膚科　放射線科　外科　整形外科　心臓血管外科・呼吸器外科　小児外科　産科婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　脳神経外科　泌尿器科　形成外科　麻酔科　救命救急センター　乳腺センター　病理診断科　臨床検査部　総合診療科(平成28年4月開設)
●**1日平均外来患者数**　1620.4名　●**1日平均入院患者数**　654.8名
●**主な認定施設**　日本医療機能評価機構認定病院、三次救急指定病院、災害拠点病院(埼玉DMAT指定病院)、地域がん診療連携拠点病院

研修プログラムの特色

(1)厚生労働省が掲げる研修理念を実現するもので、医師としての診療能力を幅広く身に付けるために、プライマリ・ケア習得を各科カリキュラムの基本としています。
(2)必修科目である内科6か月、救急部門3か月、地域医療1か月に加え、選択必修科目である外科1か月、麻酔科2か月、小児科1か月、産科婦人科1か月、精神科1か月を履修し、同省が定める到達目標の確実な達成を図っています。希望履修選択期間8か月では、標榜する診療科のどれをも選択できるとともに、同時期に獨協医科大学病院で標榜する診療科も選択研修できます。また、同期間を小児科及び産科婦人科に特化したプログラムの他に、救急診療及び全ての患者の初診という病院医療の基本的診療能力を身に付けることを目的とした救急総合診療プログラムも設けています。
(3)専門・高度医療を実践するためのミニワーク・カリキュラムを重層的に備えています。
(4)臨床研究の基礎トレーニングができます。
(5)医師としてのキャリア構築につながります。

プログラム 例　一般プログラム（募集定員 34 人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内 科						救急部門			外科	麻酔科	
2年目	希望履修選択科目								小児科	産科婦人科	精神科	地域医療

必修科目(厚生労働省指定)：内科6か月、地域医療1か月、救急部門3か月
必修科目(当院指定)：外科・小児科・産科婦人科・精神科各1か月、麻酔科2か月
希望履修科目8か月：当院及び獨協医科大学病院の標榜する全ての科を選択可能

その他　産科婦人科プログラム（募集定員2人）　小児科プログラム（募集定員2人）　救急総合診療プログラム（募集定員2人）

研修医の処遇

給　与▶40万円/月（当直4回分の手当を含めた場合）
諸手当▶当直手当
保　険▶日本私立学校振興・共済事業団（公的医療保険/公的年金保険）、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険（施設及び個人）加入
勤務時間▶獨協医科大学越谷病院就業規則による。
当　直▶あり（4回程度/月）
休診日▶日曜、祝日、第3土曜日、開学記念日、年末年始
休　暇▶第1土曜日（研修医のみ）、夏期休暇5日間/年
有給休暇（1年次：10日間　2年次：12日間）　など
宿　舎▶あり（有料）
その他▶学会、研究会への参加費用支給・健康診断年2回・各種予防接種　など

主な臨床研修協力病院・協力施設

・獨協医科大学病院
・順天堂大学医学部附属　順天堂越谷病院
・越谷市立病院
・春日部厚生病院
・越谷市夜間急患診療所
・越谷ハートフルクリニック
・東埼玉総合病院

当院のキーワード

◎研修に適した環境◎

当院は二つの駅から徒歩３分と交通アクセスがよく、県内外から多くの患者さまがいらっしゃいます。大学病院でありながら市中病院の役割も担い、最先端医療から一般的疾患まで幅広い症例を経験できます。初期研修プログラムも、各医局に入ってからでは経験できない、多くのことを学んでいただけるよう工夫しています。現在、200床の増床を予定して工事が進められており、将来ますますの発展も期待できます。

研修医には他大学出身者も多く、出身や年齢にかかわらず、和気あいあいと語り合い、助け合い、切磋琢磨しています。また、ほとんどの研修医はオン・オフの切り替えがうまくできており、のびのびと研修しています。

◎初期臨床研修修了後の進路◎

初期研修後も、毎年９割以上が当院での後期研修を選択しています。

平成29年度から開始される、新専門医制度に対応したプログラムを作成しているので、専門知識と技能を習得することができます。

また、当院では大学院医学研究科の専攻分野を開設しており、希望者は社会人大学院制度を利用して、勤務しながら大学院生として研究を行い、学位(医学博士)の取得も可能です。

研修責任者から

臨床研修センター長
上田　善彦

当院研修センターは、卒後研修が適正で充実した実り多いものとなり、”当院で研修をしてよかった”と実感していただける環境の提供に向けて日々努力しております。 当院は埼玉県東部地区に位置し、千葉県西部地区を併せて約180万人の基幹病院として地域医療の重要な役割を果たしております。

当院では、研修医の皆さんはもとより、各診療科の指導医の先生方、プログラム責任者の先生方からの提言をいただきながら毎年システムの改良、進化に取り組んでおります。研修医向けのカンファレンスもほぼ毎週実施されており、臨床各科の実践的な重要ポイントを分かりやすく解説していただいています。また、他大学の卒業生も多く、先生方との交流会などで研修医の先生方の問題点や疑問点の解決に努めております。

是非、あなたも獨協医科大学越谷病院で卒後研修を行ってみませんか。

先輩研修医から

研修医１年目
高鹿　泰昌

獨協医大越谷病院で研修する中で私が感じた、この病院の優れている点を述べると、まず、大学病院であるため、専門性の高い症例を多く診ることができ、さらに病床数が多いので、一般的によく診るような症例も多く診ることができる点で、広い範囲の症例を経験できます。救命救急センターは埼玉東部地区で唯一の三次救急施設であり、多くの印象深い症例を経験できました。

また、大学病院であるゆえに教育体制も整っています。勉強会も多く開催され、手技も積極的にさせてもらえるので知識や手技の取得には最適です。

ほかにも、どの診療科も先輩医師やスタッフはとても優しく、雰囲気がとても良いです。給料も良いため、値段の高い医学書を買うことに躊躇するような心配もなく、やる気次第でどこまでも力を付けることが可能なこの病院は、初期研修の二年間を費やすのに最適であると私は思います。

女性医師支援コーナー

当院では女性医師支援センターを設置しており、女性医師が働きやすい環境づくりを目指しています。学内外の女性医師、研究者同士との情報交換を通し、医師としてのキャリア継続に役立つよう努め、病院全体における男女共同参画の啓発活動にも力を注いでいます。隣接した保育所もあり、延長保育や、週３回24時間保育も実施しているので、育児をしながらでも安心して研修できます。

ほかに、初期研修修了後には育児短時間勤務制度が利用できます。専任教員やレジデント(後期研修)の身分を保有したまま、週20時間の短時間勤務が申請でき、各医局での柔軟な勤務が可能となります。また、保育所利用などを含め、勤務継続のための相談や、短時間勤務経験者からアドバイスをもらいたい場合、女性医師支援センターが窓口となり、先輩医師に取りつぐことも可能です。

(女性医師支援センターサイト：http://www.dokkyomed.ac.jp/jyoseiishi-k/index.html)

連絡先　獨協医科大学越谷病院

臨床研修センター　松島　稔

〒343-8555　越谷市南越谷2-1-50

TEL 048－965－7842(直通)　FAX 048－965－9356

E-mail k-kenshu@dokkyomed.ac.jp

URL http://www.dokkyomed.ac.jp/dep-k/kenshu/

アクセス ・ＪＲ武蔵野線　南越谷駅下車　徒歩３分
・東武スカイツリーライン　新越谷駅下車　徒歩３分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学のお申込み手順
1)左記ＵＲＬよりサイトへアクセス
2)専用の用紙をダウンロード
3)メール又はＦＡＸでお申込み
※見学は随時受け付けております。詳細はお問い合わせください。

●Facebookページ：
https://www.facebook.com/dokkyo.k.kenshu/

30 自治医科大学 附属さいたま医療センター

病院の概要

●**病床数**　608床

●**医師数(研修医を除く)**　260名(うち指導医数　55名)

●**研修医数**　1年目　22名　2年目　26名

●**研修医の主な出身大学**　日本大学・日本医科大学・帝京大学・筑波大学・昭和大学・東京医科大学・埼玉医科大学・獨協医科大学・群馬大学・新潟大学・大分大学・自治医科大学

●**診療科**　内科　循環器科　小児科　精神科　病理診断科　外科　心臓血管外科　脳神経外科　整形外科　泌尿器科　眼科　耳鼻咽喉科　産婦人科　皮膚科　リハビリテーション科　麻酔科　放射線科　歯科口腔外科　救急科

●**1日平均外来患者数**　1329名　●**1日平均入院患者数**　479名

●**主な認定施設**　労災指定病院、災害拠点病院、エイズ拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター

研修プログラムの特色

「患者にとって最善の医療を目指す総合医療」と「高度先進医療を目指す専門医療」の一体化とその実践を目標としています。これまでもスーパーローテーションに近い多科研修を行ってきましたが、研修が義務化された2004年度以降においても従来の経験を活かし、且つ厚生労働省の基準案に従ったスーパーローテート方式による臨床研修を行い、これによって幅広い医学知識と技能を有し、深い人間性に基づいた優れた臨床能力を発揮できる医師を養成しています。

当センターは幸い多くの患者様に信頼されており、その診療を通して幅広い豊富な臨床経験を積むことができ、且つ総合的な視野に立った医師を養成することが可能です。日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身に付けるとともに、医師としての人格を涵養することを目指してプログラムを設定しています。

プログラム 例

一般プログラム（募集定員 22 人）内科系志望者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科1			内科2			内科3		救急			産婦人科
2年目	地域医療	外科		麻酔科		小児科		内科4		選択		

※自由選択(精神科、臨床検査部、放射線科、CCU、ICU、各診療科など)

その他　小児科プログラム（募集定員２人）　産婦人科プログラム（募集定員２人）　ホスピタリスト重視プログラム（募集定員２人）

研修医の処遇

給　与▶約390万円／年（宿日直手当、期末手当含む）
諸手当▶地域手当、医師手当、宿日直手当、期末手当
保　険▶日本私立学校振興・共済事業団（健康保険・年金）、雇用保険、労災保険
勤務時間▶8時30分～17時15分
当　直▶あり（約３回／月）
休　暇▶２日／週、有給休暇（約30回／年）
宿　舎▶あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

・自治医科大学附属病院
・さいたま市民医療センター
・埼玉県立精神医療センター
・埼玉精神神経センター
・南魚沼市民病院
・秩父市立病院
・国保町立小鹿野中央病院

当院のキーワード

●レジデントのある１日

６：30　病院着
８：00　モーニングカンファレンス
９：00　病棟業務（処置当番・患者診療・検査等）
12：00　職員食堂での昼食　→→→→
13：00　病棟業務
14：00　病棟教授回診
15：00　処方・検査オーダー・カルテ記載・上級医とのディスカッションなど
16：00　総合回診（毎週水曜日）　→→→→→→→→→→→→
17：00　患者診察・カルテ記載・ディスカッション、担当患者のサマリー記載、プレゼン準備、その他

Fujimoto教授（米国ワシントン州立大学内科名誉教授）が年６回来日し、２週間の滞在中、昼休みに、英語で実施されるEBMを重視した臨床推論のカンファレンスが行われます。また、レジデントとマンツーマンのClinicalClerkshipが適宜行われます。

総合回診はレジデントがケース・プレゼンテーションを行い、臨床推論を重視して参加者との双方向性の討論がなされます。１症例に30分をかけて、プロブレムリスト、鑑別診断、必要な検査を検討した後、Q&A方式の考察が発表されます。

＊初期研修医はシミュレーションセンターにて実地臨床開始前トレーニングを行っています。機器の貸出も可能であり、レジデントにとって有意義な実習となっています。

研修責任者から

卒後臨床研修室長
加計　正文

自治医科大学附属さいたま医療センターは開院以来、総合医養成を主眼としたプログラムを全国でもいち早く取り入れて今日まで来ました。研修指導は屋根瓦方式を遵守することで軽微な内容から高度な指導まで可能となるきめ細やかな指導体制をとっています。厚生労働省が提唱する初期臨床研修期間中に経験すべき症例は無論のこと研修医が希望する研修内容を個別に取り入れ柔軟に対応できるプログラムを用意していますので充実した臨床研修ができます。

当センターの初期研修医は全国から集まっているのが特徴ですが、様々な情報を各研修医間で共有でき、研修プログラムの改善へ向けての卒後臨床研修室との意見交換を通じて常に研修内容の改訂を検討しています。また、指導医の陣容に関しても豊富な経験と業績を持つ教授・准教授スタッフなどの教職員が揃っており、皆さんの研修を支援します。

先輩研修医から

ジュニアレジデント
岩谷　綾香

当センターは「大学の附属病院と市中病院との中間」と表現されることが多く、研修医が学ぶべきCommon Diseaseを経験することはもちろんですが、学術的な珍しい症例に出会うことも少なくありません。研修医のうちから症例発表なども経験します。また、日常的にカンファレンスや勉強会の機会が多く設けられていることも特徴的です。講義は薬剤師や技師など他職種から指導していただくものもあります。多くの科がチーム制で丁寧で密な指導を受けることができます。

また、年間を通して救急部での当直があり、そこでは1年目・2年目の研修医がチームを組んで診療に当たります。もちろん、すぐ判断を仰げる位置にシニア・救急部医師が待機しているため、何かあれば相談できます。非常に指導体制のしっかりした研修病院だと思います。

女性医師支援コーナー

次世代を担う医師のキャリア形成が出産・育児等により中断されることがないよう就業継続のための短時間勤務制度があります。全職員対象の育児短時間勤務（所定勤務時間内において30分単位で2時間まで勤務時間を短縮）と、医師対象の短時間勤務（週20時間勤務。午前・午後をそれぞれ4時間とし、週20時間になるよう組合せ）があります。現在までに延べ27名の女性医師が短時間勤務制度を利用しています。また、職員の子の育児を支援するため、院内保育所、病児保育所を設けています。さらに、育児中は（申請により）当直を免除するなど配慮しています。

連絡先　自治医科大学附属さいたま医療センター
卒後臨床研修室
〒330-8503　さいたま市大宮区天沼町1-847
TEL 048－648－5225（直通）　FAX 048－648－5166
E-mail rinshoukenshu2@omiya.jichi.ac.jp
URL http://www.jichi.ac.jp/center/sotsugo/index.html
アクセス JR大宮駅東口からバスで約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●レジナビフェアに出展予定です。
●研修内容説明会を開催しています（７・８月）。
●病院見学は随時受け付けています。
当センターホームページ（卒後臨床研修室のページ）を御覧ください。

31 北里大学メディカルセンター

病院の概要

●**病床数**　372床
●**医師数(研修医を除く)**　74名(うち指導医数　17名)
●**研修医数**　1年目　5名　2年目　0名
●**研修医の主な出身大学**　北里大学
●**診療科**　神経内科　呼吸器内科　消化器内科　循環器内科
腎臓内科　内分泌・代謝内科　膠原病・感染内科　血液内科　精神科　小児科　外科
消化器外科　呼吸器外科　乳腺外科　整形外科　形成外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科
耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　麻酔科　内視鏡科　救急科　総合内科　病理診断科
●**1日平均外来患者数**　749名　●**1日平均入院患者数**　243名
●**主な認定施設**　災害拠点病院、埼玉DMAT・埼玉SMART(特別機動援助隊)指定病院、日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院　など

研修プログラムの特色

臨床研修医が２年間に習得する必要のある「臨床研修の到達目標」を満たすとともに、各診療科の臨床研修の到達目標を定め研修医による自己評価と指導医による評価を行い、適切、且つ、良質な研修を提供できるよう配慮しています。また、少人数制による密度の高い指導体制を敷いています。

専門分化した医療技術を習得する前段階として、全人的な初期治療のできる臨床医を育成することを目標としており、特にプライマリ・ケアに重きを置き、救急医療疾患に広く対処できるような医師を目指します。また、法人の取り組みとしてのチーム医療教育ができるプログラムです。

１年次は、内科、麻酔科、救急科及び選択必修科目(外科、産婦人科、小児科、精神科のうち１科目)。２年次は、総合内科系コース又は外科系コースの２コースからの選択となり、両コースとも自由選択枠があり、将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自で組み立てることができます。

プログラム　例　総合コースプログラム（募集定員５人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内　科						救急科			麻酔科		選択必修
2年目(総合内科系コース)	内　科					自由選択						地域医療
2年目(外科系コース)	外　科					自由選択					救急科	地域医療

《１年次》　内科6か月、麻酔科2か月、救急外来3か月、選択必修1か月(外科、産婦人科、小児科、精神科のうち１科目を選択)
《２年次》　総合内科系コース又は外科系コースから選択。
①総合内科系コース　内科5か月、地域医療1か月、自由選択6か月
②外科系コース　外科5か月、救急科1か月(東京ベイ浦安市川医療センター)、地域医療1か月、自由選択5か月
両コース共に自由選択枠については、当院を含め北里大学病院、北里大学東病院、北里大学北里研究所病院及び東京ベイ浦安市川医療センターの各診療科おいて原則として１か月単位で選択し協力病院との調整により決定します。将来の専攻等を考慮し診療科及び研修先を各自選択することができます。

研修医の処遇

給　与▶１年次：約29万円／月　２年次：約34万円／月
賞与（1年次：20万円　２年次：40万円）
諸手当▶住宅手当、宿日直手当、救急手当など
保　険▶私学共済保険、私学共済年金、労災保険、雇用保険
勤務時間▶8時30分～17時
当　直▶あり（４回程度／月）
休　暇▶1～2日／週、有給休暇（１年次：12日　２年次：16日）
宿　舎▶あり（病院敷地内）

主な臨床研修協力病院・協力施設

・北里大学病院
・北里大学東病院
・北里大学 北里研究所病院
・埼玉県済生会鴻巣病院
・東京ベイ・浦安市川医療センター
・渡辺医院
・サンビレッジクリニック鴻巣

当院のキーワード

スキルアップ支援

当院では医師を中心に様々なメディカルスタッフの協力により、研修医のスキルアップに重要な勉強会を多数開催しています。不安な手技は上級医師が直接指導します。

例）輸液療法・ルート・ポンプの扱い方（主催：看護部）
日本肝癌研究会提唱の肝細胞癌診断アルゴリズム（主催：放射線部）
コミュニケーション＆ストレス対策セミナー（主催：麻酔科部長）
血液像の読み方（主催：検査部）
抗菌療法のＡＢＣ（感染対策室）・・・などなど

２か月に1回、研修医・臨床研修センターのスタッフにて研修医ミーティングを行っています。研修プログラムの内容、研修生活で気付いたことなどを相談・報告し合う機会としています。

上級医には聞けない疑問や不安に思ってる手技等について話し合い、一緒に改善できる方法を検討していきます。

堅苦しくなく、気楽に話せる場としています。

研修責任者から

副院長（教育・キャリア支援担当）、臨床研修センター長
坂東　由紀

当院のプログラムでは、地域医療機関との連携の下、プライマリ・ケアを中心に初期研修を行っています。また、北里グループとして高度先進医療を提供する北里大学病院、回復期・緩和医療の北里大学東病院、都市型市中病院・予防医学の北里研究所病院と研修医の様々なニーズに応えるべく、協力体制を整えております。

チーム医療の推進も行っており、院内の様々なチームによって、患者の皆様の目線に立った医療を行っております。指導体制も指導医だけではなく看護師をはじめメディカルスタッフ、事務など、多くのスタッフで皆様の研修をサポートしています。

もちろん初期だけではなく後期研修やその先まで含めた医師としてのキャリアを目指すことができます。

先輩研修医から

研修医１年目
鈴木　沙由美

当院は、大学病院の専門性を兼ね備えた地域医療支援病院であり、Common Diseaseから専門性の高い病気まで幅広い症例を経験することができます。救急は一・二次であり、軽症から重症まで様々な症例が埼玉圏央地区の各地から来ます。先生方との距離が近く、研修中の科はもちろん、様々な科の先生から御指導いただけます。generalな臨床能力を身に付けたい方には最適な環境と考えます。二年次は、北里大学病院で研修できるなど、研修医の数が少ない分、個々のニーズに合わせたプログラムでの研修が可能です。

豊かな緑と絵のある環境の中、メディカルスタッフ含め、教育熱心で心優しいスタッフがお待ちしております！

是非一緒に働きませんか！！

女性医師支援コーナー

※短時間勤務制度あり
※保育園「オレンジハウス」

豊かな自然環境を背景に自由保育思想を取り入れ、のびのびと子供の個性を育む保育園「オレンジハウス」。

子供の成長に合わせた教育システムや多彩な年間行事も充実。仕事と家庭生活の両立を図る当院スタッフの力強い支えとなっています。

夜勤の仕事に携わる職員の要請に応じ、週2回の夜間保育も実施。安心して仕事が継続できるよう、バックアップ体制も万全です。

連絡先　北里大学メディカルセンター
教務課
〒364-8501　北本市荒井6-100
TEL 048－593－1212（代表）　FAX 048－593-1239
E-mail k-rinsho@kitasato-u.ac.jp
URL http://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/
アクセス JR高崎線北本駅からバス約10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学　随時受付中です。
お気軽に御連絡ください。

32 埼玉医科大学病院

病院の概要

●**病床数**　816床
●**医師数(研修医を除く)**　345名(うち指導医数　105名)
●**研修医数**　1年目　21名　2年目　29名
●**研修医の主な出身大学**　埼玉医科大学・聖マリアンナ医科大学・川崎医科大学・長崎大学・帝京大学・佐賀大学・東京医科大学・日本大学
●**診療科**　血液内科　リウマチ膠原病科　呼吸器内科　消化器内科・肝臓内科　内分泌内科・糖尿病内科　神経内科・脳卒中内科　腎臓内科　総合診療内科　感染症科・感染制御科　消化器・一般外科　乳腺腫瘍科　小児外科　麻酔科　小児科　新生児科　産科・婦人科　整形外科・脊椎外科　眼科　耳鼻咽喉科　神経耳科　皮膚科　脳神経外科　形成外科・美容外科　泌尿器科　リハビリテーション科　神経精神科・心療内科　放射線科　放射線腫瘍科　核医学診療科　中央病理診断部　輸血・細胞移植部　健康管理センター　東洋医学診療科　歯科・口腔外科　急患センター(ER)　呼吸器外科
●**1日平均外来患者数**　1843.8名　●**1日平均入院患者数**　751.2名
●**主な認定施設**　日本医療機能評価機構認定病院、特定機能病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ診療拠点病院

研修プログラムの特色

3病院自由選択プログラムは、ローテーションする診療科について“自由度が高く、研修医の希望を最大限に取り入れる”当院で最も人気のあるプログラムです。本学の違った特色を持つ3つの大学病院(総ベッド数2,500)の診療科で自由に研修を行うことができる、オーダーメードプログラムです。

研究マインド育成自由選択プログラムは、3病院自由選択プログラムと臨床研修内容は一緒ですが、研修を行うと同時に大学院に入学することが可能で、研修を行いながら、大学院生としての講義、研究を行う充実したプログラムです。

総合医育成広域連携病院自由選択プログラムは、総合医を目指す研修医に適したプログラムです。バランス良く診療科を経験でき、プライマリ・ケア医としての対応能力に優れた“総合医”の育成を目指します。

周産期・成育医療専門医自由選択プログラムは、将来周産期医療・成育医療を専攻する希望のある研修医を対象に、自由選択期間を最大限に活用した特別プログラムです。将来の専門医取得にも有利な、より専門的な内容まで踏み込んだ指導を行います。

外科系プログラムは、外科専門医取得に重点をおき、消化器外科は必須として心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科での研修を選択できるプログラムです。今後の専門医に向けた後期研修にスムーズに移行できるプログラムを目指しています。

プログラム 例　埼玉医科大学　3病院自由選択プログラム（募集定員35人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	導入研修	内科研修（6か月）						救急研修（3か月）			選択必修研修（2か月）	
2年目	地域医療研修	自由選択研修（11か月）										

＊1年目　必修研修として内科6か月間、救急部門3か月間、選択必修研修(外科、産婦人科、小児科、精神科、麻酔科のうち2診療科を選択し各々1か月間)
＊2年目　地域医療研修1か月間、それ以外11か月間は自由選択研修(最終月3月は埼玉医科大学病院において研修)

その他　**埼玉医科大学　研究マインド育成自由選択プログラム（募集定員6人）**
埼玉医科大学　総合医育成広域連携病院自由選択プログラム（募集定員7人）
埼玉医科大学　周産期・成育医療専門医自由選択プログラム（募集定員4人）
埼玉医科大学病院　外科系プログラム（募集定員3人）

研修医の処遇

給　与▶約25万円／月
諸手当▶日当直手当
保　険▶公的医療保険、公的年金、労災保険、雇用保険
勤務時間▶8時30分～17時30分
当　直▶あり　4回／月（診療科により、多少異なります）
休　暇▶原則、1月9休制の1か月単位の変形労働制
有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶あり
その他▶白衣貸与（クリーニングは病院負担）、研修医個人専用の机、ロッカー、シャワールーム、当直室完備、電カル、共用PC（インターネット接続可能）

主な臨床研修協力病院・協力施設

・長崎県4施設
・北海道2施設
・新潟病院
・たむら記念病院(千葉県)
・越生メディカルクリニック
・岡村記念クリニック
・小川産婦人科・小児科
・新渡戸記念中野総合病院(東京都)
・丸木記念福祉メディカルセンター
・シャローム病院

当院のキーワード

埼玉医科大学病院の特徴

埼玉医科大学病院は埼玉県の西部を中心とした地域の医療を担っていると同時に、特定機能病院として埼玉県全域の医療も担当しています。埼玉県は東京都に隣接しており、人口も725万人を数え首都圏に位置します。埼玉北西部全域を医療圏としており、多くの患者さんが来院されます。大学病院の専門性の高い疾患からプライマリ・ケアまで、多くの疾患を経験できるという特徴があります。埼玉医科大学には新しい専門医制度にマッチした総合診療内科も充実しており、アイセンター、難病外来等特徴ある診療科も充実しています。またスキルスラボや臨床研修医のための施設も充実しており、より良い環境豊かな自然と1時間で東京に行けるアクセスの良さで研修が可能です。

大学病院3病院で2500床、さらに3病院の連携の良さは皆さんに最高の研修環境を提供いたします。皆さんは、この3病院から自分の目的にあった診療科での研修を組むことができます。また、セキュリティー完備の研修センター、そこには研修医専用のデスク、ロッカー、当直室、シャワールーム等が完備されています。熱心な指導医と臨床研修センターも自慢です。

研修責任者から

研修管理責任者
中元 秀友

研修医諸君！埼玉医科大学病院は君たちを待っています！

初期研修の目的は「患者さんを全人的に診療するための基本的な能力を身に付け、プライマリ・ケアに対応できる総合診療能力を養う」ことにあります。初期臨床研修に携わる2年間は将来の臨床医としての能力を左右する、最も重要な期間です。

埼玉医科大学病院は、地域に根ざした重要な基幹病院であり、たくさんの患者さんが来院されます。また大学病院として、最先端の医療を実践しています。そしてたくさんの指導医が、熱心に研修医諸君の臨床研修、研究等に協力してくれます。豊富な症例と熱心な指導医の下、充実した臨床研修ができることを保証します。確実に実力が付く研修施設なのです。また緑あふれる自然と一時間で東京に行けるアクセスの良さは、最高の研修環境を提供してくれます。セキュリティー完備の研修センターには研修医の皆さんに専用のデスク、ロッカー、当直室、シャワールーム等が完備されています。是非とも一度見学に来てください。お待ちしております。

先輩研修医から

研修医２年目
内田 覚央

まず環境がいい！人口の多い埼玉県全域から患者様が集まることを考えると、ごく稀な症例含めこれだけ症例数が多い病院はそうないと思います。埼玉医大グループの大きな病院3つのどの科でも研修できるので自由度も高いですし、地域研修で九州に行くこともできます。手技もたくさんやらせていただけます！！休みはしっかり保証されていますのでご心配なく。立地ですが、少し移動すれば川、山など自然に溢れ、都内へは電車で1時間と、そんなに遠くはないと思います。そのような都会に近い自然溢れる環境で休日は同期と自然を楽しむのも良し！都内に遊びに行くも良し！平日は面倒見の良い先生方とたくさんの患者様についてゆっくり勉強できる！というのが埼玉医大の魅力ではないでしょうか？元気な研修医の方々、一緒に勉強しましょう！！一緒に遊びましょう！お待ちしています！！

女性医師支援コーナー

埼玉医科大学病院では院内保育園を設置しており、医師が短時間勤務で正規雇用と同等の処遇で働ける制度があります。また、女性医師支援部門では女性医師に関する情報提供、アンケートの実施、シンポジウム開催等の活動を行っています。さらに、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報を提供し、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で、女性医師就業継続支援窓口を設け各病院に担当者を配置しており、女性サポートに関する相談であれば、男性の相談も受け付けています。

連絡先 埼玉医科大学病院

臨床研修センター事務室

〒350-0495　入間郡毛呂山町毛呂本郷38

TEL 049－276－1862（直通）　FAX 049－276－2149

E-mail kenshui@saitama-med.ac.jp

URL http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html

アクセス JR八高線毛呂駅から徒歩3分
東武越生線東毛呂駅から徒歩20分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●オープンホスピタル

●病院見学（随時受付）
当院ホームページに掲載の見学申込書をダウンロードの上、必要事項を記入し、見学希望日２週間前までに臨床研修センター事務室へE-mail（添付）又は郵送でお申し込みください。

33 埼玉医科大学総合医療センター

病院の概要

●**病床数**　991床
●**医師数(研修医を除く)**　381名(うち指導医数　113名)
●**研修医数**　1年目　25名　2年目　24名
●**研修医の主な出身大学**　埼玉医科大学・帝京大学・信州大学・川崎医科大学・日本大学
●**診療科**　消化器・肝臓内科　内分泌・糖尿病内科　血液内科　リウマチ・膠原病内科　心臓内科　呼吸器内科　腎・高血圧内科　神経内科　神経精神科　小児科　新生児科　消化管外科・一般外科　肝胆膵外科・小児外科　血管外科　ブレストケア科　呼吸器外科　心臓血管外科　整形外科　形成外科・美容外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　産科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　歯科口腔外科　麻酔科　産科麻酔科　高度救命救急センター　救急科(ER)　輸血・細胞治療部　病理部
●**1日平均外来患者数**　2172.8名　●**1日平均入院患者数**　867名
●**主な認定施設**　高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉DMAT指定病院、がん診療連携拠点病院、臨床修練指定病院

研修プログラムの特色

当院には、内科領域の研修を重視した『総合内科系プログラム』、小児科・産婦人科等での研修を重視した『周産期成育プログラム』、外科領域と救急医療の研修を重視した『総合外科系プログラム』、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる『埼玉医科大学3病院自由選択プログラム』、臨床研修と大学院コースを同時に学べる『研究マインド育成自由選択プログラム』があります。

4月の導入研修(オリエンテーションを含む)では、内科病棟を中心に診療に必要な基本的姿勢、手技を身に付けます。内科・救急研修では、時間外外来を経験し、一次から三次まで幅広く救急医療に従事することでプライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。地域医療研修では全プログラムで沖縄県での研修を選択することができます。また、2年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。

毎月1回のCPCの他に、毎月2回ランチョンセミナーを開催し、必修項目に関連した講義を行っています。

プログラム 例　総合内科系プログラム（募集定員６人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	導入	内　科								選択必修		内科
2年目	内　科		救　急		麻酔科		地域医療	自由選択			調整月	自由選択

＊【必修】内科11か月(うち3か月は協力型病院で研修可)、救急2か月(当直を1か月相当として合計3か月)、地域医療1か月
【選択必修】麻酔科2か月及び外科、産婦人科、小児科、精神科のうち2科以上
【自由選択】5か月(5か月のうち1か月を調整月とし、2週間単位で研修可)

その他　周産期成育プログラム（募集定員８人）　総合外科系プログラム（募集定員６人）
埼玉医科大学３病院自由選択プログラム（募集定員 36 人）　研究マインド自由選択プログラム（募集定員４人）

研修医の処遇

給　与▶基本給25万円／月
諸手当▶宿日直手当
保　険▶日本私立学校振興・共済事業団
勤務時間▶8時30分～17時30分
当　直▶あり（平均4回／月）
休　暇▶9日／月、有給休暇（10日／年）
宿　舎▶あり（2万円／月）

主な臨床研修協力病院・協力施設

・埼玉医科大学病院
・埼玉医科大学国際医療センター
・沖縄県立北部病院(附属診療所含む)
・沖縄県立宮古病院(附属診療所含む)
・秩父病院
・恵愛病院
・康正会病院　など

当院のキーワード

大学病院から離島まで

平成27年7月に管理棟が完成し、2階に研修医用フロアが整備されました！
約400平方メートルの広い研修医室に個人用デスクを用意しています！
もちろん、当直室や更衣室も完備しています。
同じ建物の1階には「健康レストラン鴨田」「KEY' S CAFE」「ローソン」があります。
「ローソン」は24時間営業ですので、当直時でも困ることはありません。

地域医療研修では、沖縄県立北部病院（同附属診療所）、宮古病院（同附属診療所）での研修を2か月間選択することができます。（往復の交通費及び宿泊費（上限あり）の補助があります。）

実際に研修した先生方からは、大学病院とは大きく異なる環境で研修することで、とても勉強になったと好評を得ています。

研修責任者から

副院長、研修管理委員長
屋嘉比 康治

当院の初期臨床研修では、地域医療に有用な幅広い臨床能力を持つ臨床医の育成を目指しています。救急外来を指導医とともに担当し、実践の中で初期対応を習得してもらいます。さらに地域医療研修中には離島診療を体験してもらい、スタッフや施設の揃わない状況の中で医師として何が必要かを学んでもらいたいと考えています。

研修内容については、できるだけ実臨床に役立つ代表的な疾患や症状に集約し、学んだことが拡散せず、身に付いていくような目標設定としました。これらの研修を通じて、全ての研修医が地域医療を担える臨床医へ育つことを期待しています。

先輩研修医から

研修医２年目

私も学生のときは、皆さんと同じように、研修先についてたくさん悩みました。色々な病院を見学しに行ったり、先輩に話を聴きに行ったり・・・。そんな中で気付いたのは「病院の施設とプログラム」と同じぐらい「自分のやる気」が大切なのだということでした。

当院は、指導熱心なドクターが多く、私たちの「やる気」を十二分に発揮させてくれる環境が整っていると思います。皆さんと一緒に、楽しくも充実した研修生活を送ることができる日を研修医一同楽しみに待っています。

女性医師支援コーナー

- 院内保育所の設置
- 非常勤Ⅰ類制度（短時間勤務）
- 女性医師就業継続支援窓口（医療人育成支援センター女性医師部門）

連絡先 埼玉医科大学総合医療センター
臨床研修センター
〒350-8550　川越市鴨田1981
TEL 049－228－3802（直通）　FAX 049－228－3802
E-mail kensi@saitama-med.ac.jp
URL http://www.saitama-med.ac.jp/kawagoe/kensyui/index.html
アクセス 東武東上線、JR川越線　川越駅からバス25分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時受け付けています。
●当院ホームページに掲載の申込書に入力し、メールに添付してお申し込みください。

34 埼玉医科大学国際医療センター

病院の概要

●**病床数**　700床
●**医師数(研修医を除く)**　283名(うち指導医数　88名)
●**研修医数**　1年目　9名　2年目　1名
●**研修医の主な出身大学**　埼玉医科大学・香川大学
●**診療科**　脳脊髄腫瘍科　小児腫瘍科　小児外科　造血器腫瘍科　婦人科腫瘍科　泌尿器腫瘍科
乳腺腫瘍科　皮膚腫瘍科　骨軟部組織腫瘍科　頭頸部腫瘍科　形成外科
原発不明・希少がん科　緩和医療科　精神腫瘍科　放射線腫瘍科　病理診断科
消化器内科　消化器外科　呼吸器内科　呼吸器外科　心臓内科　不整脈科　心臓血管外科　小児心臓外科　小児心臓科
心臓リハビリテーション科　救命救急科　総合診療・地域医療科　脳卒中内科　脳卒中外科　脳血管内治療科　小児救急科
画像診断科　核医学科　運動・呼吸器リハビリテーション科　麻酔科　集中治療科
●**1日平均外来患者数**　689.7名　●**1日平均入院患者数**　644.2名
●**主な認定施設**　日本内科学会認定教育施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本脳神経外科学会専門医認定制度に基づいた研修プログラム認定、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本麻酔科学会医療法に基づく麻酔科標榜のための研修施設である麻酔科認定病院、日本医学放射線学会放射線科専門医総合修練機関　など

研修プログラムの特色

当院は、埼玉医科大学の3つの病院が近いことを活かし、将来、ジェネラルとしても、エキスパートとしても医療現場で活躍できるプログラムを作成いたしました。
◇3病院自由選択プログラム(定員9人)は本学3病院の全ての診療科を研修医が自由に選択することができる、もっとも自由度が高いプログラムです。
◇専門プログラム(定員2人)は早期の専門医養成コースという位置づけで作成し、早い段階から、がんや心臓、脳卒中などのエキスパートを希望される方に向いたプログラムです。
◇研究マインド育成自由選択プログラム(定員2人)は臨床研修と大学院を同時期に学べるプログラムで、研修開始時には大学院の入学試験に合格しておく必要があります。
◇特設外科系プログラム(定員3人)は多彩な症例を通じて多くの手技を経験し、適切な判断ができる外科系医師を育成することを第1目標とするプログラムです。

プログラム 例　埼玉医科大学３病院自由選択プログラム（募集定員９人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	導入研修	内　科						救　急			選択必修	
2年目	地域医療	自由選択									調整月	自由選択

●導入研修：1年目の4月にオリエンテーションを兼ねて当院で行う。
●選択必修：外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科より2科を選択して1か月ずつ計2か月間研修を行う。
●自由選択：本学3病院及び研修協力施設より選択できる。(最終月除く)
●調 整 月：到達目標を達成するために充てる。(原則12月～翌年2月のうちの1か月間)
●地域医療：1か月を週単位にて4週に分け、最大4施設、最小1施設を選択することができる。
●2年間を通じて、本学3病院を自由に選択することが可能であるが、8か月間以上を当院で研修することとする。

その他　**埼玉医科大学国際医療センター専門プログラム（募集定員２人）**
埼玉医科大学国際医療センター研究マインド育成自由選択プログラム（募集定員２人）
埼玉医科大学国際医療センター特設外科系プログラム（募集定員３人）

研修医の処遇

給　与▶約25万円／月
諸手当▶日当直手当
保　険▶健康保険：日本私立学校振興・共済事業団、年金：日本私立学校振興・共済事業団、雇用保険：加入、労災保険：加入、医師賠償保険：個人加入
勤務時間▶8時30分～17時30分
当　直▶あり（4回／月）
休　暇▶9日／月（変形労働時間制）、有給休暇（1年次：10日　2年次：11日）
宿　舎▶あり（2万円／月、光熱水費、リネンサービス込）
その他▶白衣貸与（クリーニングは病院負担）

主な臨床研修協力病院・協力施設

・埼玉医科大学病院
・埼玉医科大学総合医療センター
・宮古島徳洲会病院
・坂戸中央病院
・秩父病院
・原田病院
・小川産婦人科・小児科
・シャローム病院
・埼玉県赤十字血液センター
・埼玉県内保健所　　など

当院のキーワード

当院での研修の魅力

魅力１：症例の質・量ともに抜群の研修環境

大学病院のメリットと地域医療を担う病院のメリットの両方を受けながら、充実した指導陣、協力的なコメディカルスタッフなど、内科研修にとって大切な環境が揃っている中で研修ができます。

魅力２：国内屈指のスペシャリスト集団

早い時期から多くの手術、多彩な手技が経験でき、適切な判断のできる外科医の育成を、病院全体として目指しています。専門医取得まで初期、後期一貫教育を行い、広い見識を得るための幅広いローテーションが可能です。

魅力３：全ての救急を短期間で効率よく診ることができる

初期、二次、三次、そして集中治療室まで全ての救急を網羅している医療機関は限られています。あらゆる救急を短期間で効率よく診ることができ、その経験と知識は今後の大きな糧となるはずです。

内科、外科共に日本最大の症例数があり、世界に引けを取らない最先端医療が整っていることは最大のアピールポイントです！

研修責任者から

研修管理委員長
棚橋 紀夫

当院では、初期研修医とその後の後期研修医(シニアレジデント) のどちらもお引き受けし、日々の救急疾患をはじめ、がん、心臓病、脳卒中のすべてをお世話しております。

将来スーパードクターを目指す人、親の後を継いで開業を考えている人、臨床のみならず研究面でも活躍したい人、症例の多い病院でとにかくたくさんの経験を積みたい人、学位取得を希望される人にはお勧めの病院です。

それぞれの診療科が非常に高い専門性を持って最先端の医療を展開しているのが当院の特徴です。各診療科にはきっと皆さんが目指したいと思う先生がいることでしょう。知識や経験はこれからですのでやる気と元気のある若い先生を歓迎します。そして来ていただいたからにはみんなで一生懸命指導させていただくことをお約束します。

先輩研修医から

初期研修医１年目
北川 舞

初期研修が始まり1年が過ぎようとしています。日々充実した研修をさせていただいていると実感しています。

各診療科では、直属の上級医だけでなく、教授に至る多くの先生方が教育的な指導をしてくださいます。このような指導体制の中で『診療における正しい思考のプロセス』を学んでいるように感じています。

また、研修医向けの勉強会など、教育熱心な雰囲気に包まれており、日常の診療のみでなく、学会などアカデミックな場面に触れる機会も多くいただいています。

普段の研修生活では同期で和気あいあいと過ごしています。出身校の分け隔てもなく、お互いに切磋琢磨していく雰囲気が当院にはあると思います。

女性医師支援コーナー

医師としてのキャリアを重ねていく時期に出産や育児が重なるとその両立は容易ではありません。

当院は、両立ができるように育児期間中等に深夜勤務の免除や短時間勤務などの制度もあり、働きやすい環境を整備しています。

また、敷地内に整備されている託児所にお子さんを預けながら、臨床業務や研究に集中して取り組むことが可能です。

さらに、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で女性医師就業継続支援窓口(医療人育成支援センター内)を設け、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報等の提供を行っています。

連絡先 埼玉医科大学国際医療センター
臨床研修センター
〒350-1298　日高市山根1397-1
TEL 042－984－0079(直通)　FAX 042－984－0594
E-mail imckensh@saitama-med.ac.jp
URL http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/kenshu/
アクセス ＪＲ川越線・八高線　高麗川駅(路線バス約10分)
東武越生線　東毛呂駅(路線バス約15分)

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学について

見学は随時可能です。

当院所定の見学申込書に必要事項を記入して、原則、見学希望日の2週間前までに臨床研修センターへE-mailで申し込んでください。見学希望日2週間前を過ぎた場合は、臨床研修センターへ御相談ください。

埼玉県総合医局機構

平成25年12月に創設された埼玉県総合医局機構は、「医師の確保・派遣」と「医師の支援」を二本柱として、県医師会や県内の医療機関等と一体となって総合的な取組を行うことにより県内全域の医療水準の向上を目指しています。

●「医師の確保・派遣」のための取組

「医師バンク」事業　～県内100以上の医療機関が登録しています！～

埼玉県内の病院での勤務を希望する医師（指導医等）の方を、医師を募集している埼玉県内の病院・診療所に紹介し、医師と医療機関の出会いの機会をサポートしています。

「臨床・後期研修医研修資金」貸与事業
～産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す研修医の皆さんを支援！～

産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す方へ資金を貸与 → 埼玉県の病院で医師として勤務 → 貸与された資金の返還が免除!!

	臨床研修医研修資金	後期研修医研修資金
対象者	埼玉県内の 臨床研修病院の臨床研修医	埼玉県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターにおいて、産科、小児科又は救急医療に係る後期研修を受講している後期研修医
貸与金額	月額10万円以内	月額20万円以内
貸与期間	2年以内	3年以内
返還免除条件	埼玉県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで貸与期間の1.5倍勤務すること	

【例】・臨床研修医研修資金

臨床研修		後期研修			勤　務		
1年次	2年次	1年次	2年次	3年次	1年目	2年目	3年目
研修資金240万円貸与		返還猶予			県内の病院に3年間勤務		

返還免除!

・後期研修医研修資金

後期研修			勤　務			
1年次	2年次	3年次	1年目	2年目	3年目	4年目
研修資金720万円貸与			県内の病院に4年6か月間勤務			

返還免除!

「交流会」事業　～埼玉県内での病院勤務に関心のある医学生はどなたでも参加できます！～

医学生と県内医療関係者（病院長、若手医師、女性医師等）が交流する機会を提供するため、「埼玉県総合医局機構交流会」を開催しています。

県内の医療現場の現状や勤務する魅力などについて意見交換します！

●「医師の支援」のための取組

「女性医師の支援」事業　～埼玉県の女性医師を応援！～

埼玉県女性医師支援センターを運営し、女性医師等が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。
また、復職研修を実施した病院や短時間勤務等のために代替医師の雇用等を行った病院に経費を助成しています。

埼玉県女性医師支援センター

▶**相 談 窓 口**（受付時間　平日9:00～17:00）
埼玉県さいたま市浦和区仲町3-5-1 県民健康センター内

▶**電話相談窓口**（受付時間　平日9:00～17:00）
TEL**048-815-7115**　FAX**048-815-7175**

▶**電子メール** info@saitama-joi.jp

「医師のキャリアアッププログラムの作成」事業　～ローテーションしながらキャリアアップ！～

医師としてキャリアアップを図るため、平成29年度からスタートする新専門医制度での資格取得を目指す皆さんに、埼玉県総合医局機構が県内の様々な医療機関と連携を図り、後期研修のコーディネートを行います。

～専門医資格取得プラン～

臨床研修（卒後1～2年）	後期研修・基本領域（卒後3年～）	後期研修 サブスペシャルティ領域（基本領域専門医取得後）
臨床研修病院（県内34）	認定研修施設群（大学病院等）	認定研修施設群（大学病院等）

サブスペシャルティ領域の無い診療科もあります。

専門医は2段階制
基本領域の専門医を取得した後、サブスペシャルティの専門医を取得することになるんだよ!

29領域（日本専門医機構認定　H27. 12.1現在）

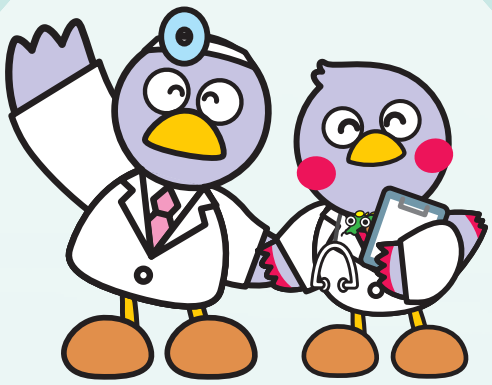
- 消化器病
- 循環器
- 呼吸器
- 血液
- 内分泌代謝科
- 糖尿病
- 腎臓
- 肝臓
- アレルギー
- 感染症
- 老年病
- 神経内科
- 消化器外科
- 呼吸器外科
- 心臓血管外科
- 小児外科
- リウマチ
- 小児循環器
- 小児神経
- 小児血液・がん
- 周産期
- 婦人科腫瘍
- 生殖医療
- 頭頸部がん
- 放射線治療
- 放射線診断
- 手外科
- 脊椎脊髄外科
- 集中治療

19領域（日本専門医機構認定　H27. 12.1現在）

- 内科
- 小児科
- 皮膚科
- 精神科
- 外科
- 整形外科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 麻酔科
- 病理
- 臨床検査
- 救急科
- 形成外科
- リハビリテーション科
- 総合診療

詳しくはこちら　http://kobaton-med.jp/

お問い合わせ先　**埼玉県総合医局機構**（埼玉県医療整備課内）
TEL:048-830-3546　E-mail:a3530-05@pref.saitama.lg.jp



埼玉県のマスコット「コバトン」「さいたまっち」

埼玉県臨床研修病院ガイドブック 2016

平成28年2月発行

編集・発行／埼玉県保健医療部医療整備課 医師確保対策担当

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

TEL 048-830-3546　FAX 048-830-4802

E-mail a3530-05@pref.saitama.lg.jp

●ホームページ●

埼玉県　医師確保・支援　検 索

https://www.pref.saitama.lg.jp/kenko/iryo/ishikakuho/index.html